

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部 40周年記念誌 40年の歩み

兵庫県保険医協会  
西宮・芦屋支部  
40周年記念誌

# 40年の歩み



兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部

兵庫県保険医協会

西宮・芦屋支部

40周年記念誌

40年の歩み

## 西宮・芦屋支部40周年にあたって



西宮・芦屋支部 支部長/法貴皮膚科  
法貴 憲

兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部は、40周年を迎えました。支部長として挨拶をさせていただきます。私が保険医協会に入会したのは、1981年4月に開業してすぐのころでした。保険医協会の設立に携わられた森下先生に誘われて、西宮・芦屋支部世話人会に出席しました。10数人の先生方の討論に興味をいただき、月に1回の世話人会に顔を出すようになりました。

当時の世話人会は、私のような新米の開業医や開業後10数年の先生、大ベテランの先生までの集まりで、開業にあたっての苦労話や保険診療のノウハウなど、私にとっては大いに参考になった会でした。当時の支部長は、現伊賀幹二理事の父君である伊賀郁雄先生で、我々新米の開業医にも優しく接していただき、私が世話人会に参加するきっかけの一つにもなりました。当時の世話人会は、旧西宮市医師会の畳敷きの一部屋を借りて、文字通り膝を突き合わせて、議論を交わしていました。懐かしい思い出です。その後、支部長は御幡益司先生、大森公一先生となり、特に大森公一先生は、実に24年の長きに渡って、支部長を務められました。

その間、病診連携勉強会を手始めに、後述するような数々の勉強会やセミナーを新しく開催する

ことになり、特に日常診療ガイドラインは、県全体の行事となり、西宮の坂尾福光先生が始められた「英語で診療」は、講師にコンロイ先生を迎えて、各科の疾患をテーマに開催されて、本の出版にまで発展しました。今もこのセミナーは、副支部長の半田伸夫先生や坂尾先生のご子息坂尾将幸先生が後を引継がれております。

また阪神・淡路大震災の際は、広川内科クリニックに本部において、被災者の救護や慰問にあたりました。大森支部長を初め、広川恵一先生、北井明先生や私たちが仮設住宅を慰問して回りました。被災者の人たちが、当時団結して、いろいろな行事やイベントを企画されて、我々もこれに参加しました。その後、被災者の人たちは、西宮市が公認した市営住宅に移っていかれましたが、20年後に市からの立ち退きを迫られて、裁判沙汰になったことは、非常に残念です。

毎年夏頃に開かれる支部総会では、市民対象の講演会も開催してきました。その第1回は、森下先生が推薦された写真家の故岡村昭彦氏を講師に招いて、好評を得ました。その後もC.W.ニコル氏や、大森先生推薦のバイマーヤンジン氏達の在日外国人の講師を含めて、数多くの著名人を招いて、毎年100人から200人の参加を得ていましたが、新型コロナの影響でここ2年は中止せざるを得ず、非常に残念です。

以上、西宮・芦屋支部の活動について報告してきました。西宮・芦屋支部は兵庫県保険医協会の中でも、最も活発な支部の一つであると自負しております。ここまで西宮・芦屋支部が発展してきたのは、歴代の3支部長を初め、現在の6人の副支部長、また芦屋市の協会副理事長の多田梢先生や、幸原久先生、北井明先生、歯科部会の加藤隆久理事の協力がなくては、実現しなかったと思われます。上記のように、これからも西宮・芦屋支部は様々な企画を用意していく予定です。他支部からのご参加も大いに歓迎いたしますので、宜しく願い致します。



兵庫県保険医協会 理事長  
西山 裕康

この度は、兵庫県保険協会西宮・芦屋支部が創立40周年を迎えられ記念誌を発刊するにあたり、協会を代表しまして心よりお祝い申し上げます。過去にこのような記念誌を発刊できた支部は無く、西宮・芦屋支部の情熱と実行力には敬服いたします。

西宮・芦屋支部は協会内でも有数の会員数を擁するだけでなく、その活発な活動は自他ともに認めるところであり、改めて敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。

西宮・芦屋支部活動で特記すべき点は、各種研究会、勉強会、学習会などにみられる支部活動の広さと深さ、そして継続性であります。また医師会との関係性も良好で、林田英隆先生、半田伸夫先生などのお力かと思っております。

西宮・芦屋支部の40年間の歩みを振り返りますと、創立時には戸嶋寛年先生、合志至誠先生、野村和夫先生、池尻重義先生など錚々たる先達が、西宮・芦屋支部だけでなく他地区の支部創設

においてもご尽力いただき、協会活動全体を力強く牽引され、現在の協会の骨格を作られました。

また私の入会後は、各部において大森公一先生、幸原久先生、法西浩先生、広川恵一先生、林田英隆先生、北井明先生、岩下敬正先生をはじめ、共に活動し学ばせていただいた先生方は枚挙にいとまがありません。とりわけ森下敬司先生には、協会の原点である審査対策部において、審査支払機関との懇談にもご同行いただき、個々の点数算定だけでなく、協会活動の基本的考え方をご指導いただきました。私の亡父とも懇意にしていたいただき、時には激励のお手紙などを頂いております。

現在、理事会においては多田梢先生、法貴憲先生、加藤隆久先生、伊賀幹二先生、半田伸夫先生、健康情報テレホンサービス部において法貴憲先生、林田英隆先生、環境・公害対策部において上田進久先生など多くの先生方にご協力をいただき、共に活動させていただいております。また少なくない先生方に、協会顧問を引き受けていただいております。

このように西宮・芦屋支部の多くの先生方が協会活動にご尽力いただいておりますことは、西宮・芦屋支部が人材の宝庫であるとともに、歴代の正・副支部長、新旧の世話人の先生方の不断の努力のたまものが伝統となって、今に脈々と引き継がれていることの証でもあります。詳細はこの記念誌に譲りますが、西宮・芦屋支部の活動には注目し、お手本としたいと思っております。

未筆になりましたが、西宮・芦屋支部の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念するとともに、協会活動への変わらぬご協力をお願い致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## もくじ

### ごあいさつ

西宮・芦屋支部 支部長／法貴皮膚科 法貴 憲	2
兵庫県保険医協会 理事長 西山裕康	3

### 「一人一人の仲間を大事に」

～兵庫県保険医協会のよさをさらに 森下敬司先生に聞く	6
-------------------------------	---

### 座談会

地域を支えてきた協会の役割を引き継いで ～支部の先達に学ぶことの重要性	16
----------------------------------------	----

### 主な支部活動の紹介

医療過誤・訴訟セミナー／リスクマネジメント研究会	24
英語で診療 Medical English セミナー	27
漢方研究会	31
胸部X-P読影会	33
ファイアサイド・ディスカッション	35
在宅医療研究会	37
保険請求事務講習会	40
診療報酬改定研究会	41

心臓蘇生・院内感染対策勉強会	42
----------------	----

文化企画・新規開業医懇談会	44
---------------	----

健康と医療について語り合う会	47
----------------	----

テレフォンサービスの取り組み	57
----------------	----

自然観察会のインストラクターとして	58
-------------------	----

保険医協会と共にアスベストに取り組む	60
--------------------	----

「介護保険をよくする西宮市民の会」の活動と保険医協会の関わり	62
--------------------------------	----

芦屋非核平和のつどい	64
------------	----

### その他の支部活動

日常診療ガイドライン	66
------------	----

プライマリケア研究会	68
------------	----

病診連携勉強会	69
---------	----

政策懇談会・市民学習会	70
-------------	----

職員接遇研修会	71
---------	----

支部ニュース	72
--------	----

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部 総会記念行事一覧	78
---------------------------	----

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部 年表	80
---------------------	----

写真で振り返る西宮・芦屋支部	95
----------------	----

役員一覧	103
------	-----

担当事務局	108
-------	-----

# 「一人一人の仲間を大事に」 ～兵庫県保険医協会のよさをさらに 森下敬司先生に聞く

聞き手●**広川恵一先生**

西宮・芦屋支部は支部設立40周年を記念し、2022年5月28日（土）に西宮・芦屋支部創設メンバーで、現在も相談役を務めている森下敬司先生にインタビューを行った。インタビューは西宮市・広川内科クリニックの広川恵一副支部長が務めた。インタビューの様子を掲載する。



ひろかわ けいいち  
**広川 恵一先生**

1950年9月26日生まれ  
1977年神戸大学卒業  
1988年に西宮市にて開業  
1998年より支部副支部長  
協会では1999年～2005年副理事長、  
その間、研究部長(95年～99年)、  
審査対策部長(00年～01年)を歴任  
2015年より顧問

## ■七つの海を

**広川** 本日は兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部が設立40周年を迎えるにあたり、森下敬司先生に協会の歴史を振り返ってお聞かせいただきとお時間をいただきました。よろしくお願ひいたします。まず、先生は開業前シップドクターをされていたそうですね。それこそ世界7つの海を渡られたという。

**森下** 1956年に大学を出て医局へ入りましたが、新人はこきつかわれます。「しんどいな」と思っていた時に、日本酒「白鹿」の醸造元の辰馬家がつくった会社・辰馬汽船の貨物船のドクターの募集を見て、教授に許可をもらっていきました。因島から出て赤道直下のナウル島に行きます。岩場で海鳥が糞をして、その中のリン鉱石が積み積み積もってナウル島という島になった。海の沖合に船を止めて、ベルトコンベアでリン鉱石を積み込んで、パナマを越えて、大西洋に出て、スコットランドのダンディー、アバディーンという港にリン鉱石を降ろす。スコットランドは日照時間が短く、降ろすのに10日ぐらいかかる。

その間、何もすることがないから汽車に乗って



もりよし たかし  
**森下 敬司先生**

1931年9月22日生まれ  
1956年神戸医科大学卒業  
1961年に西宮市にて開業  
1972年より支部世話人  
2020年より監査役、現在相談役  
協会では1969年より理事、  
1989年より副理事長 その間、  
組織部長を(85年～89年)歴任  
1999年より顧問

エンジンバラ城に行ったりした思い出があります。帰りは地中海からスエズ運河を回って帰る。100日間かけて最終的に北海道の釧路に着きました。世界一周した、実際見てきた、という自負心がありますね。

また、上ヶ原病院の大江与喜子先生のお父さん、森村茂樹先生が武庫川病院を経営しており、そこにもお世話になっていました。森村先生が兵庫医科大学を創設したのは1972年ですから、そのずっと前です。僕は家を早く出たかったので、2年近く武庫川病院の男性看護師寮に住まわせていただき、みんなと共同生活をさせてもらいました。「ただ飯」を食わしてもらったのです。まだ小学生だった大江先生が、通学される様子も覚えていますよ。懐かしい思い出です。

## ■協会活動のきっかけ、 戸嶋寛年先生との出会い

**広川** シップドクターといい、看護師寮での生活といい、なかなか体験した人は少ないですね。その後、30歳で先生は開業されるわけですね。

**森下** そうです。1961年、国民皆保険制度が成

立したときに開業しました。

**広川** その中で、先生と協会とのかかわりはどう  
いう経緯があったのでしょうか。

**森下** 実はきっかけは学生時代の1950年代、神戸大学小児科助教授だった戸嶋寛年先生との出会いに遡ります。当時は博士号を取るために、開業医の先生方が医局へ来て仕事をされていました。私は学生で、医局にアルバイトで出入りしていて、データの整理を手伝っていました。戸嶋先生は顔が引き締まって、非常にまじめな印象で、僕の憧れの人でした。その戸嶋先生が神戸大学の医局を辞め、神戸市兵庫区の奥さんの実家を継いで開業されました。ところが当時は保険点数の平均が100点を超えると指導対象になるという、非常に厳しい状況で、萎縮診療せざるを得ない時代でした。戸嶋先生はその不当性を批判して1963年8月14日「保険医クラブ」をつくられました。私も開業していましたので、先生から頂いた「設立趣意書」を受け取ると、すぐにサインしてお返しする形で入会したのが1965年です。周囲の状況から、その「趣意書」さえオープンにできない時代でした。1969年に兵庫県保険医協会を正式に結成し、桐島正義先生を理事長にお迎えして、

戸嶋先生が副理事長に就任しました。兵庫県保険医協会の創立にあたって、戸嶋寛年先生の尽力は非常に大きく、僕は今でも最大の功労者だと思っています。

**広川** 私の開業時、多くの先生から戸嶋先生のお話を聞きました。

**森下** その当時「天皇」と言われるぐらい悪名高かった吉岡技官が、権力をふりかざして減点を繰り返していました。戸嶋先生は国保の審査委員をしていて、合同審査の場で「不当減点であり、とんでもない」と正面から指摘しました。戸嶋先生はあらかじめ準備した「厳正中立な審査のあり方」という問題提起を行い、技官の越権行為を追及したのです。当時の状況を考えればものすごい勇気です。

**広川** 素晴らしい。とても励みになります。

**森下** 戸嶋先生は水面下でいろんな苦勞をされて組織づくりをしていました。そのご苦勞は並大抵ではなく、保険医クラブから保険医協会設立まで実現したのは、戸嶋先生の力以外ないといっても過言ではありません。設立してすぐに、戸嶋先生が「組織を拡大する」というので僕はすぐに動きまわりました。西宮の十数人の先生方に呼びかけて、稲荷町の僕の実家の2階に集まってもらいました。戸嶋先生はヘルメットをかぶってバイクで来て、いろいろ話し合いをしました。何度も言いますが、今日協会があるのは、まちがいなく戸嶋先生のおかげです。

**広川** 日頃は穏やかですが、時にはすごく厳しい先生だったと伺っています。

**森下** そうですね。協会活動に熱心なあまり、非常に心勞も多かったと思います。僕がときどき電話をしたら、いつもはてきぱきした先生が、全く力なく「はい」と出られるわけです。私生活ではぐったりされるほど、協会活動に力を入れられていました。

**広川** その頃、夜行列車で保団連の会議に出て、夜行で帰ってそのまま診療されていた、という話も聞いています。

**森下** とにかくものすごい活動量でしたね。過勞

で元気がなかったころもありましたが、先生とはよく二人でお酒を飲んでいました。一度だけ「先生、今日だけおごらしてもらいます」と言う。「森下君、ありがとう！」って言ってくれて感謝してくれました。昨日のこのように覚えていません。

**広川** 森下先生には、戸嶋先生の軍隊の話をよく聞かせていただきました。

**森下** 戸嶋先生は京都大学の学生時代、「京大学生結核研究会」を立ち上げられ、福井県・勝山町の保健所で女子従業員の健診と栄養調査結果をまとめました。それを雑誌に投稿すると、特高警察に治安維持法で捕まえられ、勾留されたうえに懲罰召集で南方に送られたそうです。乗っていた軍艦が沈められて、泳いで助かったそうです。

**広川** 正確ではないですが、南方の戦地に送られるたび、その3回とも船が魚雷で沈没してそのたび泳いで助かったという話を聞いたことがあります。私は何かを判断するとき、心の中のいろんな人たちに相談しますが、協会活動では協会を作られた桐島先生、戸嶋先生、森下先生はじめお世話になった先生方ならどうされるだろうかと考えます。とはいえ至らぬ事ばかりですが。私は直接お仕事をご一緒にさせてもらったことはありませんが、戸嶋先生や桐島先生のイメージは森下先生の話から立ち上げることができます。これはとても有難いです。

## ■桐島正義先生のこと、ひきつけられる後ろ姿

**広川** 私が森下先生とはじめてお会いしたのは1988年1月の東京でした。

**森下** 保団連の総会でしたね。覚えているのは「絶対にオーバーワークになりますから、体調くずさないようほどほどにやってください」と注意しましたね。その通りになったけど。

**広川** 私は1979年に協会に入会しました。当時は民医連に所属している病院の勤務医でした。私が所属した尼崎支部には、三羽ガラスと言われた

合志至誠（元理事長）、野村和夫（元副理事長、元保団連副会長）、池尻重義（元理事長）各先生がおられて、この先生方のディスカッションを通じて、開業医の社会的役割に気付かされました。

保団連に出務中の先生たちと研究会に出張の私が山手線でぼったり顔を合わせて可愛がってもらいました。若気の至りでひどく逆らいもしたけれど…。池尻先生には亡くなる前、思い切りしっかり背中をたたいてもらいました。

尼崎支部では畠中正昭先生（副理事長、尼崎支部長）が、雨の中濡れた雨合羽姿で会場に来て「申し訳ありません。今まで往診しておりました」と言われた姿を見て「これはすごいな」と非常に強い印象を受けました。開業への後押しでしたね。そして開業している多くの先生に会うことができ、森下先生にお会いして、1988年7月11日に開業しました。その4日後に桐島先生が亡くなるのです。すでに戸嶋先生は亡くなっていました。開業して、いろんな先輩の先生から話をきかせてもらえるという気持ちを持っていたときでした。

**森下** 桐島先生は保団連の任務で東京に行かれて、ホテルで急死されたのです。昔、神戸で協会の会合があって、帰るときに先生が前を歩いておられて、なんとも言えず惹きつけられた思い出があります。言葉にできない情感でした。後姿が生きている、美しい、と感じさせるすごい人でした。

**広川** 私は朝ホテルで桐島先生が他の保団連の重鎮の先生方と朝食をとりながら打ち合わせしている姿を少し離れたところから見たことがあるのですが、それも、かっこよかったですね。何を教えてもらえるか期待していました。桐島先生のことをうかがった話でよく覚えているのは、あるときの保団連の大会で「保険医協会、保団連はアカや、共産党や」という話で会場がもめにもめて取捨がつかなくなった時のことです。議長が「桐島会長、おまとめを」と登壇を求めると、静まり返った多くの出席者に先生が「医者とは少なくともインテリゲンチヤのはしくれです。…（少し間を置いて）…インテリは…（ほんの少し間を置いて

…）昔から左に決まっています」と発言すると、大きな拍手がわき、それで会場は治まってしまったという話です。

**森下** 桐島先生の一言で取捨がついたのですね。そういう先生でした。畠中先生は、いつも青い自転車で尼崎を走っておられました。一度往診にご一緒したのですが、失礼ですが「エエッ、この家に入るの？」と思うようなたたずまいの家に平然と入られて、患者さんに尽くされていました。

**広川** そういう先生方が役員を担われてきたのが兵庫県保険医協会の伝統ですね。

## ■県下各地に支部づくり

**広川** 森下先生にぜひともお聞きしたいことは兵庫県保険医協会の組織活動です。先生が中心になって、県内各地に支部を作られましたね。

**森下** 僕が関わった時は、組織部長が清成友直先生（元副理事長）でした。ジェントルマンでね。先生の下で僕は副部長になり、先生が辞めてから組織部長になりまして、そのときに県下を11支部に分けました。まず尼崎支部、その次が淡路支部、西宮・芦屋支部が三番目、というように。最後に北摂丹波ができ、県下すべての地域を網羅する支部をつくることができました。

**広川** その中でのご苦勞は大変やったでしょう。当たり前のように思われますが、全県に支部があるのは全国的に少ないのではないですか。兵庫県は広域県なので東西南北、端から端までだと、4時間はかかります。どうやったのですか？

**森下** たしかに11にも支部を分けてやっている協会はそうないでしょうね。支部をつくるときは各地に赴いて、とにかく主要な先生に会いました。例えば、丹波の高見啓二先生（元北摂・丹波支部長）、彼は池尻先生と同級生で、一緒にいきました。但馬の新田誠先生（元但馬支部長）のところも、泊りがけで行きました。新田先生は豪傑で、協会の総会に高橋診療所の救急車でやってくるという、すごいことをやる先生でした。中には「今のままでいい」と、なかなか支部づくりに応

じてくれなかった地域もあったのですが、僕は各支部を何度もまわって「支部をつくり、それぞれの地域で活動をしなければならない」と何度も説明しました。

**広川** それは大変やったですね。新田先生は学生のときから「へき地医療の神様」と名前を聞いていました。開業してからお話しできて、一緒にお仕事ができるとても楽しかったです。お世話になった先生の一人です。それも、森下先生をはじめとした支部づくりがあったことです。特に思い出として残っている支部はありますか。

**森下** 淡路支部ですね。初代支部長の清木昌之介先生の家に十数名が集まりました。保険医協会活動について、僕が説明した思い出がありますね。

**広川** 淡路支部はベテランというか、個性的な先生が多かったですね。

**森下** 思い出深いのは松本敬明先生。いつもいち早く来られて、一番前に座って、最後までおられて「森下先生、遠いところありがとう」「事務局、ご苦労さん」と言って帰って行かれる。戦争に行っ手のひらの中に小石が入ったままになっているという、従軍されたときのそんな話をいつもされていましたね。

## ■保団連の組織活動、各都道府県の協会の「援助県」

**広川** 先生は保団連の組織活動にもご尽力されていましたね。

**森下** 兵庫県保険医協会は保団連の任務として、各地に保険医協会を作る、また組織拡大を応援する「援助県」をいくつか引き受けていましたので、各地の組織拡大に赴きました。今保団連の会長を務めている住江憲勇先生と一緒に行動したこともありました。

**広川** 住江会長も長く務めておられますね。当時はどんな印象だったのですか。

**森下** 住江先生も「保険医協会で育てられた」と僕自身はそう思っていますね。組織活動をやるいろいろな人と話し合いをしますからね。人それぞれ

れみんなキャラクターがあるので、一筋縄ではいきません。住江先生も会長になられるからには、組織部をやっていてよかったなと思います。自分の事を考えても、それまでは僕は性格的に少し厳しいところがありました。協会の組織活動を通じて人のいろいろな持ち味を教えられることもずいぶんあって、だいぶ性格が穏やかになりました。

**広川** 森下先生は保団連大会で議長もされましたね。

**森下** その当時は「保団連総会」でね。僕ね、2回させてもらいました。おそらく議長を2回した人はいないと思います。あれは各都道府県で持ち回りするでしょう。2回した理由はね、1度は通常の依頼を受けたのですが、2回目は阪神・淡路大震災があったので、僕にという指名があったのです。

**広川** 森下先生が議長をされるその前の晩に、月島にもんじゃ焼きを食べに連れて行ってくださいましたね。当時あった東京・晴海のホテル浦島が会場でしたので、月島が近かったのです。「明日議長をされるのになんという余裕！」とはらはらしながら感心しました。

**森下** 各府県から出ている質問事項は事前に分かっているから、全部目を通していました。そういう準備をしていないと、議長はできません。

**広川** 保団連は実力迫力とも満ちあふれた先生方が集まるので議長は大変です。私やったら気が遠くなってしまうと、とてもできませんね。先生が指名されるのは、桐島先生以来の兵庫協会の伝統を引き継いでいるところで、やはり森下先生ならではの事だと思います。

**森下** 評価してもらってありがたいことですね。

**広川** しかし当時は多忙を極めていたのではないのですか。診療が終わったら協会や医師会の仕事、それからゴルフに行っ、夜中麻雀やって、飲みに行っ、帰ってきたらそのまま診療をしていたと聞いていますよ。その上協会では副理事長、医師会では一番忙しい庶務担当役員、すごいですね。

**森下** 働き盛りやったからね。だいぶ家内に迷惑

かけています。

**広川** 昔は理事会が終わってから来る人拒まずでよく飲みにも行きましたね。いまは閉店していますが、三宮の千人代官とか、元町界限…。森下先生、故朝井栄先生（元理事長）を中心に、故池内春樹先生（元理事長）、故八木秀満先生（元副理事長）、林田先生、北井先生、清水映二先生（姫路西播支部副支部長・研究部長）などと。いろいろな集まりはあったけど、その一つは「清談会」と名付けてね。池内先生から何度も「清談会」の催促をされました。

**森下** 楽しかったね、今から考えると。

## ■開業医の仲間を大事に、不当な審査減点・指導と闘う姿勢を

**広川** 森下先生は、長年兵庫協会の審査・指導対策の中心も担っておられました。私がよく覚えているのは、富山の個別指導事件の時に先生と一緒に富山まで行ったことです。

**森下** そうでしたね。93年10月に、富山県で個別指導を受けた若い医師が自ら命を絶つ事件がありました。その原因が高圧的な個別指導で人格と



富山県で個別指導を受けた医師が自死した事件のルポルタージュ

### 「開業医はなぜ自殺したのか」

著：矢吹紀人

出版：あけび書房

日常診療を否定され、理不尽な自主返還を迫られたことによるものだとということが明らかになりました。一柳という80歳の技官が、若くて熱心に地域医療に取り組んでいる37歳の川腰肇医師に、暴言を吐きまくり、絶望させて死に追いやった。許しがたい事件です。保団連と富山協会が12月に集会を開き、全国から200人の仲間が集まり、追悼と抗議を行いました。

**広川** 芳見橋に花を手向けましたね。兵庫県保険医協会からも多くの役員・事務局が参加しましたが、帰路は森下先生と私、尼崎の鈴木克司先生と一緒にでした。その電車の中で女性に暴力をふるう男に遭遇しました。車中が騒然となったのですが、おどろいたのは、森下先生が「許さん」と言って、その男を取りおさえ、私と鈴木先生が加勢をして、車掌・警察に突き出したことです。危険も顧みず動かれたので先生に「なんであんな恐ろしい男を押さえつけたのですか」と聞いたら「僕のアイデンティティだよ」ってさざりといわれました。

**森下** 僕は6つのときに母親を亡くしているので、女性に特別の感情があるのかもしれませんが。女性がいじめられるのをみると我を忘れてしまうのです。

**広川** 先生がすごかったのは車掌が来るまでその男を空いている席に座らせて「なんで女性に暴力をふるうのか」と問い詰め続けていたことです。

**森下** それも我を忘れていた証拠です。そういえばあの時警察が来るまで電車が止まって…。一件落ち着いてから、「具合の悪い人がいるのでドクターはおられますか」とアナウンスがあり、広川先生が対応されましたね。

**広川** 私と鈴木先生が現場に駆けつけました。とてもあわただしい帰路やったですね。森下先生があんな悪漢を押さえつけているのに、患者さんの対応は私が飛んでいかないと。考えれば義憤に駆られた川腰先生の追悼の集会の帰りにそんな事件があり、正面から受け止めて対応する。兵庫県保険医協会の正義感を象徴しているように思います。森下先生の「弱い立場の人をいじめることは

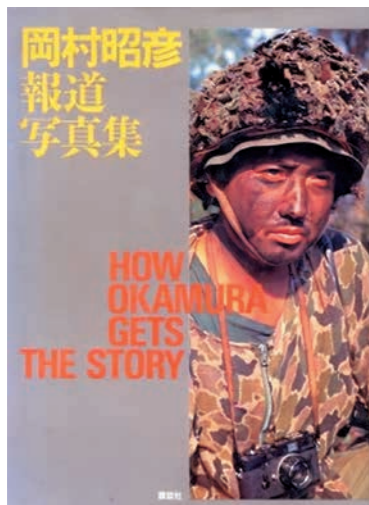
許せない] という思いが、保険審査の場でも、事件が起こった場でも発揮されていると思います。

**森下** 審査指導問題は、今も昔も本当に協会の中心課題です。開業医は保険診療のルールを遵守していても、いつなごき審査減点を受けるかもしれない、指導・監査の対象者にされるかもしれない、という不安を抱えています。ぜひそうした仲間を大事にして、戸嶋先生が審査・指導問題で立ち上げられ協会をつくったように、不当なことに闘う兵庫県保険医協会の伝統を一層発展させていただきたいと思います。

## ■ バイオエシックスをテーマに 西宮・芦屋支部設立総会

**広川** 西宮・芦屋支部の設立総会では、ベトナム戦争の従軍カメラマンとして数々の写真を発表していたフォトジャーナリストの岡村昭彦さんと呼ばれましたね。これは西宮・芦屋支部の第1回の総会記念講演に実にふさわしい。先見の明とっています。

**森下** 「生命倫理（バイオエシックス）とは何か」をテーマに講演いただきました。岡村昭彦さんは、木村利人先生（ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所）とお二人で日本の各地を講演して



設立支部総会記念講演で講師を務めた岡村昭彦氏の写真集

まわっておられたんです。県医師会がまずお二人を呼んで講演された。

**広川** 日本医師会長だった武見太郎さんが「バイオエシックス」を言い出したとされていますが、そこに大きく関わったのが、千葉大学看護学部教授と、その後宮崎看護大学の学長を務められた薄井坦子先生です（2022年2月に亡くなりました）。彼女はお茶の水女子大教育学部から東京大学医学部衛生看護学科に進み、日本医師会で武見太郎さんの秘書をされており、その時にアメリカの文献を片っ端から訳して、要約したものを武見太郎さんに渡していたそうです。その中に「バイオエシックス」があったという話を聞きました。いずれにしても、40年も前に、西宮・芦屋支部で「バイオエシックス」をテーマに選んで設立総会をやる、すごいことだったと思います。

**森下** 当時は、「バイオエシックス」なんて僕自身も初めて知った言葉でしたが、会員の先生方に知っていただくことと支部ニュースに何度か解説を書かせてもらいました。あの当時の開業医は、患者さんを診ることに忙殺され、そうした視点や考え方は新鮮でした。

**広川** ものすごいインパクトがあったと思いますよ。今では当たり前となってきていることですが、パターンリズムからの転換で、ものの見方、考え方が従来と大きくかわってしまうわけですから。そのあと岡村昭彦さんが亡くなられたときに、先生は東京・青山の葬儀場まで行かれたのでしょうか。

**森下** 行ってきました。西宮・芦屋支部の後で、淡路支部も岡村さんの講演会を企画しました。その際に私も行って、三根一乗先生の家にご二人で一晩泊めていただきました。すると、岡村さんが大きな高いびきで寝られた。厳しいベトナムのあの中で、生きるか死ぬかの中から、緊張がまったくとれて、安心して寝ておられるな、と感慨深かったです。僕はそのまま帰りましたが、岡村さんは、淡路島にあるモンキーセンターに奇形猿を見に行くと言われて一人で行かれました。情報が入ったらすぐに確かめに行くという行動力に感心し

ました。

**広川** 西宮・芦屋支部は総会の市民講演会がヤマです。C.W.ニコルさんの講演会を、松野迅さんのバイオリン演奏会とセットで、芦屋・竹園ホテルの能舞台で開催したこともありました。あのときに先生が私に非常に重要なことを教えてくれました。講演が終わった後の交流会の際に「市民活動の交流会は、医者が壇上に座って話をするのは違うわけで、患者さんと医者、医者の家族など、参加したみんなと一緒に座って、時間を過ごして話を聞いて共有する場やからね」と言われました。支部総会の企画をどういう形にするのか、基本的な姿勢がわかったのがその言葉でした。

**森下** ニコルさんは体が大きくて、ホテル探しに苦労しました。それでサイズの合うベッドを用意できる竹園に泊まってもらいましたね。

## ■ 新規開業医を大切に、 支部行事に 多くの先生の力を得て

**広川** 西宮・芦屋支部は、新規開業の先生に声をかけることを心がけるようになってきました。これも森下先生が常々言われてきたことですね。例えば「健康と医療について語りあう会」での講師です。地域の人々のニーズに応じた健康講座の講師を新規の先生にお願いする。そうした活動にも森下先生の姿勢が表れていると思います。

**森下** 新規開業された先生は特に大切にしなければなりません。新規開業の先生をお誘いし、食事会を開いたり、世話人会に参加いただくようご案内したり、西宮・芦屋支部は一時期世話人の名前が40人ぐらい並びましたね。今から考えてみたら、こうした企画は非常によかったですね。

**広川** 新規開業医の集まりや研究会ではベテラン・中堅の存在が大きいです。私が新規開業のときのことを思い出しても、開業しての経験を率直に語ってくれるベテランの先生の存在はありがたいです。ベテランといえば故西林茂祐先生（元理事・評議員）はほぼ毎早朝メールを大江与喜子先生



第1回から9回まで「医療過誤・訴訟セミナー」講師を務めた浅井賢先生



「ファイアサイド・ディスカッション」で司会を務める伊賀幹二先生

と安岡眞奈美先生と私に送ってくれていて、私はとくに協会のあり方について日々薫陶を受けました。柴田始宏先生（元評議員・理事）に「支部としては病診連携の勉強会が大切なのでそのつながりを絶やさないように」と言われました。上ヶ原病院の大江与喜子先生にはそのことで何度も病院での勉強会を快く受けてもらいました。研究会では堅田均先生（元理事・相談役）に支えられました。新規開業の先生方にそういった人間的な交流のある経験の機会を提供したいと、いつも思っています。

そして支部の行事ではバスツアー。また取り組みたいのですが、とくに以前、蟹江純一先生（元理事）企画・担当の「星空を見るツアー」はたくさんが参加されましたね。降っていた雨が止んで星空が広がったのは素晴らしかったですよ。

このインタビューを機会に森下先生に最近の研究会・支部行事の報告をしますね。法貴先生担当のテレフォンサービス。一貫して先生が屋台骨で担当されています。半田先生企画・担当の故坂尾福光先生を引き継いでの「英語で診療」、故浅井賢先生（元理事）の「医療過誤・訴訟セミナー」を継いでの「リスクマネジメント研究会」は内容充実継続中です。伊賀幹二先生企画・担当の「ファイアサイド・ディスカッション」も好評で「かかりつけ医」のことなどをテーマにオンライン併用で開催されています。橋野盛彦先生担当の「胸部X-P読影会」は集まりやすくなったところで再





胸部XP読影会で司会を務める橋野盛彦先生



初代支部長の伊賀郁雄先生



左から、森下敬司先生、小泉英雄先生、御幡益司先生、柴田始宏先生

開です。アスベスト問題は上田進久先生の情報・取り組みはとても貴重です。岩下敬正先生、川崎史寛先生、佐々木一郎先生、中島敏雄先生担当の保険事務講習会はいつも満席です。その他いろいろあります。長くなったのでこれはまた別の機会に…。

## ■会員の先生一人一人と コンタクトを

**広川** 医師会との関係もいい関係が保たれています。世話人会もずっと西宮医師会の医療会館で開かせてもらっています。これも森下先生からの伝統です。森下先生は医師会と協会の活動を「二足の草鞋（ワラジ）」ということで、ずっと言っておられました。実際先生自身も庶務を担当しながらこなされてきた。こうした姿勢は多くの先生方にはとても参考になりました。

**森下** 西宮・芦屋支部は、京都大学で戸嶋先生の一つ後輩だった伊賀郁雄先生が最初に支部長を引き受けてくれました。その後御幡益司先生、大森公一先生、法貴憲先生と、温かな先生方が支部長を順番に引き受けていただいて、本当によい雰囲気になったと感謝しています。

**広川** そうした支部長の下で、故小泉英雄先生、幸原久先生、法西浩先生、故坂尾福光先生、林田英隆先生、北井明先生、女性も当初から参加されていて井床淑子先生、多田梢先生、安岡眞奈美先生など、多くの先生が集まられていました。今で

は半田伸夫先生や伊賀幹二先生、上田進久先生、坂尾将幸先生はじめ、世話人会・評議員会・総会、各種支部研究会・行事に出席される多くの先生方が中心となって支部活動をすすめられています。先生方にはそれぞれの得意分野がありますので、それを踏まえて力を発揮されて、兵庫県保険医協会の器をつくっていくことを心がける必要があります。森下先生からみて、いかがでしょうかそのあたりのことは。

**森下** 今の活動は十分よくやっていると思っています。会員数も、一度も年度末に会員を減らすことなく7,700人にもなっています。事務局にいつもお願いしているのは、会員さんや奥さん、あるいは医院の事務の方が入って来たとき、気が付いた人はすぐに声をかけて対応していただきたい。それが協会の何よりの良さです。私自身協会の仕事をしたことでいろんな先生方と知縁ができて、自分が育てられた。協会活動でとくに僕は組織を担当したので、会員の先生とのコンタクトを一人ずつとることを心がけました。これは、やらせていただいて非常によかった。

**広川** それは兵庫県保険医協会の良さですね。即対応するというのが組織活動の基本だと思います。また会員を増やすという活動の中に、人間に対する思いがあるのが大事で、だからこそ組織活動が成り立ち、仲間となります。開業医手作りの協会ですので「何か私にできることはありませんか」という気持ちが求められますね。

**森下** もう一つ兵庫県保険医協会は財政が本当に



世話人で協会副理事長を長く務める多田梢先生



評議員会で支部活動を報告する三浦一樹先生

しっかりしているのが特徴です。吉岡巖先生（副理事長）に長年にわたって財政をみていただいているのが大きいですね。事務局に聞くと、膨大な量の伝票をチェックされ、その上で大きく数字を抑えていただいているそうで、本当に頭が下がる思いがしますね。

**広川** 吉岡先生は数字から活動を見てくれている、本当に貴重な先生です。もう一つ大きいのは朝井先生、森下先生が中心となって、薬科部をつくられたことです。これは非常に重要な協会のセクションになっています。

**森下** 協会に薬科部があるというのはまだ兵庫だけです。医科・歯科・薬科、三位一体が重要です。薬科部会員は90人ぐらいですね。毎月やっている研究会がかなり好評だということで喜んでいきます。

**広川** 一昨年（2021年だと思います）9月22日の水曜日、午前診で森下先生の診療が最終とお聞きし、私も伺わせていただきました。協会事務局長の藤田誠治さんと支部担当の山田友道さんも来てくれましたね。午前11時頃でしたが待合室はたくさんの患者さんたちが来られていてとても感動しました。

インタビューの最後に、先生が引退された地域で開業された近藤クリニックの尾形福治先生が西宮市医師会報の〈談話室〉に書かれた内容を紹介させていただきます。「西宮市松原町に開院し早1年が経ちました。……松原町と言えば60年間にわたり地域住民の健康管理にご尽力されてきた森下医院の院長である森下敬司先生が昨年退職されました。住民の声を聞いていると、森下先生の幅広い医学の知識と技術に加え、患者さまの喜び痛み苦しみを共にし、寄り添ってこられたことがありありと伝わってきます。森下先生が守ってこられた地域住民との健康増進の一端を担えるよう日々精進してまいります」。先生の地域での長年のご尽力が伝わってきます。

**森下** お礼状を送らないといけませんね。ありがとうございました。

**広川** 今後も変わらずご指導をよろしく願います。本日は懐かしくもありとても楽しかったです。またたくさんの先生方と集まりたいですね。ありがとうございました。



# 地域を支えてきた協会の役割を 引き継いで ～支部の先達に学ぶことの重要性

## 出席者



西宮市・法貴皮膚科  
法貴 憲先生



西宮市・林田クリニック  
林田 英隆先生



西宮市・広川内科クリニック  
広川 恵一先生



司会●西宮市・半田医院  
半田 伸夫先生

**司会 (半田先生)** 本日はお集まりいただきありがとうございます。兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部が設立から40周年を迎えました。まずは先生方から協会との関わりのきっかけなどをお聞かせいただきたいと思います。

**法貴** 私は開業した翌年の1981年に入会しました。初代支部長の伊賀郁雄先生が私のところにお越しになり「こういう会議をやっているから来ないか」と言われ、世話人会に出席しました。医師会館に20人ぐらい集まっていたので、びっくりしました。論議も活発に行われていました。開業して間がないときに、先生方いろいろお話できるのが、なにより励みになりました。

**林田** 私は1985年に入会しましたが、きっかけは初代理事長の桐島正義先生のお話を聞いたことです。桐島先生は国民側に立った医療政策を一生懸命に訴えておられる。その発言に惚れたのです。こんな素晴らしい先生がいるのだと。

**広川** 私は1977年に入会させていただきました。そのときは尼崎市の病院に勤めていました。当初は「勤務医の自分が開業医の団体に入っているのか」と躊躇していたのですが、ある先生から「なんでも勉強できるので参加してみなさい」と言われ決断しました。当時尼崎支部には合志至誠先生、池尻重義先生、野村和夫先生の三人、協会をつくってこられた「三羽鳥」の先生方がおられ、

薫陶を受けました。世話人会に出席すると、いかに自分が何も知らないかを実感しました。自分が経験していないことを経験した人たちばかりで、ものすごく勉強になりました。

## フラットな関係性が協会の魅力

**司会** 法貴先生は4代目の支部長を務めていただいています。支部活動でお感じになっている事、また歴代の支部長のことなど、40年を振り返っていかがですか。

**法貴** そうですね。初代支部長は先ほども紹介した伊賀郁雄先生で2期4年、2代目が御幡益司先生で同じく2期4年、3代目の大森公一先生は12期24年支部長を務めていただきました。とりわけ私の前任の大森先生は、多彩な企画・行事の多くに参加して、協会理事になられてからは、意欲的に理事会で支部の活動報告をされていた印象が強く残っています。「介護保険を良くする西宮市民の会」の理事長を引き受け、社会保障を守る運動にも力を入れておられました。大森先生の後を引きつぎ、私も5期目で自分では「長いな」と思うこともあります。先輩の支部長がそうであったように、私も先生方から出された企画や意見をしっかり応援する立場で続けようと思っています。



介護保険を良くする西宮市民の会講演会で挨拶をする3代目支部長の大森公一先生

す。引き続き多くの先生方に参加いただいて、楽しくて、役に立つ支部づくりをすすめたいと思っています。担当事務局には、企画・行事の多さも含めて苦勞が多いと思うけど、いっしょに支部づくりを楽しんでほしいと思っています。

**司会** 多くの先生のご尽力で今の支部がありますね。少し角度は違いますが、設立当時から協会の会員のほとんどが医師会員だったわけですが、両会の関係をどのように整理しているのでしょうか。特に林田先生は、医師会と協会の両方の役員を務めておられましたか。

**林田** 医師会は行政の委託事業がいっぱいあり、そこで重要な役割を果たしています。私は協会の理事をやっていましたが、「両サイドに立ってこれ」と西宮市医師会の先生にも言われて、医師会の理事もやりました。当時は「先生はどちらの立場ですか」みたいなことも言う人もいましたが、役割が違う協会と医師会の両方が開業医にとって必要な組織です。

**司会** 1961年に国民皆保険制度ができて、協会はまさに国民皆保険とともに歩んできています。医師会は、どうしても行政の一翼を担わざるを得ませんが、おかしなことは批判し、よくしていこうという力が必要です。その点で協会は今まで様々な活躍をしてきました。私自身、医師会との違いで感じているのは、医師会は組織がきちりしすぎて上意下達なところがありますが、協会は「これおかしい」となれば水平的、横並びで「言いたい人は言いたいことを言えばいい」という雰囲気があって、それはすごくいいことだと思います。そういった意味のおもしろさが協会にはあります。

**広川** 協会はずっと考えがフラットだと思っています。上下の関係がないところが大きな特徴です。上下という概念を持ち込まれる要素があったとしても、みんな本音を大事にしているところが魅力です。

**法貴** 私も初めて世話人会に行ったとき、協会ではみんな平等に話をしていたのが本当によかったと感じました。西宮北口はすごく開業が集中して



はんた のぶお  
半田 伸夫先生

1954年11月25日生まれ  
1979年川崎医科大学卒業  
2002年に西宮市にて開業  
2020年より支部副支部長  
協会では2023年より理事

いますから、私の開業についてどう考えておられるか、との思いはあったのですが、協会の世話人会に行ったら全然そんな雰囲気になかったので、ほっとしました。

**司会** 私は西宮市医師会の活動として学術委員を長年やっていますが、例えば今の兵庫県医師会の生涯教育講座に関して「もっとこういうことをしたらいい」とかいうことを言い続けていますが、いろんなことを書いて送ったりしても、なかなか反応がない。協会は声をあげたらすぐに反応し、動きも早い。それは何に違いがあるのかと思うのですが、協会は組織としての有機性というか、ちょっと生物的な部分があって、それがすごく面白いなと思っています。

## 一致点で共同、 一貫したリベラルな風土

**司会** そうした特徴を持つ協会は、どういう存在だとお考えですか。

**林田** やっぱり地域の開業医の医療的な技術を高め合うということと、お互いに和気あいあい地域を支えていきたいというのが基本ですね。それと協会の医療政策はやっぱり国民側に立った政策で、私はそこに非常に敬意を持っています。協会への見る目もだんだん変わってきました。かつては色メガネで、協会を「共産党」と決めつける人もいました。

**法貴** いろいろ言う人がいたので、私も最初は相当意識しました。しかし実際活動してみて、そうしたことは感じませんでした。

**司会** たしかに西宮・芦屋支部の活動に参加してみるとわかりますが、あまりそうした雰囲気なくきていますね。それは支部結成時からですか。

**林田** そうですね。そういうことを言う人は、協会活動に誤解があったと思います。「国の医療政策がおかしい」と言うとき、それはどちらかと言えば革新的なもので、政策が共産党と一致することも多い。一致できることはどの党とも共同しているだけで、協会は昔からリベラルです。

**法貴** そうです。だからすごくよかったですよ。

**林田** 大事なものは医療政策やいろんな方針が一致するかどうかですね。医師会はどうしても行政の協力をしなければなりません。医療政策は時の政権で決められる以上、やはり協会は批判的立場で、国民医療の充実を一生懸命求める活動をする必要があります。遅々として進まない、ザルで水をすくうようでムダなこと、と思うかもしれませんが、しかし続ければいつかはアカが溜まってザルがいつぱいになる、私はそういう発想でやってきました。だから最初からムダだとか、全然効果がない、ということを耳にすることもありますが、そうではありません。何より協会にはいろんな成果を上げてきた実績があると思っています。

## 旺盛な研究会活動、 市民参加の企画など多彩に

**司会** そうした協会の風土の中で、西宮・芦屋支部が様々な活動を展開してきましたが、振り返っていかがでしょうか。

**法貴** なんととっても、西宮・芦屋支部の特徴のひとつは旺盛な研究会活動だと思います。会員が症例を持ち寄っての「症例検討会」、また病院の会議室などを借りて勤務医の先生方とも交流した「病診連携研究会」にも旺盛に取り組み、西宮渡辺病院、笹生病院、上ヶ原病院、谷向病院はじめ多くの病院にご協力いただきました。「漢方研究会」「在宅医療研究会」「胸部X-P読影会」「地域医療研究会」など様々なテーマの研究会も継続しています。

**林田** 当時は毎週のように、多彩な内容の研究会を開催していましたね。この間も、コロナ関連の研究会が7回、また「ファイアサイド・ディスカッション」は、伊賀幹二先生のご尽力で9回と、西宮・芦屋支部の研究会は始めたらシリーズ企画にしてきたのも特徴ですね。

**法貴** 支部ならではの研究会として坂尾福光先生の発案による「メディカル・イングリッシュ」も、ご子息の坂尾将幸先生が引き継いで、半田先生とご一緒に56回の開催になっていますよね。内容をまとめた本もすでに5冊発行しています。他にも「プライマリケア研究会」「日常診療ガイドライン研究会」「リスクマネジメント研究会」「医療過誤・訴訟セミナー」、本当に多彩な研究会を行ってきました。また、「健康と医療について語り合う会」にも、設立当初から積極的に取り組んで、自治会、老人会、公民館などで開催してきました。

**林田** そういう点では、市民とのつながりの中で保険医協会を知ってもらい、医療を守る運動にも協力いただける関係を築いてきましたね。総会記念講演は毎回市民講座で開催し、実に多くの市民の皆さんの参加があります。医療にかかわるテーマだけでなく、その時々に関心あるテーマを世話



ほうき けん  
法貴 憲先生

1946年11月11日生まれ  
1975年東邦大学卒業  
1981年に西宮市にて開業  
1996年より支部副支部長  
2013年より支部長  
協会では1985年より理事

人会で考えて、企画してきましたが、恒例行事になりましたね。

**法貴** その他にも新規開業交流会では、新規開業の先生と開業数年の先生も参加いただき、先輩からの役に立つアドバイスがいつも好評です。忘年会、お花見、納涼会、酒蔵見学会も開催しました。星空を見に行ったり、独自企画でバスツアーを組んだり、世話人会で出された企画はどんどん実行してきたと思います。広川先生が力を入れてくださっている被災地交流会・被災地物産展など、なくてはならない企画もあります。これらの活動を続けてきたことが、本当に支部の財産だと思います。



ひろかわ けいいち  
広川 恵一先生

1950年9月26日生まれ  
1977年神戸大学卒業  
1988年に西宮市にて開業  
1998年より支部副支部長  
協会では1999年～2005年副理事長、  
その間、研究部長(95年～99年)、  
審査対策部長(00年～01年)を歴任  
2015年より顧問

## 阪神・淡路大震災 一拠点づくりと全国への発信

**司会** 今から28年前、阪神・淡路大震災が起きました。西宮・芦屋支部は様々な活動を展開しました。広川先生はその中で中心的に活動されたのですけど、どうされていたのですか。

**広川** 初日は患者さんがどんどん送られてきて、夜中の2時まで外傷対応をやっていました。夜になって協会の朝倉宏事務局長(当時)と電話がつながったので「震災対策本部をつくりたい」と言うように「お願いします」となりました。大森公一先生や森下敬司先生にも承認を得て、1月19日に震災対策本部をつくりました。

**司会** 先生の診療所を協会の震災対策本部にしたわけですね。

**広川** 最初に思ったのは、拠点をつくらなかったら何もできないということです。ありがたいことに全国組織の保団連を通じて、その話がすぐに伝わったので、全国の協会からいろんな人が駆けつけてくれました。

**司会** 組織を有効に活用できたわけですね。全国ネットの強みを最大限生かすということを先生は最初から考えていたのですか。

**広川** はい。拠点をつくる、全国ネット、この2つがキーワードです。そうならざるをえないし、そうすれば人が人を呼んでくれますから。「ボランティアをしたいけど、どこへ行ったらいいかわからない」というときに「あそこへ行ったらいい」という話が出て、どんどん増えてくるのです。

**司会** そういう意味で協会の存在は大きいですね。

**広川** 全国で10万人の会員がいますから。

**林田** 一番印象に残っているのは私と広川先生で、当時の医師会長に会いに行った時のことです。「こういう事態なので医師会で震災の支援を立ち上げてください」と言うので「考えていません」のひと言でした。協会が先に震災対策本部を立ち上げていたので、「立ち上げたのなら、医師会も一緒にやろう」という言葉を期待して行ったのですが、そのときの反応はそれでした。そのあと、概算請求要求を出しました。要するに震災でカルテもなくなっているから「そういう医療機関には過去3か月の概算で請求させてくれ」という要求をしましたが、それも当時は「西宮では許されない。火事場泥棒だ」と。それを聞いて、協会の副理事長だった池尻重義先生と3人ぐらいが乗り込んで行って、大ゲンカになりました。「火事場泥棒」という発想自体が信じられませんでした。

**司会** 医師会の最初の危機対応としては、納得がいかない部分があったということですね。今はJMATとか、いろんな形でやっていますが、その当時はそれが組織されていませんでしたしね。

**広川** なかったですね。大事なことは「一隅を照らす、これ則ち国の宝なり」という言葉があります。自分は何もできないけども、自分のところの患者さんをキチッと守ってあげれば、それが他のところに広がっていく、という気持ちはあったので、ボランティアで来てくれた人は一切断らない。みんなに役割があるというスタンスでやっていました。

**司会** そういう場合一番大事なのは、コンダクターですね。コンダクターがいなかったら、結局、みんな右往左往します。しかも、情報がなければ具体的な指示はできません。それができるというのは、素晴らしい事ですよ。

**広川** 情報は入ってきますから、自分一人で行っているとは全然思っていない。みんなやりたいことをやればいい、というだけのことです。自分が差配するということはないです。みんな次々に好きなことをするから、それが形になればいいわけです。だから「私、何々してきます」と言えば、「頑張ってください」と言うだけです。**林田** 広川先生のやり方は全国的に通用すると思います。先生はまだ今でもその時につながった人たちと連絡がつく。だから東日本大震災の時も、すぐに協会事務局と一緒に動いて、同じようなつながりができていますよね。

**司会** 普通そういうことをやっていたら、自分の手柄というか、一躍時代の寵児になって行って、みんなから取材を受けてとなくなっていくけど、広川先生はならないですね。

**法貴** ならないです。

**司会** 広川先生がそれを望んでないからでしょうね。

## 開業医の役割、立場を 常に意識して

**司会** 今の西宮・芦屋支部は、私のイメージの20年間ではやっぱり広川先生が大きな役割を果たしたと思っています。私は開業した当初から広川先生に声をかけていただき、どこに目を付けら



はやしだ ひでたか  
林田 英隆先生

1942年12月14日生まれ  
1968年長崎大学卒業  
1985年に西宮市にて開業  
1988年より支部副支部長  
協会では1997年～2007年副理事長  
その間、総務・庶務部長(99年～01年)、  
地域医療部長(03年～15年)を歴任  
2015年より顧問

れたかはわかりませんが、先生の人柄になんとか面白みを感じてついてきました。同じように参画している人も多いような気がします。広川先生自身は、協会を通じて何が一番やりたくて、そのうちのどれぐらいのことができたのでしょうか。

**広川** とても難しいですが、私はいま自分がやっていることが、協会をつくってきた先生方、桐島正義先生、戸嶋寛年先生、森下敬司先生だったらどう考えてくれるだろう、と思いを巡らせることが一つの基準になっています。私が森下先生と初めて会ったのは1988年1月の保団連大会でした。開業する半年前ですね。西宮・芦屋支部にはいろんな先生がいますが、森下先生は自分のロールモデルの一人です。先生は協会と医師会、両

方ともきちっとやられた人です。その先生のエネルギーとか、先生が築いた形、地域で一生懸命に果たした役割を見させてもらって、自分としてはそこから学ぶものがあるだけです。協会の理事・副理事長をさせてもらったときも、森下先生と幸原久先生の推薦があったので、その2人を大事にさせてもらって、やらせてもらうことになっただけです。

**司会** 広川先生は様々な先生とメールをやりとりされたり、新聞スクラップを資料提供していただいたり、いろんなことをされていて、また、支部の先輩をすごく大事にされていますね。

**広川** 私は教えられる立場なので、大事にするのは当然です。先輩に学んだことでひとつご紹介させていただきませう。昔は診療報酬改定のたびに、森下先生の医院で夜中の12時ぐらいまで準備をしました。私は当初「ここまで必要なのかな」と思っていました、そのときに教えられたのは「診療報酬改定研究会を保険医協会がするのは、点数を説明するためではない。診療報酬改定を通して、日本の国はどのような医療に向かうかを明らかにする場であって、点数を説明するだけであれば役人でもできる」というわけです。つまり「協会がわざわざ点数研究会をやるのはなぜかをキチッと考えなければいけない」と言われました。ある年の改定で「包括制」の点数が導入されました。私の担当だったので内容を伝えると、フロアから「その出来高とか、包括制とか言っているけど、どっちが得なんや」と言われました。私はそんな得とか損という話をしているつもりがないので、もう一度説明したら、その先生が「わしが聞いているのはどっちが得か聞いているのや」と言われて、最初は「なんと品のないことを言うのか」と思いました。

**司会** その先生にしてもある意味本音だったのでしょうかね。

**広川** それで私は「医療機関のそれぞれの立場で考えて選択されたらどうでしょうか」と言う「あなたやったらどっちをとるのや」と言われて、それで私は自分の考え方を説明しました。そ

の後、しばらくしてからだんだんと、私自身がものすごく大きな間違いをしていることに気が付きはじめました。その先生が指摘していたのは、「あなたのしゃべり方は役人のしゃべり方や」ということだったのです。その先生は自分を犠牲にして「どっちが得なんや」という表現を使いながら「役人ではなしに、開業医の立場でしゃべれ」ということを言われていたのです。それに気が付かなかった自分がものすごく恥ずかしかった。

**司会** どっちもありますね。先達から受け継いだ保険点数に隠された国の目論見を読み解くのはものすごく大事だし、逆に開業医にとってどっちが有利かは医院運営にかかわります。例えばコロナの患者さんを診ている場合に算定できる「外来感染症対策向上加算」は施設基準の届出をしなければならぬ。しかし届出しようと思ったら、さまざまクリアしなければならぬ条件がある。形ばっかりつくって魂入れないといいますが、お上がやることは全部、ペーパーワークで「形があれば中身はなんでもいいのか」と、憤りを感じるものがしばしばあります。

## お互いに支えあえる 協会の良さを今後も

**司会** 最後に、協会の今後についてですが、保団連の「開業医宣言」の第10条には戦争に対する医師の役割が書いてあって、核兵器に対しても医師は毅然とした態度をとらないといけないという立場をとっています。しかし今回のウクライナ騒動もあり、戦争に関する考え方についてもタブーなく議論すべきと思いますが、いかがですか。

**林田** 核廃絶はみんなの、全世界の人々の願いです。誰でも戦争は嫌です。しかし、昨今の状況では、核の抑止力論にどういった答えを持つのかも大事です。協会があくまでも戦争放棄の立場ですが、理想を突き詰めながら、現実はどういう形でやっていくかについても、それに対応した答えも必要だと思います。

**司会** それは普通に自由な議論をすべきであっ

て、個人が議論すればいいという意見もありますね。

**林田** 団体としては一定の考えを表明する必要があります。同時に、団体を構成している会員がどういう方向に行っているかも、考えなければいけない。

**広川** 大事なことは、ささやかなところでも担ってくれている先生がいっぱいいる、そこを大事にすることです。協会は大衆団体ですから、いろんな考えの人がいていいところで、そうだからこそ協会は伸びます。そうでない組織は、会議や運動そのものが小さくなってしまいます。談論風発の中で、適切どころである程度意見を固めていこう、というところは持ちながら、その過程でいろんな意見が存分に высказываться ことが値打ちです。その為には「あいつが来たら面倒くさいな」という雰囲気はだめで「いろんな人のお陰で物事が進む」という弁証法的なとらえ方が重要です。物事は動的に、相互的な連関の中でとらえていくべき

で、そういう面では協会の運営にあたっては「意見は違っても、あなたが困っているときには私はあなたを守るために頑張る」という気迫が必要だと思います。

**司会** 考え方は時代やいろんな要素で変わっていきます。また世代によっても考え方は全然違います。今後も協会として、広く、懐深く、いろんなものを受け入れながら、先達の築いてきたこともちゃんと伝えていく。国民皆保険を守りつつ、だけど限界も知りつつ、よりよく進めるにはどうすればいいかを考えていけたらいいですね。

**法貴** いろんな意見があっても当然ですからね。一人ひとりが開業してよかったと思えるような、それをお互いに支えあえるような団体になっていきたいですね。

**司会** これからも本音で言い合える協会を大事にしていきたいと思っています。本日はどうもありがとうございました。

# 主な支部活動の紹介

## 1 医療過誤・訴訟セミナー リスクマネジメント研究会

西宮市 半田医院 半田 伸夫



2021年10月30日 リスクマネジメント研究会  
講師は佐藤一樹先生



2007年3月3日 医療過誤・訴訟セミナーシリーズ②  
医療機関におけるリスクマネジメント 講師は浅井賢先生

私が医療過誤・訴訟セミナーのことを知ったのは、保険医協会西宮・芦屋支部のチラシだったと思う。開業してから自身のリスクマネジメントをきっちりする必要があると思い、何度か参加した。講師は1回目から西宮で産婦人科医院をされていた、浅井賢先生が担当されていた。7回目の企画で「改めて今一度、いわゆる『判断しかねる不審な死』について考えよう」という企画があり、浅井先生と、弁護士の小川雄介氏が講演することになった。この時、それまで司会を多くされていた外科の長谷川順吉先生の都合がつかないか何かで、急遽私が司会をすることとなった。

以後、浅井先生が体調を崩されてからは、医療訴訟を中心に活動されていた弁護士の鶴飼万貴子氏に講演を依頼して継続してきた。法律家からお聞きする話は、医学とは異質の世界で戸惑うことが多かった。医療裁判の現状、大野病院事件―無罪判決から―など、実際の医療訴訟、裁判の事例から、問題の核心に触れその裏に潜むリスクを管

理することを学んだ。さらに患者側に立つことの多い寺島道子弁護士をお招きして、医療側の鶴飼弁護士とのディベート「患者・家族が怒るとき」の講演会を企画した。視点が変われば、考え方、感じ方が異なることを理解し考慮する必要があることを知った。

現役の裁判官である 大島眞一氏を招へいし、「現役裁判官が考える医療過誤」では、医療過誤を裁判することは、医療行為の義務に対する過失の是非を問うものであり、注意義務、説明義務、転送義務、予見義務などに対する過失を吟味し判決することになる、とまとめられた。医療業務にこれらの義務があることを十分に理解する必要がある。

医療事故調査制度が開始された2015年には、東京女子医大事件で刑事被告人として長らく拘置され、その後無罪を勝ち取った佐藤一樹先生をお招きし、「医師法21条再論考と医療事故調査制度」のお話を伺った。先生が被疑者となり、収監



2009年4月4日 医療過誤・訴訟セミナーシリーズ②医療機関におけるリスクマネジメント  
講師は鶴飼万貴子弁護士

されてからの話は想像を絶する内容であった。日本の警察検察捜査の闇の部分垣間見て、恐怖すら覚えた。

医療事故調査制度の発足を契機に、医療過誤・訴訟セミナーは2016年からリスクマネジメント研究会にネーミングを変えて継続している。開業医でありながら、現行の医療事故調査制度に関して様々な形で意見を発表されている坂根みち子先生に、医療事故調査制度の問題点を講演していただいた。現場の医師が弁護士とともに医療事故を未然に防ぐ取り組みをしようとしていることを見聞きして、法律や制度として確立していくことの難しさ、専門家を称する重鎮の方々の影響の強さを実感した。

2019年には大阪大学医学部付属病院で新しい形でリスクマネジメントに取り組まれている中島和江先生にレジリアンスによるリスクマネジメントの方法についてご講演いただいた。医療現場は

複雑かつ予測困難なシステムであることをまず理解すること。この環境では従来のインシデントの積み重ねから将来生じるアクシデントを防ぐ取り組みはあまり活かされない。発想の転換として、リスクがあるにもかかわらず、うまくそれを回避できた事例を集積することが、この複雑、予測困難な環境でのリスクマネジメントにとって重要であると指摘された。今後の発展が期待される。

この研究会は、どうすれば安全な医療が提供することができるのか、患者もまた安心して十分な医療を受けられるのかを考える勉強会である。残念ながら、この研究会を始められた浅井先生、司会をしていただいた長谷川先生、患者側の弁護士であり、貴重なディベートをしていただいた寺島先生はすでに鬼籍に入られた。しかしながら、その活動は保険医協会の主旨に則ったものであり、継続できれば幸いである。

### 医療過誤・訴訟セミナー開催一覧

回	開催日	タイトル	講師・司会	会場
1	2004/4/17	目の前の医事紛争・医療訴訟	浅井産婦人科 浅井賢先生	西宮医療会館
2	2004/7/17	「わが国における最近の医療過誤訴訟の趨勢と実態」付：訴訟王国アメリカのすさまじいばかりの実態・いまアメリカの現場では!	浅井賢先生	西宮市民会館
3	2005/2/26	日常の第一線臨床医療現場のあらわな実態・問題点	浅井賢先生	西宮市民会館
4	2005/7/9	日常の第一線臨床医療現場のあらわな実態・問題点【その2】～メディカルスタッフとしての日常診療時における心構え～	浅井賢先生	西宮市民会館
5	2005/11/5	改めて、医療事故・過誤さらには医療訴訟について主要事例をもとに再検討しよう! ～事故が起こった時、患者さん側の受けとめ方…患者心理学～	浅井賢先生	西宮市民会館

回	開催日	タイトル	講師・司会	会場
6	2006/3/4	いま一度、重大事例を再検証しよう	浅井賢先生	西宮市民会館
7	2006/9/2	改めて今一度、いわゆる「判断しかねる不審な死」について考えよう	浅井賢先生 (問題提起 小川雄介弁護士)	西宮市民会館
8	2007/3/3	日常の診療現場での対応について ～患者さんや家族の方々からの要望やクレームでお困りになられたことはありませんか～	浅井賢先生	西宮市民会館
9	2007/11/10	義務化される医療の安全確保 ～第5次医療法改正で、開業医も厳しく迫られる医療安全対策～	浅井賢先生	西宮市勤労会館
10	2008/5/24	医療裁判の現状	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	西宮市民会館
11	2008/12/6	大野病院事件－無罪判決から－	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	西宮市勤労会館
12	2009/4/4	日常的な治療行為が最高裁判所に	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	兵庫県学校厚生会館
13	2009/7/18	薬の使い方と裁判	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	西宮市民会館
14	2009/11/14	患者・家族が怒るとき ～「これですんだ」のか、「こんな目にあった」のか～	寺島道子弁護士 (アドバイザー 鶴飼万貴子弁護士) (司会 半田伸夫先生)	兵庫県学校厚生会館
15	2010/4/17	客観的な証拠からの検証	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	西宮市民会館
16	2011/3/18	医事紛争を避けるために	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	西宮市立勤労会館
17	2011/8/27	診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業の実施と課題	的場梁次先生 (司会 半田伸夫先生)	西宮市民会館
18	2012/4/7	医療問題の初期対応と保険	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	西宮市立勤労会館
19	2012/12/8	「情報開示」とプライバシー そのジレンマ	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	兵庫県学校厚生会館
20	2013/6/15	医療訴訟の現状 ～現役裁判官が考える医療過誤とは？～	大島眞一裁判官 (司会 半田伸夫先生)	保険医協会会議室
21	2014/4/5	患者さんとのやり取りで気をつけること	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	西宮市民会館
22	2015/4/18	医師法21条再論考と医療事故調査制度	佐藤一樹先生 (司会 半田伸夫先生)	西宮市民会館

#### リスクマネジメント研究会開催一覧

回	開催日	タイトル	講師・司会	会場
1	2016/5/21	医療機関におけるリスクマネジメント ～医療事故調査制度・見落としがある理由～	医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター ・弁護士 水沼直樹先生 (コメンテーター 鶴飼万貴子弁護士) (司会 半田伸夫先生)	保険医協会会議室
2	2017/7/8	間違えだらけの医療事故調査制度 ～紛争解決の視点と医療安全の視点の切り分けが出来ていますか～	医療法人 櫻坂 坂根Mクリニック 坂根みち子先生 (司会 半田伸夫先生)	保険医協会会議室
3	2018/9/8	医療事故調査制度施行から3年 医療事故の現状と対応～産科医療補償制度の原因分析報告書の現状と問題点にも触れて～	鶴飼万貴子弁護士 (司会 半田伸夫先生)	西宮市立勤労会館
4	2019/9/14	医療安全への二つのアプローチ Safety-I & Safety-II	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティ マネジメント部 教授 中島和江先生 (司会 半田伸夫先生)	西宮市立勤労会館
5	2021/10/30	柳原病院乳腺外科医事件 秘匿された「職業せん妄」の医学と悲劇	いつき会ハートクリニック院長 佐藤一樹先生 (アドバイザー 鶴飼万貴子弁護士) (司会 半田伸夫先生)	保険医協会会議室

## 2 英語で診療 Medical English セミナー

西宮市 半田医院 **半田 伸夫**  
**Robert Conroy**



2014年1月17日 司会は坂尾福光先生(左)

私が開業したのが2002年、2年ほど父の看病と看取りで忙しくしていた。父が亡くなって少し余裕ができたときに故坂尾福光先生から、英語に興味があるならと誘われたのが2004年前後だと記憶している。それが保険医協会の“Medical English”「英語で診療」セミナーだった。このとき英語講師のRobert Conroy先生に初めてお会いした。寡黙だが、思慮深い、とてもやさしい方だと思い、今も親交を続けている。

このセミナーを語るときには、坂尾先生のことを書かないわけにはいかない。先生は1968年に京都府立医大をご卒業された。その後立川米空軍病院でインターンを終え1970年から3年間米国ミシガン州立ウエイン大学附属ミシガン小児病院で小児科医として働いていた。私が初めてお会いした時は50歳後半だったと記憶している。非常にユーモアたっぷりのお人柄で、飄々とされていたが、真面目な話をし始めると、その学識の深さに驚かされるのが度々あった。

何度か参加しているうちに、2007年に内容を本にまとめあげ「英語で診療」というタイトルで出版された。その出版記念パーティーで司会をさせていただいた記憶がある。その後、「続・英語で診療」、「続々・英語で診療」、「英語で診療—内科系」「同一外科系」と続いた。初版本のなかで、坂尾先生は「日本に長く滞在している英語圏

の人たちは、たとえ日本語は流暢でも病気で医療機関を訪れた時、我々医師、メディカルスタッフが英語で語りかけると、信頼度は数倍に高くなると聞いたことがあります」と書いている。またその続きで「英語を勉強することにより英語圏の文化、生活習慣、考え方を理解することができます。メディカル・イングリッシュを通して英語圏の人たちの医療に対する考え方、期待度の違いへの理解もさらに深まるでしょう」と結んでいる。

私自身は英語をきちんと学んだことは一度もない。ただ、共通言語としての英語を使うことで、違う言語圏の人と容易にコミュニケーションが取れるため、興味があり独学してきた。開業する前には学会での英語発表や、英文論文の執筆などで使う機会は多かった。ただし、それだけでは他国の人々とフランクに話し合うことはできない。つまり英語でコミュニケーションを取ろうと思うと、異なった文化を英語という言語で身に着ける必要があることだった。それは初版本で坂尾先生がいみじくも述べていることにつながっている。

2019年に坂尾先生が亡くなってから、今後セミナーを続けるかどうか迷いがあったが、多くの先生方の協力とConroy先生のお力で3回セミナーを開くことができた(#53回から#55回)。残念ながら昨今の新型コロナウイルス感染の拡大のため、現在は休止状態だが、落ち着き次第再開したいと思っている。今後より国際的になっていく世界にあって、英語を使つてのコミュニケーションの必要性はますます高くなっていく。医療現場でのコミュニケーションは精度の高さが求められることが多い。そのためにも是非多くの医師やメディカルスタッフの方々の参加を期待したい。そして、この活動を保険医協会がサポートしてくれていることに心から感謝したい。

## Medical English Memories



2019年7月19日  
司会の坂尾将幸先生

In around 2003, I've become teaching English to some doctors in Tomio, one of whom was Dr Sakao.

One day the following year, I was in a coffee shop in Sannomiya when I received a phone call from him. He asked me if I would be interested in doing a seminar on medical English, and, although I agreed to do it, I didn't really know what it would be like.

In the next few months, I made an 11-page list of words and phrases related to medical English, and added their Japanese meanings.

In 2004 we did the first seminar. Some of you who attended may recall that I spoke English AND Japanese! We mainly used some of my list for that seminar, but after that we began creating original dialogs. Of course, I stopped using Japanese - that was for Dr Sakao!

In 2006, Dr Sakao approached me with an idea to make a book from the dialogs we used in the seminars. I suspect this had been his true dream all along. Kinpodo, a publisher in Kyoto, agreed to make the book, and we began planning the content and layout. We added new dialogs and other parts, and I had fun designing the cover and making the cartoons inside. We had quite a few meetings with the Kinpodo staff (市井耀和 and 村上裕子) at an Indian restaurant in Ashiya.

At the start of 2008, the first 英語で診療 book was published, and it was a success!

Kinpodo had previously made only very technical or academic books (without audio), so it was a first for them, too.

The success of the seminars and book attracted attention from various institutions. We did a few seminars in Kakogawa and also become the MedINT seminars in Nishinomiya.

Every year, we were always changing and trying to improve the seminars, each one of which would include some humorous moments - Dr Sakao and I always enjoyed making jokes!

I would like to thank all the doctors listed below who contributed to the seminars and books. I apologize if I have omitted any names.

I would also like to thank 兵庫県保険医協会 for supporting the seminars — 伊藤さん was a great help!—and for their initial assistance in creating the first book and finding a publisher for it.

Thank you, everyone!

Robert Conroy

List of contributors:

蟹江純一先生、関真理子先生、中島敏雄先生、半田伸夫先生、望月純先生、新川賢一郎先生、宮崎義彦先生、結城清之先生、徐信夫先生、広川恵一先生、松島洋之先生、寺田春郎先生、西山哲彦先生、山口三千夫先生、鍵岡均先生、谷口賢蔵先生、林田英隆先生、大森公之助先生、伊賀幹二先生、西野かおる先生、堀田能子先生、藤森隆史先生、坂尾将幸先生、阿部修治先生、上辻祥隆先生、法貴元先生



参加者とコミュニケーションを取るConroy先生

## 西宮・芦屋支部勉強会 外国語シリーズ

回	開催日	分野	テーマ	講師	会場	司会	アドバイザー
1	2003/9/20(土)	中国語		神戸大学大学院院生 呂 仁梅さん	医療会館	広川	-
2	2004/1/17(土)	韓国語		神戸大学大学院院生 高 秀美さん	医療会館	広川	-
3	2004/3/12(金)	英語①	インフルエンザ	Human Academy神戸支所英語講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	広川恵一
4	2004/7/30(金)	英語②	腹痛・虫垂炎	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	-
5	2004/12/3(金)	英語③	心筋梗塞	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	-
6	2005/3/29(火)	英語④	小児科領域	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	-
7	2005/6/5(日)	英語⑤	歯科領域	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	藤森隆史
8	2005/9/29(木)	英語⑥	整形外科領域	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	蟹江純一
9	2005/12/2(金)	英語⑦	小児アレルギー	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	関真理子
10	2006/3/10(金)	英語⑧	胃腸症状と痛み	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	中島敏雄
11	2006/4/27(木)	英語⑨	花粉症・中耳炎	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	法貴 元
12	2006/6/16(金)	英語⑩	高血圧・脳血管障害	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	半田伸夫
13	2006/9/1(金)	英語⑪	結膜炎・飛蚊症	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	望月 純
14	2006/11/17(金)	英語⑫	登校拒否・うつ状態	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	新川賢一郎
15	2007/3/16(金)	英語⑬	産婦人科領域	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	宮崎義彦
16	2007/6/29(金)	英語⑭	急性膀胱炎・前立腺肥大	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	フレンテ	坂尾	結城清之
17	2007/9/21(金)	英語⑮	アトピー性皮膚炎・帯状疱疹	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	徐 信夫
18	2007/12/7(金)	英語⑯	慢性肝炎B&C	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	中島敏雄
19	2008/4/11(金)	英語⑰	往診と在宅医療	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	広川恵一
20	2008/6/20(金)	英語⑱	糖尿病	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	松島洋之
21	2008/9/19(金)	英語⑲	熱性けいれん	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	寺田春郎
22	2008/12/12(金)	英語⑳	甲状腺疾患	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	西山哲彦
23	2009/3/13(金)	英語㉑	片頭痛とその他の頭痛	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	山口三千夫
24	2009/6/12(金)	英語㉒	気管支喘息と肺気腫	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	鍵岡 均
25	2009/9/18(金)	英語㉓	小児の予防接種	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	谷口賢蔵
26	2009/12/4(金)	英語㉔	子宮頸部がんと乳がん検診	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	林田英隆
27	2010/3/12(金)	英語㉕	関節リウマチ&骨粗鬆症	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	蟹江純一
28	2010/6/11(金)	英語㉖	鉄欠乏性貧血&骨髄異形成症候群	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	大森公之助
29	2010/9/10(金)	英語㉗	胃潰瘍&逆流性食道炎	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	中島敏雄
30	2010/12/10(金)	英語㉘	医療英会話 基礎 2回シリーズ その1	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	-
31	2011/4/15(金)	英語㉙	医療英会話 基礎 2回シリーズ その2	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	-



回	開催日	分野	テーマ	講師	会場	司会	アドバイザー
32	2011/7/15(金)	英語⑩	ロコモティブ・シンドローム	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	蟹江純一
33	2011/11/18(金)	英語⑪	慢性腎臓病、血尿	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	フレンテ	坂尾	結城清之
34	2012/2/17(金)	英語⑫	急性冠症候群、動悸	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	フレンテ	坂尾	伊賀幹二
35	2012/5/18(金)	英語⑬	医院・薬局での服薬指導①	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	西野かおる
36	2012/9/21(金)	英語⑭	医院・薬局での服薬指導②	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	西野かおる
37	2013/1/18(金)	英語⑮	白内障&緑内障	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	堀田能婦子
38	2013/04/12(金)	英語⑯	Role Playingシリーズ① 初めての受診と患者登録、呼吸器症状 他	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
39	2013/7/19(金)	英語⑰	Role Playingシリーズ② 外来に電話をする、腹部・胃腸の症状	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
40	2013/10/18(金)	英語⑱	Role Playingシリーズ③ 循環器の症状、薬局へ行く	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
41	2014/1/17(金)	英語⑲	Role Playingシリーズ④ クリニックでの対話、腹部の症状	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
42	2014/4/18(金)	英語⑳	Role Playingシリーズ⑤ クリニックでの対話(つづき)、外科の症 状	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
43	2014/7/18(金)	英語㉑	Role Playingシリーズ⑥ 予防接種、発疹、水痘、麻疹 他	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
44	2014/10/17(金)	英語㉒	Role Playingシリーズ⑦ 腰と下肢の痛み、ロコモティブ・シンドロ ーム	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
45	2015/7/17(金)	英語㉓	Role Playingシリーズ⑧ 皮膚の症状、成人型アトピー性皮膚炎、帯 状疱疹	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
46	2015/10/16(金)	英語㉔	Role Playingシリーズ⑨ 泌尿器科領域急性膀胱炎、良性前立腺肥 大、血尿、腎結石	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
47	2016/1/15(金)	英語㉕	Role Playingシリーズ⑩ 熱性けいれん、他	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
48	2016/4/15(金)	英語㉖	Role Playingシリーズ⑪ 花粉症、中耳炎、風邪症候群	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
49	2016/7/15(金)	英語㉗	Role Playingシリーズ⑫ Ⅱ型糖尿病、メタボリック・シンドローム	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
50	2016/11/4(金)	英語㉘	Role Playingシリーズ⑬ 婦人科；更年期障害、子宮筋腫	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
51	2017/3/17(金)	英語㉙	Role Playingシリーズ⑭ 甲状腺疾患、薬剤師の英会話	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
52	2017/7/14(金)	英語㉚	Role Playingシリーズ⑮片頭痛、外来受診	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
53	2017/11/17(金)	英語㉛	Role Playingシリーズ⑯ 鉄欠乏性貧血、気管支喘息、外来に電話を する	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
54	2018/10/19(金)	英語㉜	Role Playingシリーズ⑰ 糖尿病患者の歯周病、子どもの虫歯	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
55	2019/7/19(金)	英語㉝	Role Playingシリーズ⑱ 潰瘍性大腸炎/下痢 1回目	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	坂尾	
56	2019/11/15(金)	英語㉞	Role Playingシリーズ⑲ 発熱小児のケース	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	半田	寺田春郎
57	2020/09/18(金)	英語㉟	Role Playingシリーズ⑳ 関節痛	Com Language School 講師 Mr. Robert Conroy	医療会館	半田	阿部修治

# 3 漢方研究会

西宮市・川崎医院 **川崎 史寛**



2020年10月3日  
講師は福原慎也先生



2012年5月12日  
講師は沖本二郎先生(上)



2007年7月13日  
講師は蔭山充先生(右)

皆さん、漢方薬というどのようなイメージをお持ちでしょうか？

私にとっての漢方薬は、医師となった研修医時代に先輩から定型的に処方パターンを教えていただきましたが、その根底というか、漢方薬の本来の薬効、生薬の性格なども全く知ることはなかったかと思います。

そんな中で、開業してより患者さんに近い関係で、診療に携わるようになって漢方薬への強い人気や、漢方薬が、患者さんとの会話を広げることを経験し、より深くさらに日常に速結する漢方薬の勉強をしていきたいという欲求を感じていました。

そこで目にしたのが、保険医協会西宮・芦屋支部の漢方研究会であります。開催の歴史をさかのぼって資料を見ると、開催されたのは2002年2月に第1回であり、これは私の開業の時期と一致しており、まるで私のための勉強会であるかのごとくであります。ここから年に3から4回のペースで開催をしてゆき、2006年ごろからは年に2回の開催となってゆきました。

当初は確か広川先生が司会進行をしてくださっていましたが、私と薬剤師の長光先生が共同司会で運営させていただきました。後半は司会から離れていきましたが、毎回の開催は楽しみにしておりました。

講演の講師は堺から影山先生に来ていただき、非常の歯切れのよいお話と、その季節に合ったテーマで、始まりから勢いよくお話が始まっていきます。そのあとはテーマの範疇にとどまらず、その周辺に関連する漢方薬も話題に挙げながら、話がすすんでいき、いつの間にか自分でもその漢方薬を使っている気分となり、実際にその後の臨床の現場で処方を行っているという感じになります。講演会の回を重ねるごとに、なじみの処方が増え、使用できる漢方薬が増えてゆくという感じで、なじみの薄かった漢方薬への親しみを感じるようになっていきました。回を重ねて、17回の公演を影山先生にお願いし、その後は幅広く講師を招聘して、多彩な先生にお願いし、漢方薬の幅の広さを改めて感じさせていただくこととなりました。残念ながら、2016年4月(33回目)を最後に開催が途切れており、今は休会しています。

14年間重ねてきた歴史、講演内容、さらには、漢方薬の適正な使用に関して、薬剤師と医師、歯科医師が共通で勉強をする機会は大変重要であり、今後の再開も期待したいところあります。今の時代多様性に対応した診療を行ってゆくためには幅広い対応力が必要であると思います。その一つとしての漢方薬は今後も重要な一翼を担ってゆくものだと思います。再び皆さんと一緒に学びたいですね。

漢方研究会開催一覧

回	開催年月日	会場	テーマ	講師	共催
1	2002年2月22日	甲子園都ホテル	プライマリーケアと漢方治療～冬風邪の虎の巻～	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
2	2002年5月18日	甲子園都ホテル	下痢と漢方治療	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
3	2002年11月22日	ノボテル甲子園	更年期障害と漢方治療	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
4	2003年3月14日	ノボテル甲子園	花粉症と肥満(体質改善?)の漢方エキス薬の工夫	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
5	2003年6月20日	ノボテル甲子園	夏の漢方薬	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
6	2003年9月26日	ノボテル甲子園	女性診療と漢方	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
7	2004年1月30日	ノボテル甲子園	関節・筋肉の痛みに対する漢方治療～桂枝加朮附湯、芍薬甘草湯、八味地黄丸を中心に～	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
8	2004年5月14日	西宮神社会館	胃腸疾患と漢方	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
9	2004年7月23日	ノボテル甲子園	疲労とストレスの漢方	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
10	2004年11月27日	兵庫県農業会館	漢方薬はなぜ効くのか?～血清薬理学の立場から～	昭和薬科大学病態科学教室教授 田代眞一先生	(株)ツムラ
11	2005年2月18日	ノボテル甲子園	冷えの漢方治療	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
12	2005年6月17日	ノボテル甲子園	頻用処方薬 ～6月から夏に向けて～	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
13	2005年11月25日	ノボテル甲子園	効かせる漢方 腎・泌尿器疾患 ～淋証と水腫～	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
14	2006年3月3日	ノボテル甲子園	季節の漢方薬 ～花粉症・咳・感染性胃腸炎～	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
15	2006年9月15日	ノボテル甲子園	夏の終わりの漢方	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
16	2007年2月16日	ノボテル甲子園	老化予防(抗加齢(アンチエイジング))の漢方薬	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
17	2007年7月13日	ノボテル甲子園	疲れと漢方	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
18	2008年2月15日	ノボテル甲子園	日常診療にみられる不定愁訴とメタボリックシンドロームに対する漢方での対応	かげやま医院(堺市)院長 蔭山充先生	(株)ツムラ
19	2008年6月14日	西宮神社会館	メタボリックシンドロームに使える漢方治療	隈病院(中央区)内科 有島武志先生	(株)ツムラ
20	2008年10月18日	西宮神社会館	生薬の魅力	京都大学大学院薬学研究所准教授 伊藤美千穂先生	(株)ツムラ
21	2009年3月14日	兵庫県保険医協会	漢方薬理学の最近の知見について	名古屋市立大学大学院薬学研究所准教授 牧野利明先生	(株)ツムラ
22	2009年9月5日	兵庫県学校厚生会館	呼吸器疾患における処方の実際～かぜを中心に～	北海道大学漢方医学センター付属北大前クリニック院長、北海道大学名誉教授 本間行彦先生	(株)ツムラ
23	2009年12月12日	兵庫県農業会館	かぜ症候群の漢方療法	栃木県野木町・野木病院 副院長・東洋医学科部長 加藤士郎先生	(株)ツムラ
24	2010年6月26日	西宮神社会館	こころの病と漢方治療～軽症うつ、ストレス、不眠等の使い方～	奈良県生駒市・岡クリニック院長 岡留美子先生	(株)ツムラ
25	2011年2月5日	西宮神社会館	上腹部症状、胃から食道に対する六君子湯の作用とは?	大阪市立大学消化器内科准教授 富永和作先生	(株)ツムラ
26	2011年6月4日	西宮神社会館	慢性痛に対する漢方治療	順天堂大学医学部教授、順天堂大学付属順天堂江東高齢者医療センター 麻酔科・ペインクリニック 光畑裕正先生	(株)ツムラ
27	2011年12月3日	西宮神社会館	漢方治療はまず冷えから～冷えによる諸疾患の漢方治療～	いが漢方内科 金のさじ診療所(東灘区)院長 伊賀文彦先生	(株)ツムラ
28	2012年5月12日	西宮神社会館	慢性咳嗽の漢方治療	川崎医科大学総合内科学Ⅰ教授 沖本二郎先生	(株)ツムラ
29	2012年12月15日	西宮神社会館	急性期症状における漢方の可能性～いかに西洋薬と組み合わせるか～	田中内科循環器内科クリニック(東灘区)院長 田中健二郎先生	(株)ツムラ
30	2013年11月9日	西宮神社会館	痛みと漢方～六つの兵法～	井上ペインクリニック(灘区)院長、元大阪大学漢方医学寄附講座助教、日本東洋医学会専門医 井上隆弥先生	(株)ツムラ
31	2014年6月28日	西宮神社会館	栄養サポートチーム(NST)における漢方治療の実際～えっ、こんな時もあるの～	ありしま内科(宝塚市)院長、北里大学東洋医学総合研究所・研究員、東洋医学会専門医 有島武志先生	(株)ツムラ
32	2015年7月11日	兵庫県保険医協会	慢性胃炎と機能性ディスペプシア～ガイドラインからみた漢方薬の可能性～	兵庫医科大学内科学消化器科講師 大島忠之先生	(株)ツムラ
33	2016年4月23日	西宮神社会館	①「耳鼻咽喉科の漢方処方～私の工夫～」 ②「当科味覚外来における漢方使用」	①尼崎中央病院耳鼻咽喉科医長 北條和歌先生 ②兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師 任智美先生	(株)ツムラ
34	2017年10月7日	JEC日本研修センター神戸元町	六君子湯の作用 -グレリンを中心に-	鹿児島大学大学院 歯学総合研究科心身内科学 教授 乾明夫先生	(株)ツムラ
35	2018年5月26日	スペースアルファ三宮大会議室	呼吸器疾患の漢方治療-喘息・咳・痰-	りゅう呼吸器科内科(下関市)院長 劉震永先生	(株)ツムラ
36	2019年6月15日	スペースアルファ三宮大会議室	こころと漢方～ベンゾジアゼピンに頼らない医療を目指して～	奈良県生駒市・岡クリニック 院長 岡留美子先生	(株)ツムラ
37	2020年10月3日	web形式	高齢者医療と漢方～認知症・フレイル・不定愁訴～	えのもとクリニック(東大阪市)副院長 福原慎也先生	(株)ツムラ

## 4 胸部X-P読影会

西宮市・橋野医院 橋野 盛彦



2009年5月29日 会場は毎回西宮渡辺心臓脳・血管センターで開催



2019年9月20日 持ち寄ったレントゲン画像を熱心に検討する参加者



2010年1月29日 特別講演は「喘息の急性増悪 -インフルエンザとの関わり-」

原秀樹先生を招いて、X-P読影会がはじまってから随分と経ちました(調べたら14年半)。当初司会をやれと命じられたとき、「私のようなボンクラがしても」とお断りしましたが、「それでええんや」とのことでお引き受けしました。参加者が気楽にX-Pを出せるようにとの配慮と思いました。

参加者は1回数名と多くはなく、しかしX-Pは皆さんが色々出してくれました。肺炎・肺がん・肺結核その他訳の分からない陰影など。原先生がひとつひとつやさしく解説してくれました。それ

とは別に、X-Pの見え方とか、咳の患者を見たらどうするかとか、喘息の患者が来たらどう診療するかなど、やさしくためになる話が聞けました。印象に残っているのは、X-Pの見方で、正常な構造以外の余分に見える影を見つけること。炎症を繰り返したあとの気管支拡張症のX-P、非結核性抗酸菌症のX-Pと経過観察について、等々。

新型コロナウイルスのため、この会も長らくお休みになっていますが、ウイルスがいずれはもっとおとなしくなって、また集まれるようになるでしょう。その時はよろしく願います。

胸部X-P読影会開催一覧

回	日時	司会	講師	特別講演
1	2008年06月19日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
2	2008年10月17日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
3	2009年01月30日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
4	2009年05月29日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
5	2009年09月18日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	日常遭遇する閉塞性肺疾患について
6	2010年01月29日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	喘息の急性増悪 -インフルエンザとの関わり-
7	2010年05月21日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	喘息治療での薬剤の使い方
8	2010年10月29日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
9	2011年05月27日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	膿性痰を見たら
10	2011年12月02日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	気管支喘息の増悪時期における管理と治療
11	2012年10月19日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	COPD、肺炎のX線像の診断
12	2013年07月05日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	喘息と間違え心不全
13	2014年06月19日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	陳旧性肺結核患者の経過観察中の変化について
14	2014年11月20日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
15	2015年10月22日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	診断に難渋したケース
16	2016年07月29日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
17	2017年09月15日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
18	2018年11月02日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	
19	2019年09月20日	橋野盛彦先生	原秀樹先生	

# 5 ファイアサイド・ディスカッション

西宮市・伊賀内科・循環器科 **伊賀 幹二**



2021年7月30日 講師は石丸裕康先生ほか



2012年5月26日 「国会議員との懇談」



2013年11月3日 講師は岡本知之牧師ほか

その時々医療問題を取りあげ、参加者と本音の議論をおこなうことを目的とし、2012年から今までに8回行った。

第1回(2012.3.21)では、増加する訴訟問題につき例を示し弁護士と議論した。弁護士は医療コンプライアンス観点から医療村社会を脱却する必要性を強調された。参加された医師は、患者と信頼関係を形成することが診療する最初のステップであると考えている医師がほとんどであり、

お互いの認識の違いを体感した。

第2回(2012.5.26)では、国会議員(民主党(当時)梅村聡氏)と医療における消費税問題、後発医薬品など議論した。議論がかみ合わないのは、医師の多くが後発品と先発品は同等(同一ではない)で主張する国との信頼関係を保てないことが基本にあることがより明確になった。

第3回(2013.6.29)では、終末医療に関して死生観のない医療にならぬよう、死を受け入れるこ

とをどのように家族に納得してもらうかなどに関してデータを提示したのち参加者で議論した。

続く第4回(2013.11.3)では、同じ話題を宗教学者に参加してもらった。宗教学者からは、人格の定義や物語的アプローチの必要性が述べられた。

第5回(2015.4.23)では、新薬であるDOACによる医療費高騰の問題をどう考えるかを議論した。日本の予測心房細動例100万人すべて高価なDOACを使うと年間2000億円となる。医師は、個人であっても日本全体の医療費も考えて処方すべきではないかなどの議論となった。

第6回(2016.10.22)では、かかりつけ医について議論した。登録医制度のない日本ではかかりつけ医を定義できないことから始まり、かかりつけ医かどうかを決めるのは患者さんであること。医療政策のためにかかりつけ医という言葉を使うべきではないや、内科医以外の医師もかかりつけ医になりえるかどうかについて伯仲した議論になった。

第7回(2018.12.1)では、増加するCT検査による放射線被曝をどう考えるかを放射線技師と一緒に議論した。一方病院では、訴えられないため

にも画像解像力が高いCTを取らざるをえないという反面、虫垂炎で腹膜膿瘍を合併すれば短期間に3回のCTを施行された例も提示された。また標的臓器以外の病変について誰が説明責任を持つかという議論にもなった。

第8回(2019.8.31)では、「事実と想像」との題で若い医師や学生も交えて議論した。まずわかりやすい例として、保団連が主張している「憲法9条のおかげで平和がある」のではなく、憲法9条があり、平和であるこの2つを結びつけるのは想像であると司会者である私が強調した。その後、感度と陽性的中率の混同、%表示での100%とは何など、医学でみられる事象につき、事実なのか、客観的分析を加えた想像なのかを常に判断する必要性を議論した。

過去約2年、コロナ感染症のためにこのカンファランスを行えていないが、年に1度くらいの予定でその時々医療問題を本音の議論を行っていきたいと思う。次の話題として、2回目の「かかりつけ医」と、スマホ依存症の子供を減少させる意のために「歩きながらのスマートフォン操作について」のアンケート調査も含めた議論を考えている。

#### ファイアサイド・ディスカッション開催一覧

回	開催日	テーマ	講師	会場
1	2012年3月21日	医療コンプライアンスを考える	後藤コンプライアンス法律事務所 弁護士 後藤啓二先生	西宮市勤労会館
2	2012年5月26日	国会議員との懇談会	参議院議員・日本内科学会認定内科 医師 梅村聡先生	協会会議室
3	2013年6月29日	死生観を考える	西宮市・伊賀内科循環器科 院長 伊賀幹二先生	西宮市民会館
4	2013年11月3日	死生観を論じる	西宮市・伊賀内科循環器科 院長 伊賀幹二先生 西宮市・日本基督教団西宮教会 岡本知之牧師	西宮市立勤労会館
5	2015年4月23日	新薬と医療費	西宮市・伊賀内科循環器科 院長 伊賀幹二先生	西宮神社会館
6	2016年10月22日	「かかりつけ医」について考える	西宮市・伊賀内科循環器科 院長 伊賀幹二先生	西宮大学交流センター
7	2018年12月1日	CT検査 — 多い被曝量と、偶然見つかった病変の対処	西宮市・伊賀内科循環器科 院長 伊賀幹二先生	協会会議室
8	2019年8月31日	事実と想像 — 判断情報は事実ですか？ 思いこみではないですか？	西宮市・伊賀内科循環器科 院長 伊賀幹二先生	西宮市立勤労会館

## 6 在宅医療研究会

西宮市・土山クリニック 土山 雅人



2008年8月30日 講師は土山雅人先生ほか



2010年7月31日 講師を務める土山雅人先生



2010年7月31日 認知症事例の検討を行った

第1回目の「在宅医療研究会」は2003年4月18日に開催。当時、日本の医療は従来の入院中心から在宅重視へと大きく変わりつつあり、地域医療に係る各職種が連携して在宅患者のケアに取り組んでいくことが求められていた。そこで、医療・看護職のみならず介護・福祉職を含めた幅広い職種の方々に参加してもらい、各人が日ごろ感じている在宅医療の問題点を取り上げて共に学ぶ場として「在宅医療研究会」を立ち上げた。

はじめは在宅患者のケアに欠かすことの出来ない「嚥下障害」の話題とし、その後も数度にわたって嚥下のテーマで開催した。そこからさらに、在宅医療においてよく遭遇する褥瘡、胃瘻のケアや、バルーン・ストーマケア、口腔ケア、認知症、終末期の緩和ケアなど、様々なテーマで開催

し、講師も医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、歯科衛生士、介護士や大学講師など、幅広い職種からご講演いただいた。在宅医療の現場を共に学ぶ場とするため、看護・福祉職など協会の会員以外にも幅広く声をかけ、参加いただいたのも本研究会の特徴となっている。

現時点までで30回の研究会を開催することができたが、どれも事例検討を含めた非常に具体的かつ実践的な内容で、多職種の方々とざっくばらんな意見交換をすることができた。講師としてご出務いただいた皆様、ご参加いただいた皆様と、共催いただいたメーカーにこの場を借りて改めて御礼申し上げたい。

2015年以降の開催はできていないが、新型コロナウイルス感染拡大の経験を経て、在宅医療において各職種が連携して患者のケアに取り組んでいくことの必要性はますます高まっており、再び本研究会が開催されることを期待したい。

在宅医療研究会開催一覧

回	日時	テーマ/講師	共催
1	2003年4月18日	①土山雅人医師「嚥下障害」 ②中坪信也歯科医師「嚥下障害」	キッセイ薬品工業 明治乳業
2	2003年8月30日	①土山雅人医師「脳卒中と嚥下障害」 ②加藤隆久歯科医師「在宅歯科診療の現状」 ③上田益義栄養士「在宅での嚥下食」	塚製薬工場 アポットジャパン クリニック
3	2004年1月30日	①土山雅人医師「神経難病と嚥下障害」 ②岸清彦医師「胃瘻造設と管理について」 ③上原弘美歯科衛生士「嚥下障害患者への効果的な口腔ケア」	ファイザー メディコン テルモ
4	2004年6月12日	①増田理恵医師「在宅での褥瘡の予防とケア」 ②吉岡憂医師「在宅における尿路管理の実際」	大塚製薬工場 科研製薬
5	2004年11月6日	①岡山カナ子看護師「在宅でのストーマケア」 ②丸山哲矢理学療法士「介護における治療的介入～リハビリテーション技術の応用」	大塚製薬工場 コロプラスト
6	2005年1月29日	①山田滋氏「訪問介護サービスにおけるリスクマネジメント」 ②中村昌代看護師「在宅における人工呼吸器装着患者・家族への指導の実際」	アディックス 日本光電工業 高研
7	2005年6月18日	①金子みどり氏「認知症の口腔ケアを含む食支援」 ②加藤修一医師「筋萎縮性側索硬化症の緩和ケア」	田辺製薬 井上アタッチメント 三協製薬工業 ホリカフーズ
8	2005年8月27日	①西宮市・訪問看護センター明和「終末期看護-がん告知を受けた患者の葛藤と受容について-」 ②長尾和宏医師「胃・大腸癌患者の在宅ホスピスケア～癌性腹膜炎とどう向き合うか～」 ③石川朗宏医師「在宅での脳腫瘍のターミナルケア」 ④関本雅子医師「在宅ホスピスケアの現状と課題」	アステラス製薬 ヤンセンファーマ 井上アタッチメント
9	2005年11月19日	①柳澤正博医師「高齢者の異常な言動への対処法」 ②長田貴先生「高齢者虐待への対応と防止への取り組みについて」 ③石井久仁子先生「高齢者虐待における、明石市の現状と取り組みについて」	三菱ウェルファーマ株式会社
10	2006年2月25日	①小池一成先生「在宅ケアにおける感染予防」 ②小林有希先生「在宅での呼吸管理の実際」	株式会社キンキ酸器 株式会社高研
11	2006年6月24日	①野崎園子先生「神経難病の摂食・嚥下障害」 ②渡辺伸明先生「糖尿病在宅ケアのピットフォール」	冷えの漢方治療
12	2006年9月16日	①山本洋史先生「神経筋疾患に対する呼吸理学療法」 ②村内光一先生「訪問歯科診療の現状と摂食・嚥下リハを含めた口腔ケアについて」	アポットジャパン株式会社 井上アタッチメント株式会社
13	2006年12月2日	①西田奈美さん（訪問看護センター明和 管理者）「在宅での看取り事例からの学び～ターミナル期の家族支援とチームケアの強化に向けて～」 ②桜井隆先生「“あなたの家にかえろう”～住み慣れた家で死ぬということ～」 ③窪寺俊之神学部教授「スピリチュアルケア～魂の痛みをこたえる～」	塩野義製薬株式会社 ウエルテック株式会社
14	2007年3月10日	①合田文則先生「胃瘻からの半固形短時間摂取法」 ②小川滋彦先生「在宅NSTにおけるPEG管理」	株式会社メディコン アポットジャパン株式会社
15	2007年6月30日	①京都府言語聴覚士会会長、修学院ことばと子どもの相談室 三田村啓子先生「高次脳機能障害とコミュニケーション」 ②難波玲子先生「神経難病の在宅医療」	ヘルシーフード株式会社
16	2007年9月15日	①岡橋伸浩氏「下肢の慢性創傷の治療の現状と在宅との関わり」 ②前田倫先生「痛みの治療の基礎知識～緩和医療を中心に」	株式会社ミレニア
17	2008年2月2日	①安保博文先生「身体症状緩和のコツ」 ②谷山洋三先生「スピリチュアルケアの臨床」	フクダライフテック株式会社
18	2008年6月14日	①岸本裕充先生「知らなきゃ損!口腔ケアの常識・非常識」 ②森川知昭DH「口腔ケア関連グッズの選択法」	株式会社ウエルテック
19	2008年8月30日	①西宮市・つちやま内科クリニック 土山雅人先生「在宅における胃瘻の管理」 ②宝塚市・前田泌尿器科クリニック 前田修先生「頻尿からバルーン管理まで一泌尿器在宅ケア」 ③西宮市・ほしな眼科クリニック 保科幸次先生「眼科医が在宅でできること」 ④尼崎市・わたや整形外科 綿谷茂樹先生「運動器不安定症の予防-寝たきりにならないように」	アポットジャパン株式会社 メディコン株式会社
20	2009年2月7日	①兵庫県立西宮病院・MSW 徳山磨貴さん「終末期ケアにおける地域医療連携～急性期病院の立場から～」 ②関本クリニック看護師 福田清美さん「終末期ケアを見据えた地域連携～神戸市逆紹介システム運用後の現状～」 ③大阪北ホームケアクリニック 白山宏人先生「在宅緩和ケアの実践～退院から自宅での看取りまでの関わり～」	ヤンセンファーマ株式会社
21	2009年7月25日	①譜久山先生「今日からできる、在宅での床ずれ・やけど・キズの手当て」 ②柳本先生「痛みと薬剤-使い方、観察のポイント」	アポットジャパン株式会社

回	日時	テーマ/講師	共催
22	2009年11月21日	①明和病院 訪問看護センター-明和 看護師 中島淳美さん「グリーンケアと訪問看護の実践」 ②兵庫医大病院地域医療・総合相談センター-看護師長 小西尚美さん「当院における終末期ケアの現状」 ③特別講演 関西学院大学人間福祉学部人間科学科准教授 坂口幸弘先生「グリーンケアの考え方と課題」	—
23	2010年3月16日	①大阪大学歯学部付属病院顎口腔機能治療部 助教 野原幹司先生「認知症に対する摂食・嚥下リハ」 ②武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科 准教授 前田佳予子先生「在宅における栄養管理～嚥下食を中心として～」	株式会社大塚製薬工場
24	2010年7月31日	①つちやま内科クリニック院長 土山雅人先生「認知症の基礎知識」 事例検討 玉置晃司先生、山崎和代さん、秦佳子さん、山形まゆ美さん、栗野真造さん	エーザイ株式会社 ファイザー株式会社
25	2010年11月13日	①認知症疾患医療センター-清水まきさん、西口亜悠さん「認知症の医療システム-認知症疾患医療センターの役割-」 ②西長洲荘 栗野真造さん「認知症ケアにおける傾聴の意義」事例検討 田中章太郎先生、梯三千代さん、高橋君江さん、松末秀子さん、正原匡明さん	—
26	2011年3月12日	①甲子園訪問看護センター-管理者 上原恭代さん「在宅で役に立つ話」 ②協和マリナ訪問看護ステーション-管理者 渡邊幸子さん「訪問看護師と学ぶ『介護職員等のための痰吸引研修』報告」 ③西宮市・はらだ皮膚科 原田晋先生「在宅で多くみられる皮膚疾患-予防やケア、専門医紹介のポイント-」	—
27	2011年7月16日	①一般社団法人在宅療養支援薬局研究会・理事 越川法子先生「在宅医療を支える調剤薬局の役割」 ②県立西宮病院外科部長（消化器外科）辻江正樹先生・同病院・外来化学療法室看護長補佐 渋谷はるみさん「当院における外来化学療法の実際」	—
28	2011年11月26日	①武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科 准教授 谷野永和先生「ひとり暮らし高齢者の食生活と身体計測値」 ②ナチュラルスマイル会西宮北口歯科 院長 児玉秀樹先生「口腔ケアのいろはの“い”」	—
29	2013年5月18日	シリーズ 在宅療養の対応、連携をすすめる「終末期の在宅がん医療について」 ①疼痛管理 前田倫先生 ②緩和ケア 藤川晃成先生 ③訪問看護 井上綾子さん	—
30	2015年2月28日	ミヤコ在宅医療サービス株式会社第一営業部課長 東野健悟氏「①業者から見た診療報酬改定後の実態、②在宅における睡眠検査と合併症」	—



講師の川崎先生(右)と佐々木先生(左) (2014年)



熱心に講習会に参加する会場いっぱいの参加者(2014年)



講師の岩下先生(右)と中島先生(左) (2014年)

「保険請求事務講習会」は、主に医療事務の歴が浅い初級者のスタッフを対象に、保険請求に関する基礎を学んでもらう講習会である。西宮・芦屋支部では、2011年以降、川崎史寛先生(西宮市・川崎医院)、佐々木一郎先生(西宮市・夙川ささきクリニック)、中島敏雄先生(西宮市・中島クリニック)と私(岩下)の4人で解説を分担し、概ね1年に1度の頻度で開催してきた。開催年によって多少変わることもあるが、請求事務の基礎知識を学んでもらう1日目の講習は私と中島先生、実際に紙でレセプト作成の実技を行う2日目の講習は川崎先生と佐々木先生が担当している。以前は2日間で講師2人だけということもあったが、支部の若い先生方にもご協力いただき、

2011年から今の体制となった。この講習会は他の支部でも開催されているが、毎回講師を4人も擁して開催しているのは西宮・芦屋支部のみである。

開催にあたっては、診療後に中島先生のクリニックに4人が集まり、事務局が作成した資料を事前に確認しあうところからはじまる。2年に1度診療報酬が改定されるため、毎回同じというわけにはいかず、開催の都度こうして集まっている。ただ、今の4人体制になってから10年が経過したこともあり、近年は改定のポイントのみを確認しあうだけで当日を迎えることができるようになっている。終了後には4人で集まり、参加者アンケートを見ながら「反省会」を開催するのも定例となっている。

ただ、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、西宮・芦屋支部では2020年2月以降の開催は見送っている。協会・神戸支部ではZoomを併用した講習会の開催も始まっているが、これまで西宮・芦屋支部では毎回70人程度の参加があり、開催の要望の強い講習会でもあるため、新型コロナの感染拡大が落ち着いたところに再び開催できればと考えている。



2018年診療報酬改定情勢勉強会。講師は日経ヘルスケア編集部 二羽はるな氏

2022年3月24日の診療報酬改定研究会。  
左から中島先生、岩下先生、川崎先生2014年3月23日 病院向けの  
新点数解説を行う佐々木健陽先生

「診療報酬改定研究会」は、2年に1度の診療報酬改定時に、会員医療機関に「診療報酬のどこが変わったのか」のポイントを解説する研究会で、兵庫県下11の支部ごとに開催されているが、西宮・芦屋支部では2022年現在、岩下敬正先生(西宮市・岩下内科クリニック)、川崎史寛先生(西宮市・川崎医院)と私(中島)の3人が、それぞれ分担して解説を行っている。新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年度を除き、西宮市民会館大会議室など西宮・芦屋市内の広い会場をお借りして開催しており、毎回医師・スタッフら150~200名ほどの参加を得ている。もともと西宮・芦屋支部の「診療報酬改定研究会」は、協会の審査対策部長をされていた森下敬司先生が中心となって開催され、解説を担当する先生方が診察後に森下先生の医院に集まり、深夜まで準備をされていたとお聞きしている。

近年でも、点数の複雑化がより一層進むととも

に、改正告示・通知の発出の遅れや、五月雨式に発出される疑義解釈の数が膨大なものとなるなど、改定点数の内容を具体的に把握するだけでも相当の労力と時間を割かれることとなっている。新たに導入された「レセプトコード」入力や、度重なる窓口負担の引き上げなどが、さらに改定内容を複雑なものにしている。

しかし、森下先生が「保険医協会が診療報酬改定研究会を開催するのは、診療報酬改定を通して、日本がどのような医療に向かうかを明らかにするためであって、点数を説明するだけであれば役人でもできる」との気概を持って取り組まれてこられた伝統を引き継ぎ、単に点数の説明のみにとどまることなく、「今回の改定が医療機関にとってどういう影響があるか」「政府の改定の狙いは何なのか」を会員医療機関の医師・スタッフと共有できるよう、これからも取り組んでいきたい。



2015年12月19日 西宮渡辺心臓・血管センターで開催



2015年6月20日 広川内科クリニックで開催



2018年6月16日 あしだこども診療所で開催

2021年11月に兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部が創立40周年を迎えられると伺いました。まずはお祝いの言葉を述べさせていただきます。そして同時に私達に有益な情報を与えてくださり、また多種多様な分野に渡った企画を立ててくださったことに深くお礼申し上げます。その中で、私が担当させていただいた講習について少しか述

べさせていただきます。

以前から心肺蘇生法講習でお世話になっていた兵庫県保険医協会さんから新たな企画のお話をいただいたのが2015年の春、さあ何にしようかと考えていた時「あ、これがいい!」と思いついたのはBBPコースでした。BBPは「Bloodborne Pathogens」の略語で、日本語に訳すと「血液

伝搬病原体」となります。つまり血液を介して感染する疾病から自らをどう守るかを学ぶ講習です。この講習、実は自分の診療所のスタッフには以前に受講してもらっていて、その内容の素晴らしさに他の医療者の方にも是非とも知っていただきたいと思っていたところでした。早速その旨を保険医協会さんの担当者の方にお話しすると諸手を挙げて賛成して下さり、コースを開催することになりました。第1回は広川内科クリニックさんの診察室をお借りして、とてもたくさんの方に参加していただくことができました。講師の先生はアメリカ心臓協会のインストラクターをされている看護師さんで、京都からお越しいただきました。2時間の講習は座学だけでなく、正しい手袋の着用法や手洗いのやり方を学ぶ実技練習も盛り込まれているので、受講された方からもとても好評でした。講習が始まる前の皆さんの不安げな表情と、講習を終えた時の満足げな顔つきの違いがとても印象的でした。それから回を重ね、全部で4回の講習を開催することができました。

そしてやってきたのがコロナです。それまで普通に患者さんを診察する時、手袋を着用するようなことはありませんでした。ところが手袋着用は当たり前、場合によってはガウンやゴーグルを装着しながら診察することだって珍しいことではなくなりました。そんな時、このBBPコースで学んだ技術がとても役立つのです。そして、それは私だけでなく、このコースを受講していた我が診療所のスタッフにもメリットがありました。正しい手袋の外し方を知っていることは、スタッフ個人の自信にもなります。今から思うと先見の明を持った講習でした。

オミクロン株の市中感染が広まりつつある現在、人が密となるBBPコースを開催することは残念ながらできません。でも新型コロナウイルス感染症が終息した暁にもし機会をいただけるのであれば、是非ともこの講習を開催させていただきたいと思います。それが協会員の皆さまに役立つと信じています。

## 院内感染対策研修会・BBPコース開催一覧

回	日時	テーマ	担当	講師・話題提供	会場
1	2015年 6月20日(土)	血液に触れることのリスク、触れないための方法、触れた時の対処法	村上博先生 芦田乃介先生	アメリカ心臓協会(AHA)インストラクター 登山寿子看護師、小牧佳世看護師	広川内科クリニック
2	2015年 12月19日(土)	血液に触れることのリスク、触れないための方法、触れた時の対処法	村上博先生 芦田乃介先生	アメリカ心臓協会(AHA)インストラクター 登山寿子看護師	西宮渡辺心臓・血管センター
3	2016年 9月17日(土)	血液に触れることのリスク、触れないための方法、触れた時の対処法	村上博先生 芦田乃介先生	アメリカ心臓協会(AHA)インストラクター 登山寿子看護師	あしだこども診療所
4	2018年 6月16日(土)	血液に触れることのリスク、触れないための方法、触れた時の対処法	村上博先生 芦田乃介先生	アメリカ心臓協会(AHA)インストラクター 登山寿子看護師	あしだこども診療所



近年開業医交流会・支部新年会「開業医が知っておきたいリスクマネジメントクレーム対応のポイント、個人情報保護や応召義務など」  
2014年1月21日 西宮市民会館、白水法律事務所 鷗飼万貴子先生



20106月19日 広本先生慰労会



2007年の支部総会後の懇親会



新規開業医交流会  
2010年7月24日 料亭「割烹つじ」



2015年10月31日「近年開業」交流カフェ  
世話役を務めた村上博先生、林功先生

この度は、兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部（西芦支部）設立40周年誠にありがとうございます。これも、活動にご熱心な先生方、バックヤードを絶妙に支えて下さる事務局スタッフの皆様のご賜物であると思われま。この場を借りましてお礼申し上げます。突然の原稿執筆依頼があり、拙文ながら西芦支部との思い出を綴らせていただ

きました。

思い起こせば、保険医協会との一番始めの関わりは、35年前の勤務医時代の医師保険医年金だけでしたが（失礼お許し下さいませ）、その後、西宮での雇われ院長時代に管理医師のお葬式で、大森前支部長とお会いしました。お聞きすると、先生は会員の葬儀には必ず出席されるとのこと。このような、トップ自らが会員葬儀参列の律儀な組織もあるのかと驚愕したのを覚えております。

次の機会は、その2年後苦楽園口で新規開業し（26年前）、先輩先生方との「新規開業医交流会」で、竹園ホテルでの立食パーティーに出席した折り、沢山の先輩先生方と知己を得、また貴重なお話を聞けました。その知己のおかげで、〇先生には、ご自宅のバーベキューパーティーにお声を掛けていただいたり、開業後の個別指導時、技官に大声で援護射撃をいただいたり（凄い効果で、

それまで彼らは言いたい放題でしたが、急に「先生方、今日はお疲れ様でした。お気を付けてお帰り下さい」となりました）、N先生には、フレンチを食べながらのクローズの勉強会にも参加させていただき、またH先生には、私的な催しで大塚美術館のバス日帰り旅行にお誘い頂き、娘と鳴門の鯛めしをご馳走になりました（当時小学生だった娘も皮膚科医として開業しており時の経つのは早いものです）。

その後、開業・育児も一段落してからは、文化企画の奈良の酒蔵見学会幹事を仰せつかり（杜氏は大切なときはお米を発酵させてる横で布団を引き添い寝をするというお話が印象的でした）、支部長先生の慰労会（前支部長の大森先生、長きに渡り本当にご苦労さまでした）、支部忘年会（しゃぶしゃぶを食しながら西芦支部活動の1年を振り返るスライドをいつも見せていただいています）、お花見会（一番始めの参加は、夜桜で花冷えの中、多田先生に暖かいコーヒーをいただきました。ここ数年は、当方幹事になり、急な雨で、会場そばということで急遽拙宅でさせていただいた事もありました）、新規開業医研究会（初めはスルメのように固く聴く方でしたが、最後は講師をさせていただきました。が、あまりご参考にならず申し訳ございませんでした）、新年落語の会（着物を着ていくと会費600円が無料ですが、い

つも時間がなく洋服参加で残念でした。次回は筆筒の肥やし状態の着物を是非着ていきたいです）、異文化交流会（ウクライナ、チベットの女性音楽家と共に、文化の違いを考えましたが、彼女たちは、日本女性よりも日本女性らしくてびっくりしました。ひたすら日本人のお姑さんに従い、夫に尽くしていました）、ワインのテスティング販売会（旧居留地高級ホテルで美味しいオードブルをいただきながら、30種類のワインのテスティング。初めてお隣になりました女医さんご姉妹と女子トークをしました）…等、楽しいイベントに参加させていただきました。

また、困った時は保険医協会！、で、開業当初の保険請求雑務は勿論、急な資金調達、娘夫婦開業時の保険請求事務講習会、老後の保障、休業保障、また弁護士相談（親戚の相続問題は大変参考になりました。クリニックで顧問弁護士を雇うことなどとてもなく、スポットで安価で相談できました）と本当に、多方面でいつもお世話になっております。ただ、会のお手伝いしていると、年々お若い先生方の会への入会・参加が減っているように見受けられ、老婆心でしょうか、今回のコロナ禍で拍車がかかるのではと危惧しております。

しかし、いつもユニークで斬新なアイデアでリードされる協会「西芦支部、！今後ますますのご発展を祈っております。

#### 文化企画一覧

回	開催日	内容
1	1999年4月10日	春のお花見スペシャルバーベキュー（夙川さくら並木）
2	1999年7月24日	夏のさわやかビアパーティー（メリケンパーク オリエンタルホテル3階 シーサイドテラス）
3	1999年8月7日～8日	奥神鍋・アルビレオで天体観測
4	2000年7月8日	夏のさわやかbeer party（トレビアン）
5	2001年4月7日	支部お花見（芦屋川河川敷）
6	2002年4月13日	支部お花見（芦屋川河川敷）
7	2002年6月29日	焼肉パーティー 焼肉かわしま
8	2003年8月9日	納涼会 ヨットハーバーで地中海料理の宴
9	2006年7月29日～30日	ちくさ高原星空ツアー
10	2006年8月7日	夏のBeer party サロン・シャンテ
11	2007年8月18日	屋形船で堪能する日本の夏
12	2008年11月9日	ヤマメと山菜料理&但馬支部との交流in阿瀬渓谷
13	2009年4月11日	支部お花見会（夙川公園）
14	2009年8月8日	納涼懇親会（ニューミュンヘン倶楽部神戸元町）
15	2010年4月3日	支部お花見会（夙川公園）
16	2010年6月19日	広本先生慰労会（音羽館 苦楽園店）



回	開催日	内容
17	2011年4月2日	支部お花見会 (夙川公園)
18	2011年8月27日	屋形船で堪能する日本の夏
19	2011年10月23日	いも掘り大会
20	2012年2月26日	奈良県「春鹿」醸造 酒蔵見学会
21	2013年2月24日	奈良県「長籠」酒造 酒蔵見学会
22	2013年4月13日	支部お花見会 (夙川公園)
23	2014年4月5日	支部お花見会 (夙川公園)
24	2014年5月17日	チベット人声楽家パイマヤンジンさんが語る チベットと日本、異文化を越えて
25	2014年6月21日	浜福鶴吟 醸工房 酒蔵見学会
26	2014年7月21日	大森先生慰労会 (「はたごや」阪神西宮駅店)
27	2015年2月22日	奈良県「春鹿」醸造 酒蔵見学会
28	2015年4月4日	支部お花見会 (阪急苦楽園口北側)
29	2016年4月9日	支部お花見会 (阪急苦楽園口北側)
30	2016年11月3日	チキンラーメン手作り体験
31	2018年4月7日	支部お花見会 (阪急苦楽園口北側)
32	2019年3月30日	支部お花見会 (阪急苦楽園口北側)

※この他、支部忘年会を毎年末に開催 (2020年以降はオンライン忘年会)

### 新規開業医懇談会開催一覧

回	日時	会場	講演等	講師	司会	共催
1	2000年 6月17日	ホテル竹園	第1部 「新しいマクロライド系抗生物質の最近の話題について」 第2部 ①新点数・介護点数を検証する ②審査指導についてどう対応するか ③西宮・芦屋支部活動について			ファイザー製薬
2	2001年 6月23日	ホテル竹園	①審査・指導、医療連携、スタッフ対策 ②診療内容向上研究のための研究会 ③医療経営基盤づくりのアドバイス ④開業医のライフスタイル	①広川恵一先生 ②堅田均先生 ③林田英隆先生 ④北井明先生	林田英隆先生	ノバルティスファーマ
3	2001年 10月13日	ホテル竹園	薬局から「新たに地域で医療をはじめる先生に期待すること」	板倉弘明先生	広川恵一先生	-
4	2002年 4月20日	ホテル竹園	-	-	堅田均先生	-
5	2003年 3月8日	ホテル竹園	-	-	三浦一樹先生	-
6	2003年 10月18日	ホテル竹園	-	-	三浦一樹先生	-
7	2004年 6月26日	ホテル竹園	-	-	三浦一樹先生	-
8	2005年 7月16日	ホテル竹園	-	-	三浦一樹先生	-
9	2007年 7月28日	西宮神社 会館	-	-	蟹江純一先生	塩野義製薬
10	2008年 8月9日	ノボテル 甲子園	-	-	藤井健一郎先生	万有製薬
11	2009年 7月25日	ノボテル 甲子園	①「冠動脈プラーク退縮を目的としたスタチン療法」 ②ピアノミニコンサート	①民田浩一先生 ②川南百合子氏	岩下敬正先生 宮崎義彦先生	塩野義製薬
12	2010年 7月24日	料亭 「割烹つじ」	-	-	宮崎義彦先生	-
13	2011年 3月5日	ホテル竹園	患者さんに好感をもたれる医院づくり	田中徳一氏	宮崎義彦先生	日本医薬総研
14	2012年 8月25日	協会会議室	①保険請求、審査・指導 ②人事、スタッフ対策 ③医療経営のアドバイス	①安岡真奈美先生 ②中島敏雄先生	宮崎義彦先生	
15	2014年 5月10日	勤労会館	①2014年診療報酬改定のポイントとQ&A ②新規指導での体験談と審査指導について意見交換	①岩下敬正先生 ②中島隆世先生	庄村裕三先生	
16	2015年 10月31日	協会会議室	①人事のコツ ②医療経営のポイント ③診療内容の工夫や患者対応	村上博先生 林功先生		
17	2017年 1月21日	西宮市民 会館	開業医が知っておきたいリスクマネジメント	半田伸夫先生	鶴飼万貴子先生	

## 11 健康と医療について語り合う会

半田医院 半田 伸夫



2012年2月3日 手話サークル友の会  
講師は北垣幸央先生



2009年1月31日 阪神ろうあ団体連絡会  
講師は半田伸夫先生



2007年10月15日 用海公民館で  
講師を務める川野悦司先生



2021年11月7日 聴覚障害者の医療を考える会  
講師は吉岡裕樹先生

医療者の仕事は病人の診察や治療だけではない。未病、つまり病気にならないように教育、指導することも重要な仕事の一環である。実地医家は常に予防医学、患者さんの健康教育に深くかかわっている。西宮・芦屋支部では市民公開講座などで様々な講演会を企画してきたし、保険医協会では患者さん目線での活動を大切にしている。それらの活動の一環として、個別の公開講座「健康と医療について語り合う会」を行っている。

この会の始まりは古く、西宮・芦屋支部が発足した時期、1982年から当初、公民館や地域の老人会での健康講座への講師派遣として、積極的に広く案内していた。実に1982年だけで、27回（保険医協会の資料に残っている回数、実際はも

っと多いかもしれない）開催している。先人たちがいかに地域の中で、その健康教育活動を積極的にしてきたか、その熱き思いをそこから読み解くことが出来る（別紙の一覧表をご参照されたい）。

その後、新規開業の若手医師にその講師の役割が回ってくるようになった。地域住民と若手医師との橋渡しの場を作りたいという保険医協会側の親心もあったように思われる。

最近になってからは、日ごろ健康講座を受講する機会のない聴覚障害者を支援している西宮手話サークル友の会からの依頼も多く、コロナ蔓延以前まで数多く開催してきた。

筆者は2008年に、自身が開業前に専門としていた「脳卒中」について講演する機会を得た。講

演に際してはプリントを用意し、内容をパワーポイントで視覚的にわかり易く伝えつつもりであったが、医学用語が手話には適当な翻訳が無く、聴覚障害の方が正確に内容を理解することがいかに難しいかを実感した。その後2009年にも聴覚障害の方を対象として「メタボリック症候群」について説明している。

かつての支部長の伊賀郁雄先生、前支部長の大森公一先生、森下敬司先生をはじめとして、西山

哲彦先生、広川恵一先生、北垣幸央先生、川野悦司先生など数多くの先生方に講師を引き受けていただき、対象も一般市民から聴覚障害、視覚障害の方々など幅広い人々に講演を行ってきた。中には伊賀内科・循環器科の伊賀幹二先生の「親をどう看るか、自分はどうか見送られたいか」のような死生観・哲学的な講演もあった。

コロナ禍のため2021年以降休止しているが、今後も幅広いテーマで要望に応じていきたい。

### 健康と医療について語り合う会開催一覧

開催日	主催	テーマ	講師	会場
1982/3/27	津門校区老人クラブ	健やかな老後を送るために	中原聰先生など	広宣寺会館
1982/6/10	小松南老人クラブ寿会		園田喬先生 浅井賢先生	小松南老人憩いの家
1982/6/17	甲子園九番町仮設住宅2・3番町福寿会		森下敬司先生 伊藤泰二先生など	甲子園2・3番町自治会事務所
1982/6/17	春風校区老人クラブ連合会		伊賀郁雄先生 御幡益司先生 大田黒義郎先生	春風公民館
1982/6/18	中芦屋松寿会		幸原久先生	中島オートバイ2F
1982/6/19	安井校区老人クラブ連合会		伊賀郁雄先生 園田喬先生 柴田始宏先生など	安井市民館
1982/6/19	山口町船坂老人講座		大楠晴美先生	船坂公会堂
1982/6/29	南昭和町老人クラブ昭寿会		加藤勲先生 大田黒義郎先生 法貴憲先生	平木公民館
1982/7/6	浜脇校区老人クラブ連合会	健やかに生きること、動脈硬化と注射の話など	森下敬司先生 小松原昭三先生など	浜脇公民館
1982/7/15	小松西町老人クラブ	老化について、婦人のライフサイクルの変化など	加藤勲先生 浅井賢先生 園田喬先生	小松西町いこいの家
1982/7/19	今津校区老人クラブ連合会	子どもに接する祖父母の姿勢、脳卒中と心筋梗塞の予防と食生活など	伊賀郁雄先生など	今津公民館
1982/9/13	瓦木校区老人クラブ連合会	人口動態と医療費についてなど	森下敬司先生など	瓦木公民館
1982/9/16	津門小学校PTA	学童期における保健と性	伊賀先生 北村先生 樋渡先生	津門小学校講堂
1982/9/19	神呪寿会	成人病とその予防シリーズ	大田黒義郎先生	神呪会館
1982/9/19	綾羽親交会	老人に多い心臓病について	園田喬先生	大筒公民館
1982/10/12	甲子園高潮町福祉会	高血圧について	大森公一先生	歯科総合福祉センター
1982/10/20	甲子園五番町自治会	高血圧・心臓病の話	橋本行男先生	甲子園六番町八ツ松市民館
1982/10/20	芦屋母親連絡会	成人病について	幸原久先生	芦屋市民センター
1982/10/24	戸田町自治会	医療制度・成人病・糖尿病など	森下敬司先生	老人いこいの家
1982/10/29	小松東町自治会	がん、婦人のライフサイクルの変化	浅井賢先生 小松原昭三先生	小松東町自治会館
1982/10/29	学文殿町自治会	平均身長が伸びた訳、人間と他の動物の違いなど	加藤勲先生 高橋先生	学文公民館
1982/11/10	甲子園浜田福祉会	川崎病、婦人の健康についてなど	御幡益司先生 正田先生	春風公民館
1982/11/20	稲荷町福祉会 やよい会老人クラブ	高齢化社会の到来、疾病構造の変化など	森下敬司先生	広宣寺会館

開催日	主催	テーマ	講師	会場
1982/11/22	上甲子園公民館老人講座	老人の健康上の注意など	桐島正義先生 伊賀郁雄先生 御幡益司先生	甲子園公民館
1982/12/10	今津連合婦人会	長寿のひけつなど	伊賀郁雄先生 北村先生 金森先生	今津公民館
1983/2/10	西宮民商婦人部	優生保護法と老人保健法	古川賀捷先生	西宮民商会館
1983/2/20	阪神土建高齢者集会		園田喬先生	阪神土建事務所
1983/2/20	西宮北口南自治会	成人病など	森下敬司先生 合瀬先生	中央公民館
1983/3/8	国際婦人デー西宮集会		井上晃一先生	西宮市職会館
1983/3/9	津門小学校教職員婦人部		松岡先生	津門小学校
1983/3/13	津門綾羽町老人クラブ	神経痛など	園田喬先生	津門市民館
1983/3/17	西宮北口自治会	血圧、神経痛など	大田黒義郎先生 稲川勝義先生	高木市民館
1983/3/24	前浜東部明治会	老人保健法、成人病など	森下敬司先生	前浜町自治会館
1983/4/11	浜脇校区老人クラブ連合会	老人保健法、痴呆など	森下敬司先生 加藤勲先生 柴田始宏先生	浜脇公民館
1983/4/21	今津連合老人クラブ	老人保健法、病気の予防	伊賀郁雄先生 橋本行男先生 御幡益司先生	今津公民館
1983/6/16	富水学園五六会	動脈硬化、白内障、皮膚疾患など	大田黒義郎先生 井上晃一先生 法貴憲先生	中央公民館
1983/6/23	今津老人クラブ連合会	医師から見た老健法	森下敬司先生	今津公民館
1983/7/3	西宮母親連絡会	むしばまれている子どもの心と身体	伊賀郁雄先生 寺内寡一先生	用海公民館
1983/7/8	瓦木校区老人クラブ連合会	医師から見た老健法	森下敬司先生	瓦木公民館
1983/7/14	高木校区老人クラブ連合会	白内障と緑内障、腰痛、皮膚疾患など	大楠晴美先生 井上晃一先生 稲川勝義先生 法貴憲先生	高木センター
1983/7/14	春風校区老人クラブ連合会	高齢化社会と膝関節の痛み	森下敬司先生	春風公民館
1983/7/22	甲子園九番町老人クラブ		森下敬司先生	南甲子園公民館
1983/7/28	広田校区老人クラブ連合会		森下敬司先生など	平木市民館
1983/7/30	西宮北口町自治会		大田黒義郎先生 法貴憲先生	高木市民館
1983/9/27	新婦人芦屋支部	優生保護法、健保改悪	松岡先生 小泉英雄先生	打出春日集会所
1983/10/17	浜脇校区老人クラブ連合会	風邪、便秘など	大楠晴美先生	浜脇公民館
1983/11/29	瓦木校区老人クラブ連合会	痴呆の予防など	森下敬司先生	瓦木公民館
1983/12/1	甲風園シルバークラブ	動脈硬化と痴呆	大田黒義郎先生	高木センター
1984/2/19	阪神土建労組	健保法、糖尿病など	園田喬先生	協同組合事務所
1984/2/23	西宮北口町自治会	高血圧、動脈硬化など	松本駿先生	北口クラブ
1984/3/11	上田老人クラブ	老人をめぐる医療情勢、痴呆、栄養など	森下敬司先生 加古康明先生	鳴尾老人福祉センター
1984/7/26	甲風園シルバークラブ	老人・婦人の健康と病気		高木センター
1984/9/4	六軒婦人会	更年期の生理とガン	園田喬先生	
1984/9/23	神呪寿会	高血圧・糖尿病		
1984/10/8	浜脇老人クラブ連合会	成人病のおそろしさ		浜脇公民館
1984/10/15	平木老人学級	不眠症		平木公民館
1984/11/24	上ヶ原団地七番町自治会	子どもの健康	小泉英雄先生	自治会事務所
1984/11/28	養護老人ホーム市立寿園	老人の日常生活の注意点	伊賀郁雄先生	寿園
1985/2/17	阪神土建労組	腰痛症など	稲川勝義先生	協同組合事務所
1985/3/17	津門綾羽町老人クラブ	腰痛症など	稲川勝義先生	津門市民館

開催日	主催	テーマ	講師	会場
1985/5/12	神呪寿会	健康な人生を過ごすために	大田黒義郎先生	神呪会館
1985/5/16	宮水学園五六会	成人病と健康	大楠晴美先生	中央公民館
1985/6/18	翠ヶ丘ときわ会	脳血管障害と肺炎、腰痛・関節痛	岡祐公先生など	翠ヶ丘集会所
1985/6/20	春風公民館	老人医療のこれから	御幡益司先生	春風公民館
1985/7/14	芦屋南宮町南寿会	痴呆防止について	幸原久先生など	打出集会所
1985/10/30	自治会連合会芦屋浜連絡会	感冒とアレルギー症	小泉英雄先生	同会管理センター
1985/11/18	今津公民館活動推進委員会	肩こり、腰痛・反核映画	伊賀郁雄先生	今津公民館
1985/11/20	瓦木校区老人クラブ連合会	肩こり、腰痛、歯科ブラッシング、反核映画	大田黒義郎先生 法貴憲先生など	瓦木公民館
1986/2/23	阪神土建労組	老人保健法、酒・タバコについて	御幡益司先生 稲川勝義先生	協同組合事務所
1986/2/17	芦原老人クラブ	老人保健法、老人の健康管理	御幡益司先生 大田黒義郎先生	若竹生活文化会館
1986/3/19	越水老人クラブ	老人保健法、虫歯と歯槽膿漏	大田黒義郎先生 宮脇英子先生	老人憩いの家
1986/4/15	翠ヶ丘ときわ会	大腸がん	上條勝常先生	翠ヶ丘集会所
1986/6/12	用海校区老人クラブ連合会	手足・関節の事故予防、老人の健康と医療	園田喬先生 小松原昭三先生	用海公民館
1986/8/12	浜脇校区老人クラブ連合会	成人病について	森下敬司先生 西山哲彦先生	浜脇公民館
1986/9/9	浜脇校区老人クラブ連合会	老人病の恐ろしさ	森下敬司先生 西山哲彦先生	浜脇公民館
1986/9/11	上甲子園連合会天寿会	老人の健康と医療	野田進一先生 大森公一先生	上甲子園公民館
1986/9/27	池田町老人クラブ	食事と骨粗鬆症、ガンなど	森下敬司先生 小松原昭三先生	勤労会館
1986/10/9	樋口クラブ	老人の健康と医療	大田黒義郎先生 奥野先生	樋口町集会所
1986/10/9	西蔵町喜楽会	老人の健康と医療	幸原久先生 野村先生	竹園集会所
1986/10/12	松の内町内会	腰痛について	幸原久先生 福岡先生	芦屋市福祉会館
1986/10/15	甲風園シルバークラブ	腰痛・関節痛について	稲川勝義先生	高木センター
1986/10/15	西校区老人クラブ	老人の健康維持について	森下敬司先生 佐藤先生	鳴尾公民館
1986/10/16	浜甲子園校区老く連	腰痛、関節痛について	大田黒義郎先生 浜岡先生	浜甲団地集会所
1986/10/18	甲子園春風老人クラブ	老人の健康と医療	御幡益司先生	春風町集会所
1986/10/24	高須公民館	老後の健康について	大森公一先生 大岡先生	高須公民館
1986/11/14	春風地区浜田老人クラブ	成人病・腰痛	稲川勝義先生 杉島先生	春風公民館
1987/2/22	阪神土建高齢者集会	老人の健康と食生活、老人保健法の報告	御幡益司先生 大田黒義郎先生	組合事務所
1987/3/15	綾羽親交会	老人の健康と食生活	御幡益二先生	大筒市民館
1987/5/24	西浜クラブ	元気で長生きするために	園田喬先生	鳴尾町4丁目自治会
1987/5/28	用海公民館活動推進委員会	老人医学	園田喬先生	用海公民館
1987/6/4	鳴尾公民館	幼児の健康	柴田始宏先生	鳴尾公民館
1967/6/8	上大市寿会	老人の健康と医療について	大田黒義郎先生	上大市5丁目自治会事務所
1967/6/12	浜田老人クラブ	高血圧の予防と管理	御幡益司先生	春風公民館
1967/6/18	浜脇校区老人クラブ連合会	栄養と健康について	西山哲彦先生	浜脇公民館
1987/7/3	翠ヶ丘ときわ会	白内障について	安並正昭先生	翠ヶ丘集会所
1987/7/10	鳴尾公民館	腰痛・神経痛	加藤勲先生 土井先生	鳴尾公民館
1987/7/16	浜脇校区老人クラブ連合会	成人病の予防と対策	大西俊和先生	浜脇公民館
1987/7/21	鳴尾公民館	足の健康	布谷先生 加藤勲先生	鳴尾公民館
1987/7/28	綾羽親交会	老人の健康と医療	伊賀郁雄先生 小俣先生	津門大筒市民館

開催日	主催	テーマ	講師	会場
1987/10/6	芦屋市老人クラブ連合会	がんの発生と対策、白内障	上條勝常先生 安並正昭先生	春日集会所
1987/10/6	津門老人クラブ連合会	元気で長生きするために	伊賀郁雄先生 小俣先生	大筒市民館
1987/10/24	鳴尾4丁目自治会	神経痛・腰痛	木村先生 法貴憲先生	鳴尾自治会館
1987/12/11	松の内自治会	元気で長生きするために	幸原久先生	芦屋市民センター
1988/2/21	阪神土建高齢者集会	高齢者の健康と生きがい	園田喬先生	阪神土建組合事務所
1988/5/7	樋ノ口クラブ	ボケの早期発見、高血圧について	大田黒義郎先生	樋ノ口1丁目集会所
1988/5/19	用海公民館	老人のかかりやすい目の病気、予防と対策	井上先生 大森公一先生	用海公民館
1988/5/26	寿会	肩こり・ストレス・関節炎	吉岡裕樹先生 森下敬司先生	鳴尾公民館
1988/6/2	宮水学園寿一会	老人の健康と医療	稲川勝義先生	西宮市中央公民館
1988/6/9	鳴尾・幼児教育講座	アトピー性皮膚炎・幼児の虫歯予防	法貴憲先生 落合愛子先生	鳴尾公民館
1988/6/16	翠ヶ丘ときわ会	老人の健康について（ボケなど）	幸原久先生	翠ヶ丘集会所
1988/7/7	芦屋・竹園会自治会	元気で長生きするために	幸原久先生	竹園集会所
1988/7/28	芦屋・老人クラブ喜楽会	高血圧と心臓病の予防の話	小泉英雄先生 中村先生	竹園集会所
1988/8/18	芦屋・西蔵町自治会	子供の夏の元気な過ごし方	小泉英雄先生	竹園集会所
1988/10/20	東神戸医療互助組合芦屋支部	眼の話（白内障）	丸尾 昇先生	芦屋市民センター
1988/10/29	芦屋・潮見南老人会	老人の日常的健康管理について	上條勝常先生	潮見町集会所
1988/11/17	東神戸互助組合芦屋支部	老人の歯	落合愛子先生	芦屋市民会館
1988/12/8	芦屋・松の内自治会	老人の健康	井崎昭先生	芦屋市民会館
1989/1/22	東神戸互助組合芦屋支部	これからの医療制度	幸原久先生	芦屋市民会館
1989/2/19	阪神土建労働組合高齢者集会	元気で長生きするために	川野悦司先生	同組合事務所
1989/2/22	西宮・越水老人クラブ	ボケ防止・排尿障害	森下敬司先生 結城清之先生	越水老人いこいの家
1989/2/27	今津公民館高齢者講座	こんなときどうする	北村純司先生	今津公民館
1989/3/14	中央公民館青年講座	正しいダイエットの考察	吉岡裕樹先生	中央公民館
1989/5/13	高座町先進会老人クラブ	成人病の予防と対策	川野悦司先生	広田山荘
1989/5/27	鳴尾老人学級	元気で長生きするために	岩沢列先生	西宮市役所鳴尾支所
1989/6/8	鳴尾公民館幼児教育講座	アトピー性皮膚炎	法貴憲先生	鳴尾公民館
1989/6/15	鳴尾公民館幼児教育講座	虫歯予防	落合愛子先生	鳴尾公民館
1989/6/15	浜脇老人クラブ	老人の健康	吉岡裕樹先生	浜脇公民館
1989/7/1	用海公民館	老化、寝たきり予防	川野悦司先生	用海公民館
1989/7/13	寿楽会老人クラブ	腰痛・関節痛	吉岡裕樹先生	打出集会所
1989/7/27	喜楽会老人クラブ	骨粗鬆症	安東寛泰先生	竹園集会所
1989/7/29	東南ブロック老人会	高血圧と糖尿病	幸原久先生	春日集会所
1989/9/9	香柙園老人クラブ	元気で長生きするために	川野悦司先生	香柙園小学校
1989/9/11	今津公民館	腰痛・関節痛・神経痛	松本憲先生	今津公民館
1989/9/26	南甲子園公民館高年講座	腰痛・関節痛・骨粗鬆症	吉岡裕樹先生	南甲子園公民館
1989/10/24	新日本婦人の会西宮支部	高齢者の健康と生活	広川恵一先生	若竹生活文化会館
1989/12/3	阪神土建労働組合健康講座	健康について	広川恵一先生	阪神土建事務所
1990/2/18	阪神土建労働組合健康講座		大森公一先生 結城清之先生	協同組合事務所
1990/2/22	鳴尾公民館成人講座	更年期障害	浅井賢先生	鳴尾公民館
1990/3/8	今津公民館高齢者講座	寝たきりにならないために	松本憲先生	今津公民館
1990/4/7	樋ノ口老人クラブ	元気で長生きするために	林田英隆先生	樋ノ口集会所
1990/5/24	用海公民館講座	お年寄りの耳の話	岡暉邦先生	用海公民館
1990/5/24	神原町自治会	中高年の健康について	園田喬先生	神原公民館

開催日	主催	テーマ	講師	会場
1990/6/14	阪神土建労組主婦の会	成人病と肥満	林田英隆先生	協同組合事務所
1990/6/21	鳴尾公民館幼児教育講座	乳幼児をお持ちのお母さんへ	浅井賢先生	鳴尾公民館
1990/7/12	西蔵老人クラブ	大気汚染と健康被害	幸原久先生	西蔵集会所
1990/7/16	浜脇校区老人クラブ	骨の話	横山和敏先生	浜脇公民館
1990/8/2	西蔵老人クラブ	糖尿病、白内障	岡祐公先生 矢野千賀子先生	西蔵集会所
1990/9/8	香柰園老人クラブ連合会	老人性痴ほうにならないために	川野悦司先生	香柰園小学校
1990/10/19	高須老人クラブ	お年寄りの耳の話	岡暉邦先生 大森公一先生	高須公民館
1990/11/15	鳴尾公民館		江河住夫先生 大森先生	鳴尾公民館
1990/12/11	鳴尾公民館		吉岡裕樹先生	鳴尾公民館
1991/2/24	阪神土建労組		法貴憲先生 大森公一先生	協同組合事務所
1991/5/25	西浜老人クラブ	成人病	中田正基先生 大森先生	
1991/10/8	平木老人クラブ連合会	元気で長生きするために	浅井賢先生	
1991/10/15		上手な医者のかかり方	広川恵一先生	
1991/10/19	芦屋年金者組合	元気で長生きするために	幸原久先生	
1991/11/21	芦屋・松ノ内町老人会	寒い冬を元気にのりきるために	多田梢先生	大原事務所
1991/12/5	里中町自治会	寒さに向かって気をつけること	大森公一先生 蟹江純一先生	里中集会所
1992/1/16	鳴尾公民館健康講座	幼児の身体と心の健康	大楠晴美先生	高須西幼稚園
1992/2/6	上大市第2自治会	目の病気について	古沢鉄也先生	上大市第2自治会事務所
1992/2/20	上甲子園校区天寿会	老人の食と健康	村尾茂雄先生	甲子園口サービスセンター
1992/2/23	阪神土建労組	元気で長生きするために	蟹江純一先生 大西正孝先生	阪神土建事務所
1992/3/4	社協夙川分区	元気で長生きするために	大田黒義郎先生	夙川公民館
1992/5/14	鳴尾公民館	輝いていますか子どもの歯	江河住夫先生	鳴尾公民館
1992/6/7	西宮市聴覚言語障害者協会 ろうあ部婦人部	生き生き元気に暮らそう	広川恵一先生	中央公民館
1992/6/18	用海公民館	元気で長生きするために	大西正孝先生	用海公民館
1992/6/28	西宮市母親大会	老後を豊かに暮らすために	川野悦司先生	若竹生活文化会館
1992/7/11	香柰園老人クラブ連合会	栄養と健康	森博雄先生	香柰園小学校
1992/7/16	浜脇老人クラブ連合会	元気で長生きするために	別所順子先生	浜脇公民館
1992/8/6	芦屋老人クラブ喜楽会	健康と歯	吉川広志先生	西蔵公民館
1992/9/17	神原公民館講座	高齢者の健康	中林晟先生	神原公民館
1992/10/9	鳴尾公民館講座	腰・ひざ、足の痛みなど	吉岡裕樹先生	鳴尾公民館
1992/10/17	里中親交クラブ	ボケを防ぐ法・白内障の話	大森公一先生 中川成則先生	里中集会所
1992/10/22	社会福祉協議会夙川文区	腰痛・ひざの痛みにご用心	蟹江純一先生	夙川公民館
1992/11/28	甲子園2番町老人会	寒い冬を元気に乗り切るために これからの口のお口の健康	森睦子先生、 江河住夫先生	自治体集会所
1993/2/2	高須公民館高齢者講座	骨粗鬆症について	伊熊貢秀先生	高須公民館
1993/2/9	高須公民館高齢者講座	胆石について	大岡輝子先生	高須公民館
1993/2/16	高須公民館高齢者講座	アルツハイマーについて	新川賢一郎先生	高須公民館
1993/2/23	高須公民館高齢者講座	エイズについて	大森公一先生	高須公民館
1993/2/21	阪神土建労組高齢者集会	元気で長生きするために、白内障について	川野悦司先生 中川成則先生	阪神土建事務所
1993/3/23	上甲子園校区老人コミュニ ティ	保険でよい入れ歯を	加藤隆久先生	上甲子園公民館
1993/5/27	夙川社会福祉協議会	元気で長生きするために アトピーとステロイド軟こう	中田正基先生 法貴憲先生	夙川公民館
1993/6/4	鳴尾公民館講座	元気で長生きするために	大西正孝先生	鳴尾公民館

開催日	主催	テーマ	講師	会場
1993/6/7	用海公民館講座	お医者さんへの上手なかかり方	大田黒義郎先生	用海公民館
1993/6/17	浜脇公民館講座	元気で長生きするために	日野利治先生	浜脇公民館
1993/6/17	神原公民館講座	膝関節症、エイズ	中林晟先生	神原公民館
1993/6/29	学文公民館	糖尿病とそれに付随する病気について	西本博先生	学文公民館
1993/9/16	司法書士会阪神支部	健康で長生きするために	大森公一先生	尼崎商工会議所
1993/9/24	阪神土建組主婦の会	中高年の健康管理について	林田英隆先生	西宮神社会館
1993/9/24	瓦木公民館講座	寝たきりにならないための予防	小田裕徳先生 蟹江純一先生	瓦木公民館
1993/10/5	用海公民館講座	季節の変化と健康管理	日野利治先生	用海公民館
1993/10/7	学文公民館講座	幼児のあごの発達と歯	江河住夫先生	学文公民館
1993/10/22	用海公民館講座	高血圧と合併症	別所順子先生	用海公民館
1993/11/29	社会福祉協議会夙川文区	中高年の目の病気	堀田能子先生 大森公一先生	夙川公民館
1994/1/23	社協北夙川分区介護者のつ どい		大森公一先生	越木岩公民館
1994/2/27	阪神土建労組高齢者集会	アルツハイマー	新川賢一郎先生 大森公一先生	労働組合事務所
1994/6/7	神原公民館講座	ストレスと健康	保坂正昭先生 大森公一先生	神原公民館
1994/6/10	浜脇老人会健康講座	骨粗鬆症について	吉岡裕樹先生	浜脇公民館
1994/6/10	鳴尾公民館健康講座	老年痴呆について	新川賢一郎先生	鳴尾公民館
1994/6/23	学文公民館健康講座	子どもの虫歯と体の発達	江河住夫先生	学文公民館
1994/6/24	鳴尾公民館講座	腰痛・ひざ痛にご用心	松本憲先生	鳴尾公民館
1994/6/27	用海公民館講座	お年寄りの歯について	中坪信也先生	用海公民館
1994/7/12	学文公民館健康講座	白内障	真崎浩見先生	学文公民館
1994/7/13	用海公民館講座	骨粗鬆症について	別所順子先生	用海公民館
1994/7/21	阪神土建労組主婦の会	中高年の更年期障害と血圧	林田英隆先生	労働組合事務所
1994/7/26	学文公民館健康講座	老人の病気と在宅ケア	保津真一郎先生	学文公民館
1994/8/29	社会福祉協議会夙川分区	ストレスと心の健康	保坂正昭先生	夙川公民館
1994/10/7	高須公民館	骨にまつわる痛みについて	蟹江純一先生	高須公民館
1994/10/14	高須公民館	更年期障害	林田英隆先生	高須公民館
1994/11/17	神原公民館	肩こりについて	中林 晟先生	神原公民館
1995/11/10	浜脇公民館健康講座	成人病の早期発見と予防法	川野悦司先生	浜脇公民館
1995/11/14	学文公民館高齢講座	心のケア	新川賢一郎先生	学文公民館
1995/11/18	西阪神高等学校教職員組合 婦人部	女性教職員の心のケア	新川賢一郎先生	
1995/11/27	若竹子ども健康講座		広川恵一先生	若竹生活文化会館
1995/12/8	全教西宮支部婦人部合宿	お医者さんの話を聞こう	広川恵一先生	
1995/12/12	社協北夙川分区	お食事会	大森公一先生	
1996/1/25	県・西宮社協など	仮設住宅入居者高齢者のつどい	大森公一先生	
1996/1/30	西宮社協夙川分区		林田英隆先生	
1996/2/1	名塩仮設住宅	健康相談	広川恵一先生	名塩仮設住宅
1996/3/7	名塩仮設住宅	健康相談	広川恵一先生	名塩仮設住宅
1996/4/4	名塩仮設住宅	健康相談	中田正基先生 広川恵一先生	名塩仮設住宅
1996/4/28	枝川仮設住宅	「楽しく頑張りよう会」健康相談	大森公一先生 新川賢一郎先生 吉岡祐樹先生 中坪信也先生	枝川仮設住宅
1996/5/9	名塩仮設住宅	健康相談	大森公一先生	名塩仮設住宅
1996/5/30	夙川公民館健康講座	腰痛について	田中真一郎先生	夙川公民館
1996/6/21	浜脇公民館健康講座	ビタミンを考える	広川恵一先生	浜脇公民館
1996/6/23	西宮母親大会・医療福祉分 科会	介護保険について	広川恵一先生	

開催日	主催	テーマ	講師	会場
1996/7/4	名塩仮設住宅	健康講座	谷二三夫先生 広川恵一先生	名塩仮設住宅
1996/7/9	学文公民館健康講座	肝炎について	大岡照二先生	学文公民館
1996/7/12	浜脇公民館	白内障について	中川成則先生	浜脇公民館
1996/7/16	上ヶ原公民館健康講座	身近な糖尿病	末広美津子先生 伊勢久代米養士	上ヶ原公民館
1996/8/8	名塩仮設住宅	健康講座	西重敬先生、 大森公一先生	名塩仮設住宅
1996/9/4	西宮市職員労組学校支部	O-157問題	小泉英雄先生	
1996/9/5	名塩仮設住宅	健康講座	近重民雄先生 大森公一先生	名塩仮設住宅
1996/9/19	鳴尾公民館健康講座	子供の虫歯	江河住夫先生	鳴尾公民館
1996/10/3	名塩仮設住宅	健康講座	板倉薬剤師 広川恵一先生	名塩仮設住宅
1996/10/5	浜脇公民館健康講座	健康講座	広川恵一先生	浜脇公民館
1996/10/11	用海公民館講座	老後を上手に生きる	川野悦司先生	用海公民館
1996/10/20	阪神土建労組高齢者のつどい	震災後の高齢者の心のケア	高木敬三先生	組合事務所
1996/10/25	鳴尾公民館健康講座	健康講座	中田正基先生	鳴尾公民館
1996/10/31	高須公民館高齢者講座	健康講座	法貴憲先生	高須公民館
1996/11/7	名塩仮設住宅	健康講座	中田正基先生	名塩仮設住宅
1997/2/6	名塩仮設住宅	慢性膀胱炎など	坂口強先生	名塩仮設住宅
1997/3/12	名塩仮設住宅	白内障・緑内障の予防	北村弘幸先生	名塩仮設住宅
1997/4/3	名塩仮設住宅	婦人科に関するアレコレ	林田英隆先生	名塩仮設住宅
1997/4/23	甲子園九番町仮設住宅	こころのケアについて	岡本好司先生	ひまわりセンター
1997/6/20	甲子園九番町仮設住宅	こころと身体 ～毎日を見つめて～	広川恵一先生	ひまわりセンター
1997/7/3	名塩仮設住宅	食中毒と栄養管理	大森公一先生	名塩仮設住宅
1997/7/10	甲子園九番町仮設住宅	ボケないための運動と栄養	大森公一先生	ひまわりセンター
1997/7/15	河原町仮設住宅	夏を乗りきる健康法と 9月からの医療費の負担増について	広川恵一先生	ふれあいセンター
1997/7/22	用海公民館	中年のツボをおさえた健康法	永田裕人先生	用海公民館
1997/8/28	甲子園九番町仮設住宅	"9月からの医療費引上げ、 めまいとしびれ"	広川恵一先生	ひまわりセンター
1997/9/4	名塩仮設住宅	9月からの医療費増について	広川恵一先生 北井明先生 法貴憲先生	名塩仮設住宅
1997/9/19	瓦木公民館	生活習慣病	宮内孝浩先生	瓦木公民館
1997/9/25	河原町仮設住宅	健康と運動	阿波純二先生	ふれあいセンター
1997/9/26	上ヶ原公民館	老人の眼	森健司先生	上ヶ原公民館
1997/10/16	甲子園春風老人クラブ	医療費値上げについて	御幡益司先生	春風公民館
1997/10/30	瓦木公民館	難聴と補聴器	伊賀司先生	瓦木公民館
1997/11/26	甲子園九番町仮設住宅	ボケないための生活の仕方と心得	岡本好司先生	ひまわりセンター
1997/11/27	河原町仮設住宅	歯のはなし	加藤隆久先生	ふれあいセンター
1997/12/4	名塩仮設住宅	冬に向けての食生活	東由紀子氏（北摂中央 病院管理栄養士）	名塩仮設住宅
1997/12/18	甲子園九番町仮設住宅	悩みと生きがい	岡本好司先生	ひまわりセンター
1998/1/22	甲子園九番町仮設住宅	こころの働きと免疫	岡本好司先生	ひまわりセンター
1998/2/18	上ヶ原公民館	大腸癌	平本孔彦先生	上ヶ原公民館
1998/2/22	阪神土建	高齢者の健康管理	大森公一先生	阪神土建
1998/2/26	河原町仮設住宅	こころのケア	高木敬三先生	ふれあいセンター
1998/6/25	甲子園九番町仮設住宅	天気とこころ・身体	高木敬三先生	ひまわりセンター
1998/6/25	学文公民館	腰痛・肩こり	吉岡裕樹先生	学文公民館
1998/6/26	河原町仮設住宅	夏かせ予防	宮内孝浩先生	ふれあいセンター

開催日	主催	テーマ	講師	会場
1998/6/30	越木岩会館	O-157など食中毒	大森公一先生	越木岩会館
1998/8/28	河原町仮設住宅	腰痛について	山戸一晃先生	ふれあいセンター
1998/9/9	甲子園九番町仮設住宅	腰痛について	村松秀幸先生	ひまわりセンター
1998/10/2	鳴尾公民館	老人の目の病気について	真崎浩見先生	鳴尾公民館
1998/10/8	春風公民館	中高年の医療、健康管理	西田禎宏先生	春風公民館
1998/10/23	河原町仮設住宅	肩こり、関節痛	奥平哲先生	ふれあいセンター
1998/11/17	瓦木公民館	腰痛について	飯田伊佐男先生	瓦木公民館
1998/12/18	河原町仮設住宅	コレステロールについて	川野悦司先生	ふれあいセンター
1999/2/17	河原町仮設住宅	眼のはなし	伊賀俊行先生	ふれあいセンター
1999/2/25	上ヶ原公民館	骨粗鬆症について	田中真一郎先生	上ヶ原公民館
1999/4/7	河原町仮設住宅	健康について	大森公一先生	ふれあいセンター
1999/6/28	用海公民館	高血圧とコレステロール	西山哲彦先生	用海公民館
1999/7/8	小松デイケアサービスセンター	生活習慣病について	大岡照二先生	小松デイケアサービスセンター
2000/3/15	瓦木公民館	アレルギー	関真理子先生	瓦木公民館
2000/10/12	用海公民館	腰痛・肩こりの予防策	松本憲先生	用海公民館
2000/11/19	春風公民館	生活習慣病の予防について	北垣 幸央 先生	春風公民館
2000/12/1	香榎園市民館	高齢者の健康管理—皮膚科・内科から—	土岐真理子先生 広川恵一先生	香榎園市民館
2001/2/26	鳴尾東公民館	うつ病の症状と治療	福島伸一郎先生	鳴尾東公民館
2001/6/11	鳴尾東公民館	高齢者と難聴—耳の健康を保つ—	西川公子先生	鳴尾東公民館
2001/7/19	夙川公民館	見過ごしやすい病気の前ぶれ～めまい、 頭痛～	林田英隆先生	夙川公民館
2001/10/1	用海公民館	わかりやすい狭心症・心筋梗塞の知識～ その予防と最近の診断・治療について～	伊賀幹二先生	用海公民館
2001/10/10	コープ甲陽園談話室	長寿の秘訣	大森公一先生	コープ甲陽園
2002/2/12	夙川公民館	耳の健康	西川公子先生	夙川公民館
2002/3/23	老人クラブ門戸荘ざんなん会	医療改悪について 在宅医療の現在	法西浩先生 清田芳春先生	上田ララホール
2002/5/17	小松南3丁目友の会	老人の整形	満田基温先生	サンダフレ鳴尾北集会所
2002/6/3	鳴尾東公民館	がんの発生のメカニズムと早期発見	野田進一先生	鳴尾東公民館
2002/6/17	鳴尾東公民館	アルコールと肝臓病	陣綱民先生	鳴尾東公民館
2002/7/3	用海公民館	生活習慣病って、なかに	岩下敬正先生	用海公民館
2002/7/16	夙川公民館	ストレスとうまくつきあう法	保坂正昭先生	夙川公民館
2002/9/24	用海公民館	老人の目の健康	今泉正徳先生	用海公民館
2002/10/27	夙川東キリスト教会	元気で長生きするために～10月からの老人 保健改悪について～	大森公一先生 広川恵一先生	夙川東キリスト教会
2002/11/11	南甲子園公民館	生活習慣病について	岩下敬正先生	南甲子園公民館
2002/11/18	鳴尾東公民館	ウォーキングの健康法～膝・腰痛予防の ために	北垣幸央先生	鳴尾東公民館
2003/2/17	鳴尾東公民館	花粉症とアレルギー	西川公子先生	鳴尾東公民館
2003/11/10	鳴尾東公民館	動脈硬化の症状と予防	北垣幸央先生	鳴尾東公民館
2003/11/14	浜脇公民館	気になる眼の健康	岩下敬正先生	浜脇公民館
2004/2/5	夙川公民館	花粉症とアレルギー	安藤仁郎先生	夙川公民館
2004/2/16	鳴尾東公民館	心臓病と不整脈～突然死を防ぐ～	伊賀幹二先生	福祉会館
2004/3/19	手話友の会	糖尿病の予防	中島敏雄先生	手話友の会
2004/6/16	鳴尾東公民館	関節リウマチ症状と治療	油谷安孝先生	鳴尾東公民館
2004/11/15	鳴尾東公民館	老人性痴呆—アルツハイマー病とその他の 痴呆について—	柳澤正博先生	鳴尾東公民館
2005/3/11	西宮手話サークル友の会	高齢者の認知症	柳澤正博先生	西宮福祉会館
2005/9/29	用海公民館	生活習慣病について	川野悦司先生	西宮市用海公民館
2006/3/24	西宮手話の会（話）	白内障・緑内障の予防	今泉正徳先生	西宮市福祉会館
2006/9/28	用海公民館	医療改悪問題	大森公一先生	西宮市用海公民館

開催日	主催	テーマ	講師	会場
2006/10/16	用海公民館	寝たきり、ぼけにならないために	川野悦司先生	西宮市用海公民館
2007/3/16	西宮手話サークル友の会	腰の痛み とくに腰部脊柱管狭窄症について	蟹江純一先生	西宮市立福祉会館
2007/10/15	用海公民館	脳の働きをよくしよう 生活習慣病の予防の重要性	川野悦司先生	西宮市用海公民館
2008/1/19	阪神ろうあ団体連絡会	脳卒中ってなに？	半田伸夫先生	西宮市市民交流センター
2008/3/14	西宮手話サークル友の会	歯の健康	加藤隆久先生	西宮市福祉会館
2008/10/21	用海公民館	生活習慣病の予防	川野悦司先生	用海公民館
2009/1/31	阪神ろうあ団体連絡会	メタボリック症候群について	半田伸夫先生	尼崎市立小田公民館
2009/2/27	西宮手話サークル友の会	心の病について一つ病のお話	田中禎先生	西宮市福祉会館
2010/3/12	西宮手話サークル友の会	脳梗塞について～脳のしくみと働き～	田伏順三先生	西宮市福祉会館
2010/11/6	西宮市母親大会連絡会	認知症を知ろうー地域でどう支えるかー	土山雅人先生	西宮市男女共同参画ウェブ
2011/1/29	阪神ろうあ団体連絡会	医療費は高いのか？～医院でもらう領収書・診療明細書について～	協会事務局	西宮市市民交流センター
2011/3/11	西宮手話サークル友の会	薬について学びましょう	滝本桂子先生（薬局リベルファーマシー）	西宮市福祉会館
2011/7/28	用海公民館	高齢者の生活習慣病	川野悦司先生	用海公民館
2011/10/15	いきいきフェスタ実行委員会	脳の話ーもの忘れ、私って大丈夫かしら	土山雅人先生	西宮市男女共同参画ウェブ
2012/2/3	西宮手話サークル友の会	冬の健康管理	北垣幸央先生	西宮市福祉会館
2012/9/12	用海公民館	人生の最後は自宅か病院か	伊賀幹二先生	用海公民館
2012/10/27	いきいきフェスタ実行委員会	人生の最期を考えたことはありますか？ 死生観、濃厚治療、医療崩壊など	伊賀幹二先生	プレラにしのみや
2012/12/6	鳴尾公民館	冬の高齢者の健康管理	濱岡守先生	鳴尾公民館
2013/3/8	西宮手話サークル友の会	肺炎について	山内創和先生	西宮市福祉会館
2013/10/30	今津公民館	親をどう看るか、自分はどう見送られた いか	伊賀幹二先生	今津公民館
2015/3/6	西宮手話サークル友の会	風邪は万病の元 予防、対処法、風邪と似た病気	松尾信昭先生	西宮市福祉会館
2015/5/13	神原公民館	親をどう看るか、自分はどう見送られた いか	伊賀幹二先生	神原公民館
2015/8/22	シティハイツ西宮北口	健康カフェ 「夏から秋にかけての健康法」	広川恵一先生	シティハイツ西宮北口
2015/10/17	シティハイツ西宮北口	健康カフェ 「認知症を予防するために」	広川恵一先生	シティハイツ西宮北口
2016/2/20	シティハイツ西宮北口	健康カフェ 「お口のケアは全身の健康に不可欠」	谷端美香先生	シティハイツ西宮北口
2016/3/18	西宮手話サークル友の会	歯科・口腔ケアの大切さ	加藤隆久先生	西宮市福祉会館
2016/9/3	シティハイツ西宮北口	健康カフェ 「高齢者の目の病気について」	今泉正徳先生	シティハイツ西宮北口
2017/2/17	西宮手話サークル友の会	肩こりや五十肩の治し方と予防法について	吉岡裕樹先生	西宮市福祉会館
2018/4/13	西宮手話サークル友の会	高齢者に多い目の病気について	伊賀俊行先生	西宮市福祉会館
2019/3/15	西宮手話サークル友の会	高齢者に多い皮膚疾患	原田晋先生	西宮市福祉会館
2021/11/7	聴覚障害者の医療を考える会	コロナ禍が続く生活で気をつけること	吉岡裕樹先生	若竹公民館
2023/3/24	西宮手話サークル友の会	高齢者に多い目の病気	金山慎太郎先生	西宮市福祉会館

※すべての開催が網羅できておらず、また一部にテーマ、会場などが不明なものも含まれています。ご了承ください。



健康テレホン50万コール達成の記事  
(兵庫保険医新聞2011年5月15日号)

テレホンサービスは、1986年兵庫県保険医協会地域医療部会の1部署としてスタートしました。西宮・芦屋支部の故大田黒義郎理事の提案で、当時の桐島正義理事長の承認を得て、地域医療部会に属していたメンバーにより、各科から集められていた原稿を編集したと記憶しています。当時私も地域医療部会に所属していて、ほとんど最初から、この委員会に出席していました。当時は兵庫県の他に、京都や神奈川、長崎などが同様なテレホンサービスを行っていて、兵庫県も他県のテーマを参考にしていました。しかし、他県のテレホンサービスは相次いで打ち止めになり、今も続けているのは、兵庫県のみとなりました。当初、歴代の理事長・副理事長が委員長を務められていたと記憶していますが、和泉先生が亡くなられて以後は、私が委員長をずっと続けています。ただ当初は10人ほどの編集委員が、現在

は西山理事長、林田先生と私だけのほとんど3人のみの編集委員会となっています。

現在、編集委員会は、2か月に1回、2か月分の原稿の編集を行っています。採用するテーマも他県のを参考にすることも出来なくなりましたが、近頃は兵庫県の4～5年前の過去のテーマからコール数の多かったものから再度、採用することにしています。また、過去に採用されていない新しいテーマを選んでいくようにしています。また、新規開業の先生になるだけ書いてもらうように、心がけています。採用するテーマは、内科に限らず他科のテーマも満遍なく取り上げるようにしています。歯科のテーマも1年間に6回取り上げています。テレホンサービスは、今やコール数581,744件、ホームページ閲覧数7,419,900件、合計8,001,644件（2023年5月末現在）になり、保険医協会の看板の一つになったと自負しております。西山理事長には、テレホンサービスは地域医療部会から独立して、テレホンサービス部に昇格させていただきました。西宮・芦屋支部の理事の提案から始まったこの部は、幸原久先生や北井明先生など、西宮・芦屋支部とのつながりは長く、何とかこれからも存続させたいと願っています。

最近では携帯や雑誌、テレビなどで医療情報がすぐみられると思いますが、テレホンサービスは、1000字以内に要領よくまとめられて、無料の固定電話で聞くことができるというメリットがあります。ただ携帯では聞けないというデメリットがあり、それがこれからの課題です。これまでのテーマの原稿は、保険医協会のホームページに掲載されています。各科の先生方が患者さんへの説明に活用していただければ幸いに存じます。編集委員会は偶数月の第3木曜日、2時からです。ご興味のある先生は、理事に限らず、是非ご参加ください。



2001年4月15日 武庫川ハイキングに参加する北井明先生(左)と広川恵一先生(右)



2010年4月29日 文化部・環境公害対策部共催「武庫川渓谷を歩く」ガイドは法西浩先生(中央)

### 1. はじめに

2002(H14)年5月から環境・公害対策部会で活動を続けている。その理由から話を進めたい。1996(H8)年から武庫川ダム建設計画が始まった。同時にダム反対運動が起こった。私はダム建設で武庫川渓谷の環境の影響がどのように及ぶかを、1997年から2001年の5年間渓谷に生息する蝶の調査を続け、その成果を日本鱗翅学会誌に発表した。その後ダム反対運動から、県と住民の協議とその経過については、神田洋二(2016)著、年表武庫川ダム問題がある。その著書から話を進めたい。

### 2. 年表 武庫川ダム問題

1997(H9)年：◆新河川法成立。「利水」、「治水」の河川整備計画から、さらに「環境」を加えた。◆「武庫川を愛する会」西宮市生瀬地区、谷田百合子小児科医(環境公害対策部会部員)が代表。ダム建設反対運動を開始。

2003(H15)年：県が「武庫川委員会準備会議」を発足。谷田先生と私が委員に選ばれる。

2004(H16)年：県が先の準備会議を踏まえ、「武庫川流域委員会」を発足。25人の住民を学識経

験者で構成。私達2人も選ばれた。合意形成を重視し、安易な多数決を避けた。

2006(H18)年：◆8月30日、ダムに頼らない「武庫川の総合治水にむけて 提言書」を委員会が知事に提出。

2010(H22)年：◆県は1月に、今後平成23年～42年まで20年間は新規ダムを作らないことを盛り込んだ「武庫川水系河川整備計画案」を流域委員会に提案した。

### 3. 自然観察会での活動

○武庫川渓谷ウォッチング(1997(H9)年11月9日)環境公害対策部・文化部会共催

JR生瀬駅→武庫川渓谷→JR武田尾駅を歩く。総参加者60人(うち「武庫川を愛する会」会員、県議(共)都築研二氏ら)、当日晴、午前10時生瀬を出発。約6.4kmJR福知山廃線の枕木を踏み、長短6か所のトンネルを潜って歩く。昼前に河原に下りて、協会事務局員方々のアツアツの豚汁のサービスで昼食をとる。1997年は私がこの渓谷で蝶の生息調査を始め、蝶を用いた環境度が極めて高いこと、また、レッドデータブック\*に記載種40種が存在することを解説。都築氏は武

庫川ダム反対運動の話を力説された。参加者たちは、渓谷美に感動され、「ダムはいらないね」と語られた。当日の感想文は、芦屋市故井床淑子先生が寄稿された。

\*レッドデータブック、国際自然保護連合(IUCN)が1966年に出版した絶滅に瀕している動植物を記した資料集。日本は1989年に環境庁が発表。

○武庫川ハイキングを楽しむ(2001(H13)年4月15日)西宮・芦屋支部共催

総参加者45人。JR生瀬駅を朝10時出発。好天に恵まれ、新緑の渓谷廃線敷をJR武田尾駅に向かう。私は1997年から2001年までここで蝶の生息を調査し、専門誌に寄稿している。これをもとに、蝶の詳細の生態学を話した。ここで蝶を用いた環境指数(EI)は129で、因みに(県北山地の150には及ばないが)極めて多自然である。この日もまた、「武庫川を愛する会」代表谷田先生、県議都築氏は1997年に新河川法に成立された「環境」を踏まえ、渓谷にダム建設反対を強調された。この日の感想文は芦屋市北井明先生の長文で、西宮・芦屋支部ニュースで掲載されている。

### 4. 武庫川流域委員の成果と総合治水

○兵庫県保険医協会第75回評議員会(2009(H21)年5月17日)に口頭発表

私は武庫川流域委員会の委員として活動している。2006(H18)年8月30日「武庫川の総合治水にむけて提言書」を知事に提出した。要旨は20年から30年はダムをつくらず総合治水でいこうということ。ここまで述べたことで、大きな拍手が起った。実は、環境公害対策委員会と、当協会で大いなる声援を受けていたからであった。ところが県はダム建設を含む新たな基本方針原案を県が国に提出し、国はそれを認めていた。

私の発言を受けて、武村義人副理事長は、法西評議員の意見は「無駄な公共事業と環境破壊をやめさせて」ということになると思うが、知事選挙の「開業保険医の要求書」の内容に盛り込みたい、と語られた。

○春のウォーキング「武庫川渓谷を歩く」(2010(H22)年4月29日)環境公害対策部・文化部共催 JR生瀬駅からJR武田尾まで歩く会は、今まで

数回行っているが、今回は最も晴やかな会になった。実はこの1月に、県は今後平成23年～42年までの20年間は新規ダムに頼らないことを盛り込んだ「武庫川水系河川整備計画原案」を流域委員会に提示したからである。

総参加者44人、うれしいことに子どもが多かった。この日の目玉は、チョウのオスが発するフェロモンの匂いを、スジグロシロチョウのオスを採集し、皆様に体験していただいた。この日の感想文は、神戸市長田区準会員平尾登美先生にお願いした。

### 5. その後の武庫川の自然を守る取り組み

○武庫川上流の生き物にふれる(2013(H25)年9月29日)環境公害対策部・文化部共催

JR藍本駅から草野駅まで、約4kmを四方山に囲まれた三田盆地、蛇行してゆるやかに流れる武庫川上流を見ながら秋の1日、会員ら24人が歩いた。今回も子どもが多く嬉しい。「日出坂洗いせき」でカラーのレジュメで解説。2005年7月に自然工法を採り入れ、ワンドと洗い堰が完了。洗い堰の石組みを木組の柵は魚類の産卵場、仔魚・幼魚の隠れ家であり、広いワンドは毎年夏にカヌー教室が開かれている。昆虫類では、今発生中の秋に鳴く虫コオロギ、赤トンボのアキアカネの解説。楽しい1日に参加者全員満足だった。

### ○武庫川生きものウォッチング

これまで述べてきた観察会以外でも、武庫川流域各地で、独自に調査したり、いろんな団体の企画する会でも、生きものウォッチングを催してきた。そのレポートをまとめて、2016年に1冊の本を上梓した。自然と向き合うことで、自然の豊かさ、自然を守ることの大切さが見えてくる。

### <参考文献>

- i 法西浩(2002)武庫川渓谷で確認した蝶と、蝶を用いた環境度の評価、せどりが192号30-31、日本鱗翅学会
- ii 神田洋二(2016)年表武庫川ダム問題、武庫川市民学会誌Vol4 No1:24-25
- iii 法西浩(2016)武庫川生きものウォッチング、神戸新聞総合出版センター



2016年10月1日に「アスベスト問題研究会」を開催。  
問題提起する上田先生（左上）

### 医師会と保険医協会

旧夙川短大の校舎解体におけるアスベスト問題で、違法工事による飛散が危惧されていた。そのような状況で西宮市と協議を重ねていた時期、保険医協会を紹介された。医師会にも相談したが取り合ってもらえなかった。保険医協会は「話を聞きましょう」と応えてくれた。そこで、医師会との違いを尋ねたところ「医師会は医者のため、保険医協会は患者や住民のため」と聞いて思わず合点したことを思い出す。その後、約3年に及ぶ裁判を経験したが、その間も傍聴席に参加されるな

ど保険医協会の温かいご支援をいただいた。裁判後も「ストップ・ザ・アスベスト」の代表としてアスベスト問題に取り組んでいるが、保険医協会の理解を得て環境公害対策部員として活動している。

### 兵庫県保険医協会のアスベストへの取り組み

裁判を経験することにより世間一般のアスベストに対する問題意識の低さを痛感したが、自分としても隣地で解体工事があるまでは何もわかっていなかったのだ。兵庫県保険医協会として、初め

に「身近な解体アスベストの安全対策」についての問題を提起した。

次に、アスベスト曝露による被害予防としての検診体制に注目した。肺がん検診の問診票がいかにも古いことに呆れたが、アスベストや震災に関する項目がないことを指摘し、行政への提言をおこなった。

また、阪神・淡路大震災におけるアスベスト曝露について、当時の環境庁の調査データに基づいて検証を行い、日本公衆衛生雑誌に投稿した（[https://www.jsph.jp/docs/magazine/2020/08/67-8\\_p528.pdf](https://www.jsph.jp/docs/magazine/2020/08/67-8_p528.pdf)）。震災直後の街中での粉塵を思い出していただきたい。倒壊したビルには発ガン性の強いアスベストが多く使用されており、粉塵と共に飛散したため、多くの住民が曝露を受けたと考えられる。しかし、震災によるアスベスト被害に関する公的な見解は示されておらず、被害者が出て「震災との因果関係はない」などの前知事の非科学的な暴言がまかり通っている。想像を絶する量のアスベストが飛散し、曝露を受けたことに間違いはない。是非とも定期的に検診を受けて、アスベスト被害が心配である旨を告げてほしい。

最近の出来事として、小学校の解体工事についてアスベストが心配であると児童の保護者から相

談が寄せられた。児童が校庭に居ながらにしてアスベスト除去を行うという計画だが、今までは夏休みなどを利用して行っていたはずだ。数年前から外壁などの塗りに含まれるアスベスト除去が法で定められたが、作業は容易ではなく飛散が危惧されるため余程の厳重な飛散防止対策が必要となる。しかし行政は「法を守るから安全だ」として事故が起きた時の考えはなく、安全対策には取って目を向けようとはしない。教育委員会も右へ倣えで、学校の教職員は「行政に任せている」という状態で、誰が子供たちの安全を守るのかという責任感の無さに驚いた。

そこで、兵庫県内の各教育委員会に宛てて「学校施設におけるアスベストの実態を問う」アンケート調査をおこなった。約1年がかりでようやく回答が出そろい、集計結果をマスメディアに発表した。教育委員会では、学校施設のアスベストについての把握の程度は低く、安全管理もおぼつかない状態であることが判明した。提言としては、文科省においてはアスベスト除去の工事期間や安全対策についてのガイドラインを示すこと、自治体職員を対象にした「調査や安全維持管理講習」を行なって経験者を育成し、安全対策に注力できる体制づくりが求められるとした。



## 15 「介護保険をよくする西宮市民の会」の活動と 保険医協会の関わり

「介護保険をよくする西宮市民の会」事務長 伊藤 彰



2015年2月24日に行った西宮市との交渉



2014年1月21日 市民講演会  
講師は石田一紀先生



2017年5月22日 京都ヘルパー連絡会と懇談

「介護保険をよくする西宮市民の会」(以下「よくする会」という)は、介護保険制度を広く市民にしらせるとともに介護保険制度の充実をめざして、介護保険施行前の99年12月に準備会を結成し、活動を開始しました。対市要求の提出と交渉、市民ニュースの発行、駅頭宣伝、地域説明会の開催など積極的に活動を進め、2000年2月27日に市民252名の参加で結成総会を行いました。

その後3年間は、市民ニュースの発行、駅頭宣

伝、介護保険相談会、講師派遣、サービス提供事業者の調査、パンフの発行等、精力的に運動を進めました。この活動は、市民の介護保険への関心を高めるとともに、制度の内容や問題点の理解の促進に大きな役割を果たしました。また、「低所得者への保険料の減免」「市職員による初回の認定調査」「保険料の据え置き」「受領委任払い」「ケアマネの連絡会」等々、市の施策にも少なからぬ影響を与える事になりました。

しかしながら、介護保険制度が軌道に乗り始め

た2003年頃になると、活動が停滞し休眠状態となりました。一方で社会保障は「自己責任」「自助努力」が強調され、介護保険も5年目の改定の時期を迎え「利用料を1割から2・3割へ増額」「軽度の要介護者のサービス打ち切り」「20歳からの保険料徴収」等々国民の負担を増やし給付を削減する方向が示されていました。

こうした中で、「社会的責任のある団体に脱皮することによって、活動の停滞を防ぎ持続的発展の基礎を築くこと」「兵庫県介護保険サービス第三者評価事業を実施する認証機関となること」を目的に2005年6月NPO法人化しました。

法人設立以降は、西宮市内介護保険事業者への働きかけを強め、特に「介護サービス情報の公開制度」の問題では、アンケート、冊子の発行、事業者との懇談、国県市への要望書・意見書の提出等積極的に意見を発信しました。この運動は全国的にも広がりを見せ、2010年9月厚労省は「手数料の廃止」「調査の義務づけ廃止」を表明しました。

この他、その時々の問題を取り上げ、大学教授をお招きし100~200人規模の市民公開講演会を

2年に1度開催してきました。また、市当局に対しては数々の要望・意見を提出し話し合いを進め、市の施策へ「よくする会」の意見を反映させています。第三者評価事業については「よくする会」が法人化以降、県の事業者募集がなかったため実現できませんでした。

保険医協会は「よくする会」の中心的な構成団体として、準備会の段階から参加しています。会の発足当時西宮・芦屋支部長であった大森公一先生が会長を務めるとともに、会長の補佐として毎月行われる役員会に事務局員を派遣し、「よくする会」の活動を牽引してきました。しかし、大森公一先生の体調が悪化し、会長職を続けることができなくなったため辞任され、併せて、2019年5月にはNPO法人を解散し任意団体に移行しました。

「よくする会」はその後も、「新規認定調査民間委託の状況に関する質問書」を西宮市当局に提出する等の活動を行ってきましたが、2020年2月役員会が新型コロナのため中止を余儀なくされて以降、活動休止状態になっています。



2017年つどいで挨拶する幸原久先生



2010年つどいでは大阪・此花診療所の小林栄一先生が自らの被ばく体験を講演した



2019年のつどいで講演する兵庫県原爆被害者団体協議会事務局長の副島園義氏

芦屋では1985年に市民の運動によって非核平和都市宣言が市議会で全会一致決議され、非核平和自治体の仲間入りをしました。しかし、行政の積極的な動きがないことから、宣言運動に関わった市民として宣言の風化を防ぎ活かしていこうと、宣言二周年の1987年から非核平和都市宣言を記念する「非核平和のつどい」を開催してきました。阪神・淡路大震災による数年の中断を経て再開することになったとき、兵庫県保険医協会理事（西宮・芦屋支部副支部長）の幸原久先生のご尽力により新たに保険医協会の参加を得ることが

でき、今日に至っています。

保険医協会に大きくお力添えいただいていた「芦屋非核平和のつどい」ですが、それまでも、体調を崩されるまでの小泉英雄先生（故人 保険医協会副理事長）には、原水爆禁止芦屋協議会（芦屋原水協）の代表理事として大変お世話になりました。多忙な中でも、国民平和大行進への歓迎挨拶などにも立っていただき、市内での反核・平和運動にご尽力いただきました。小泉先生退任のあとを引き受けていただいたのが、幸原先生でした。

震災後の中断を経て2001年に「芦屋非核平和のつどい」を再開するにあたり、幸原先生には「つどい」の実行委員会代表を務めていただくことになりました。以来、2015年まで14年の長きにわたって代表の役割を担っていただき、「つどい」の成功にとどまらず、実行委員会の対市要望にも同席され、芦屋市の非核平和行政の発展にもご尽力いただきました。

幸原先生の印象で強く残るのは、そのフットワークの軽さです。「つどい」のとりくみでは、市の掲示板への案内チラシの貼り出し作業も毎回快く買って出て下さいました。650席のルナホールが超満員となった2005年の非核平和都市宣言20周年記念のつどいでは、最初から最後までビデオ撮りを自ら進んでして下さい、ステージ上で実行委員会代表として挨拶する「顔役」から「裏方」まで引き受けていただきました。当時の山中健市長が「つどい」に来賓出席したのも、幸原先生の交友の広さを示すものだったと思います。このときの「つどい」は、山中市長が議会以外の場で市民に向かって「変えてはならないのが平和憲法です。みなさんも憲法を守るためにいっそうのご奮闘を」と改憲の動きに反対をよびかけた最初

の機会になりました。

非核平和のつどいは、震災前に7回、震災後に21回開催してきましたが、核兵器禁止条約の発効を受けて、2021年の開催をもって終了することになりました。

幸原先生が体調を崩されて代表を退かれてからも、保険医協会からは事務局メンバーを実行委員として送り出し続けていただき、企画から案内、諸準備までほんとうにお世話になりました。ありがとうございました。

実行委員会として市に「宣言」にもとづく非核平和行政の充実・強化を求めてきましたが、現在、市役所展示ロビーでの年間数度の「たゆまぬ平和への歩み展」の開催をはじめ、市役所北館前には、非核平和都市宣言の銘板が設置され、東館前には被爆アオギリが枝を広げています。「つどい」の開催など市民の平和への願いを声にし、形にしてきたことの反映と言えます。

市民に集まっていただく「つどい」はいったん終了しますが、実行委員会は今後も存続して、活動は継続することにしています。引き続きお力添えをお願いします。

## その他の支部活動

### 日常診療ガイドライン

専門的な疾患からコモンな疾患まで、その時々  
の新しいガイドラインを踏まえたエビデンスに基  
づく治療法を学ぶ目的で定期的開催。製薬メー

カーの共催も得ながら、2000年より計24回開催  
した。



2009年6月25日 講師は田端千春先生



2011年1月22日 講師は岡田和夫先生、芦田乃介先生ほか



2005年11月18日 講師は西口修平先生



2009年6月25日  
司会を務める堅田均先生

#### 日常診療ガイドライン開催一覧

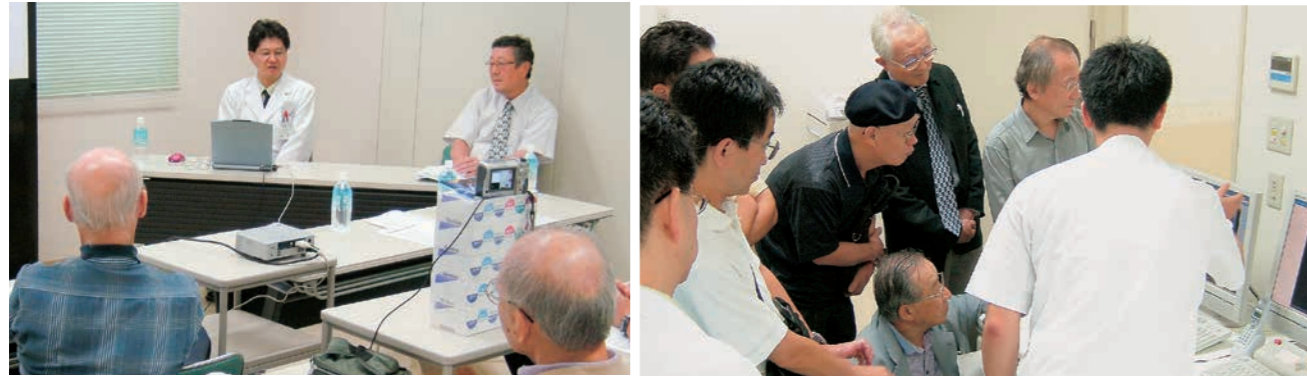
回	テーマ	講師	司会	日時	会場	協賛・共催
1	経腸栄養について -消化態・半消化態・食品の特徴と使い分け-	浅野悟氏 (大塚製薬)	-	2000年 6月23日(金)	甲子園都ホテル	大塚製薬
2	①末梢血管障害の治療について ~最近の話題~	山口隆弘氏 (大塚製薬)	堅田均先生	2000年 11月17日(金)	甲子園都ホテル	大塚製薬
	②日常診療における腫瘍マーカー	天満理恵子氏 (大塚アッセイ研究所)				大塚アッセイ研究所
3	睡眠時無呼吸症候群について	富井啓介先生 (神戸通信病院)	堅田均先生	2000年 12月15日(金)	甲子園都ホテル	フクダ電子
4	①今こそ命を惜しむ心を育てよう!地域で 心肺蘇生ネットワークを!	富原均先生 (富原循環器科内科)	八木秀満先生	2001年 1月20日(土)	西宮市医師会	ツムラ
	②心肺蘇生法~各班で実技実習	富原均先生 (富原循環器科内科)	-			

回	テーマ	講師	司会	日時	会場	協賛・共催
5	うつ病治療の新時代-SNRI・SSRI	柏木雄次郎先生 (関西労災病院)	新川賢一郎先生	2001年 3月16日(金)	甲子園都ホテル	旭化成
6	潰瘍性大腸炎の最近の話題と鑑別診断	里見匡迪先生 (兵庫医科大学)	野田進一先生	2001年 5月18日(金)	甲子園都ホテル	田辺製薬
7	ビデオで見る神経症候学	松本禎之先生 (北野病院神経セン ター)	小田裕穂先生	2001年 7月21日(土)	ホテル竹園本館	藤沢薬品工業
8	片頭痛の診断と治療	立花久大先生 (兵庫医科大学)	山口三千夫先生	2001年 9月21日(金)	甲子園都ホテル	グラクソ・スミ スクライン
9	①講演「骨粗鬆症の診断と治療のガイドラ イン」	三木隆己先生 (大阪市立大学医学 部)	林田英隆先生	2001年 10月19日(金)	甲子園都ホテル	萬有製薬
	②話題提供「大腿骨頸部骨折の術後死亡例 と回復レベル」	佐々木健陽先生 (西宮渡辺病院)				
10	嚥下障害 -高齢者の摂食障害・誤嚥とその対策-	清水隆雄先生 (藍野病院)	土山雅人先生	2001年 11月16日(金)	甲子園都ホテル	田辺製薬
11	救急医療 最新情報	杉野達也先生 (県立西宮病院)	-	2002年 1月18日(金)	西宮市民会館	-
12	最近のワクチン療法の現況 -肺炎球菌ワクチンを含む-	春田恒和先生 (神戸市立中央市民 病院)	杉原伸夫先生	2002年 5月17日(金)	甲子園都ホテル	萬有製薬
13	肺がん診療の最近の進歩	今村文生先生 (大阪府立成人病セ ンター)	堅田均先生	2002年 7月19日(金)	甲子園都ホテル	大塚製薬
14	変形性膝関節症の治療	吉矢晋一先生 (神戸大学)	蟹江純一先生	2002年 10月18日(金)	甲子園都ホテル	科研製薬
15	心疾患の診断手順~心電図を中心に	伊賀幹二先生 (伊賀内科・循環器 科)	前田信証先生	2003年 4月25日(金)	ノボテル甲子園	バイエル薬品
16	新しい治療ガイドラインによるエビデンス に基づく脳梗塞慢性期治療	立花久大先生 (兵庫医大)	半田伸夫先生	2003年 10月16日(木)	ノボテル甲子園	大塚製薬
17	外来におけるSARSを視野に入れた呼吸器感 染症への対応	三木文雄先生 (多根総合病院)	-	2004年 1月16日(金)	ノボテル甲子園	杏林製薬
18	C型慢性肝炎の治療ガイドラインと最近の 話題	中村秀次先生 (兵庫医大)	川崎史寛先生	2004年 3月19日(金)	ノボテル甲子園	中外製薬
19	上部消化管内視鏡検査と治療の現況 -2004年-	汐見幹夫先生 (近畿大学)	吉本理恵先生	2004年 6月26日(土)	ノボテル甲子園	エーザイ
20	開業医診療でのメンタルヘルスケア -特に軽症うつ・うつ状態について-	西口直希先生 (神戸大学)	-	2005年 10月14日(金)	ノボテル甲子園	グラクソ・スミ スクライン
21	全貌が解明されつつあるB型肝炎 -新しい知見のご紹介と治療のポイントに ついて-	西口修平先生 (兵庫医大)	半田伸夫先生	2005年 11月18日(金)	ノボテル甲子園	グラクソ・スミ スクライン
22	しのびよるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の 恐怖! ~気がつけばもう戻れない肺年齢~	田端千春先生 (兵庫医科大学)	堅田均先生	2009年 6月25日(木)	ノボテル甲子園	日本ベーリンガ ーインゲルハイ ム、ファイザー
23	心肺蘇生法2010年ガイドライン -医療現場や施設関係者向け、セミナー& 実践体験練習-	岡田和夫先生 (帝京大学医学部) 芦田乃介先生 (あしだこども診療 所)	村上博先生 青木太郎氏	2011年 1月22日(土)	西宮市民会館	-
24	CKD診療ガイド2012改訂のポイント	今井圓裕先生 (中山寺いまいクリ ニック)	広川恵一先生	2012年 11月30日(金)	西宮神社会館	持田製薬

## プライマリケア研究会

プライマリケア医として臨床の現場でよく遭遇する疾患や病態について、専門の先生からご講演いただき、自由に意見交換を行うことを目的とし

て不定期に開催。その時々流行している疾患からコモンな疾患まで、様々なテーマで2004年より計11回開催した。



2006年8月4日 講師は山本典良先生、司会は前田信証先生



2015年12月12日 講師は林功先生

### プライマリケア研究会開催一覧

回	テーマ	日時	会場	講師	共催	司会
1	プライマリケアの立場からみた感染予防	2004年2月13日	ノボテル甲子園	小池一成先生 (谷向病院)	塩野義製薬	三浦一樹先生
2	話題の予防接種と感染症	2004年12月10日	ノボテル甲子園	指原淳志先生 (大阪大学)	田辺製薬	広川恵一先生
3	発熱を考える	2005年6月17日	ノボテル甲子園	小池一成先生 (谷向病院)	塩野義製薬	広川恵一先生
4	皮膚疾患と食物アレルギー	2006年7月14日	ノボテル甲子園	原田晋先生 (三田市民病院)	グラクソ・スミスクライン	田中功先生
5	閉塞性動脈硬化症の診断と治療	2006年8月4日	西宮渡辺心臓・血管センター	山本典良先生 (西宮渡辺心臓・血管センター)	大塚製薬	前田信証先生
6	最近の気管支喘息の病態・治療のトピックス	2007年5月18日	ノボテル甲子園	松井聖先生 (兵庫医大)	グラクソ・スミスクライン	岡崎美樹先生
7	メタボリック・シンドロームの新しいワライテリアとその問題点	2008年10月4日	西宮市大学交流センター	谷口洋先生 (大和生活習慣病研究所)	アストラゼネカ株式会社	吉岡正子先生
8	内分泌代謝疾患治療のエッセンス	2015年12月12日	保険医協会6階会議室	林功先生 (西宮市・林医院 院長)	—	中島敏雄先生
9	日常臨床におけるCOPD診断と治療	2017年8月26日	西宮渡辺病院会議室	松浦邦臣先生 (西宮渡辺病院呼吸器内科部長)	—	林田英隆先生
10	頻脈性不整脈の考え方と最近の治療法	2018年1月20日	上ヶ原病院会議室	大江透先生 (上ヶ原病院循環器内科、岡山市市民病院教育・学術顧問)	—	伊賀幹二先生
11	流行している急性発疹症の臨床と対応～麻疹、風疹、手足口病など～	2019年8月24日	兵庫県農業会館	日野治子先生 (関東中央病院・皮膚科特別顧問)	—	法貴憲先生

※第7回の共催をあすか製薬、塩野義、科研製薬に依頼し、それぞれ断られました。

## 病診連携勉強会

西宮・芦屋における病診連携を強化することを目的として2000年より不定期に開催。診療所から紹介された患者に病院でどのような治療を行っているかなど具体的な症例を交えた勉強会を8回、施設見学会を3回の計11回開催した。



2012年6月15日 西宮敬愛会病院との懇談会



2007年11月16日 西宮渡辺心臓・血管センターにて



2018年6月2日 谷向病院にて

### 病診連携勉強会開催一覧

回	日時	病院	講師	司会	テーマ
1	2000年9月29日	上ヶ原病院	大江与喜子先生 (上ヶ原病院院長)	林田英隆先生	骨髄異形症と白血病について
2	2001年2月16日	笹生病院	鈴木浩先生 (笹生病院 循環器科)	林田英隆先生	心筋症について
3	2001年6月29日	西宮協立脳神経外科病院	三宅裕治先生 (西宮協立脳神経外科病院 副院長)	大村武久先生 (西宮協立脳神経外科病院 院長)	脳の手術の現況
4	2002年11月15日	上ヶ原病院	大江与喜子先生 (上ヶ原病院院長)	—	こうしてみつかった血液疾患いろいろ
5	2003年10月10日	西宮渡辺病院	袁原靖一良先生 (西宮渡辺病院 心臓血管外科)	広川恵一先生	最近の虚血性心疾患の治療と西宮渡辺病院での実績
6	2006年7月3日	西宮渡辺心臓血管センター	山本典良先生 (西宮渡辺心臓・血管センター)	広川恵一先生	西宮渡辺心臓・血管センター施設見学と懇談
7	2007年11月16日	西宮渡辺心臓血管センター	平田展章先生 (西宮渡辺心臓・血管センター副院長)	広川恵一先生	最近の心臓血管外科の動向
8	2011年10月14日	西宮渡辺病院	福岡慎一先生 (西宮渡辺病院内 西宮人工関節センター)	佐々木健陽先生	膝の痛み～予防から最新手術まで～
9	2012年6月15日	西宮敬愛会病院	伊藤芳久先生 (西宮敬愛会病院院長) 竹村勇氏 (地域連携室主任)	広川恵一先生	西宮敬愛会病院との懇談会
10	2014年5月13日	芦屋放射線クリニックのぞみ	池永弘二先生 (芦屋放射線クリニックのぞみ院長)	林田英隆先生	「芦屋放射線クリニックのぞみ」見学会・懇談
11	2018年6月2日	谷向病院	谷向茂厚先生 (谷向病院 院長)	林田英隆先生	非結核性抗酸菌 (NTM) 症の症例検討

## 政策懇談会・市民学習会

歴史問題や憲法問題など、重要と思われる日本の政策課題について、その問題点と現状を市民と

共有するとともに、自由に議論することを目的として不定期に開催。2016年より計3回開催した。



2020年2月15日 市民学習会「ハンセン病問題と私たちの責任」



2019年12月7日 市民学習会  
講師は康宗憲先生



2016年10月1日 政策懇談会「憲法に緊急事態条項は必要か」

### 政策研究会・市民学習会開催一覧

回	日時	テーマ	司会	講師・話題提供
1	2016年10月1日(土)	憲法に緊急事態条項は必要か	広川恵一先生	永井幸寿弁護士(兵庫県弁護士会)
2	2019年12月7日(土)	日韓の歴史を紐解く	広川恵一先生	康宗憲先生(同志社大学嘱託講師)
3	2020年2月15日(土)	ハンセン病問題と私たちの責任	広川恵一先生	徳田靖之先生(ハンセン病家族訴訟弁護団共同代表)

## 職員接遇研修会

医療機関スタッフの接遇能力やコミュニケーションの質の向上を目的として、その日から実行できる接遇のポイントやクレームへの対応など、実技を交えて学ぶ研修会を定期的に行なわれ、主に大手前女子短期大学助教授の水原道子先生に講師を務めていただき、2002年より計8回開催した。



2013年から毎回司会を務めている  
安岡真奈美先生



講師は主に水原道子先生が務めた

### 職員接遇研修会開催一覧

回	日時	司会	テーマ	講師	会場
1	2002年6月15日	大森公一先生	患者さんとの接遇の基本的な心得 ～メディカルスタッフとしての心構え～	水原道子先生 (大手前女子短期大学 助教授)	西宮市立勤労会館 1階ホール
2	2010年6月19日	宮崎義彦先生	接遇の基本とクレーム対応	水原道子先生 (大手前女子短期大学 助教授)	西宮市立勤労会館 4階第8会議室
3	2011年5月28日	安岡真奈美先生	接遇の基本とクレーム対応	水原道子先生 (大手前女子短期大学 助教授)	西宮市立勤労会館 4階第8会議室
4	2012年5月12日	広川恵一先生 北井明先生	接遇の基本とクレーム対応	水原道子先生 (大手前女子短期大学助教授)	西宮市大学交流セン ター
5	2013年5月11日	安岡真奈美先生	接遇コミュニケーション研修	栗村和子氏 (人材育成講師)	西宮市立勤労会館 第2会議室
6	2014年2月15日	安岡真奈美先生	接遇の基本とクレーム対応	水原道子先生 (大手前女子短期大学助教授)	西宮市大学交流セン ター
7	2015年6月27日	安岡真奈美先生	接遇の対応とクレーム処理	水原道子先生 (大手前女子短期大学助教授)	西宮市民会館 5階501号室
8	2016年5月28日	安岡真奈美先生	接遇コミュニケーション研修	水原道子先生 (大手前女子短期大学助教授)	西宮市立勤労会館 第2会議室





第11回支部総会  
43人の参加  
で盛大に  
大森支部長を再任

10周年記念  
ヴァイオリンと講演の  
つどいに  
170人参加

### 支部設立10周年 さらなる 躍進へ



会員など170人の参加で盛況

西宮・芦屋支部は、支部となりましてから十周年を迎えました。初代の支部長は伊賀先生で、その時の会員数は三十四人、二代目の支部長は御橋先生、私は三代目でありまして、現在の会員は四百四十五人、順調な発展を遂げております。

西宮・芦屋支部は支那の植民地である、と大森部長の理想であります。これ一重に世話人の皆様および会員の皆様、並びに事務局の石本君、柳原さんのお陰であります。

この度、新しい世話人の先生方を歓迎する機会ができました。新しい先生方のお力をお借りして、今後の十一年に向けて、一段の躍進を遂げたいと思っております。ご指導をお願いいたします。

（支部長 十八奉茶 八〇一）

### 西宮支部ニュース

No. 100  
90.9.30

発行 兵庫県保険医協会  
西宮・芦屋支部  
〒650-0001 西宮市西宮二丁目1-1-100 兵庫県保険医協会西宮支部  
電話 078-261-1000

### 新しい出発

支部ニュースが100号に達した。高いビルや塔にも基礎や心柱があるように、私達の協会もようやく初期から積み重ねた基礎がはば開いたようだ。

三代目支部長の大森先生を中心に、〇一号からの新しい出発、発展が始まる。若々しく明るく思慮深い彼が打ち出した新風は、昼食会、病診連携研究会の充実等です。その成果をのぞかしながら、大森先生は私と同じく、会費徴収を続ける後支部長になられた。そして、黒のすずむ方針に無条件についてゆくことなく、西宮としての独自性を考えられている。私と共に通した考の持ち主である。個人的にテニスコートでもよく一戦し、フェイクの持ち主でもある。

世話人会組織から  
支部結成へ

西宮・芦屋地区は、それまでの世話人会組織から脱皮し、支部として昭和五十六年に再発足した。その二年間、次々新しい支部結成は是非西宮から。

二十年前に声を大にして国連に働きかけ自らも現地に滞在しての苦労、日本では、風光明媚の二年もの大木が伐採され、各地で原生林が破壊され、自然体系が破壊された。

ニコルさんは、エチオピアの現状を、

二十年前に声を大にして国連に働きかけ自らも現地に滞在しての苦労、日本では、風光明媚の二年もの大木が伐採され、各地で原生林が破壊され、自然体系が破壊された。

ニコルさんは、エチオピアの現状を、



自由な会員の参加で好評の昼食会

支部長は御橋先生へ  
そして大森先生へ

二期四年の任期が何となくすんで、二代目支部長には、温厚によく勉強される御橋先生にお願いをして快く受け入れていただいた。

三代目が現大森支部長である。明るくてのびのびとした世話人会、政治家のなない開業医のための協会づくりという路線は今も続いている。

今では黒でも一番実業のある「健康と医療」について語り合う会」を初めて西宮で行った時は、御橋先生の依拠と集まっていた。市民の方の人数確保が大変だ、と心配したものだ。世話人以外の世話人には、津門地の金森先生や尾崎先生らにお話を、盛会のうちに会をすすめることができるときは申しかけた。

保健リーダー養成講座も大田黒先生を中心に順調にすすんでいった。小児科医として出番の少ない私も、体調の

「保健リーダー養成講座」で指導される伊賀先生

伊賀先生は、西宮市立病院で小児科医として活躍されています。今回の講座では、小児科医としての経験や、子育ての心得などを話してくださいました。

西宮市立病院  
保健リーダー養成講座

伊賀先生による指導。参加者は、小児科医としての経験や、子育ての心得などを話してくださいました。

### 総会開く さらに活気ある日常 活動をすすめるよう

「支部設立十周年の節目に、二十周年をむかえて、いよいよ活動の場を西宮・芦屋支部に広げたい。西宮市支部設立十周年記念講演会が、十月十六日（土）に西宮市支部会館で開かれ、会員四十人が出席した。

一九八一年十一月に設立されたが、十周年を迎えるにあたり、支部の活動の場を西宮・芦屋支部に広げたい。西宮市支部設立十周年記念講演会が、十月十六日（土）に西宮市支部会館で開かれ、会員四十人が出席した。

西宮市支部設立十周年記念講演会が、十月十六日（土）に西宮市支部会館で開かれ、会員四十人が出席した。

- 新支部世話人紹介
- 支部長 大森 公一（再任）
  - 副支部長 幸原 久（再任）
  - 世話人 西宮 賢一（再任）
  - 伊賀 郁雄（再任）
  - 池田 清（再任）
  - 大田 黒（再任）
  - 川野 純（再任）
  - 藤田 純（再任）
  - 友田 正（再任）
  - 南 洋二（再任）
  - 橋本 行男（再任）
  - 林 英一（再任）
  - 廣田 清（再任）
  - 山内 治郎（再任）
  - 山下 治郎（再任）
  - 森下 敬司（再任）
  - 吉田 元則（再任）
  - 中野 信子（再任）
  - 岡野 信子（再任）
  - 北井 勝彦（再任）
  - 小島 英（再任）
  - 松野 弘（再任）
- 以上三十三人

「ずむあっぷ  
ヴァイオリンと講演の  
つどい」

松本勲先生  
川野悦司先生のソフトな可会も好評でした

つどい成功のお礼を述べる大森公一支部長

ニコルさんの紹介をする森下敬司先生

松野さんの愛器は黄金期の銘器ストラディヴァリウス



川野先生のわかりやすくユーモアもまじえたお話しで和やかな講座

「一面からつづき」  
実技を引上げて、壇上では足あげたり踊ったりして、休日の効用を皆さんにおすすめていただきました。

私、人生を豊かに  
してあげる世話人会

一年一度の支部総会の会場のことで、当時副支部長だった加藤先生と二人で武庫川大学へ交渉に行き、第三学舎を借り受けることができ、支部としてほめられない位の立派な会場で会を行うことができました。

芦屋の香取先生には初めから続けて副支部長をお願いし、広報、保険など各方面に果敢の太いパイプ役をしていただいていた。

時が流れて、〇〇号になるまで私達は有能な先生達の死と運命に。龍尾、湯本、三宅、片山、山正治先生連個人

健康講座を迎えて

西宮市立病院  
健康講座

伊賀先生による指導。参加者は、小児科医としての経験や、子育ての心得などを話してくださいました。

西宮・芦屋支部第10回総会

日時 11月24日（土）午後2時半

会場 西宮勤労会館

記念講演 心の健康とストレス管理

記念講演 東邦大学教授 筒井末春先生

協賛 アップジョン

健康講座を迎えて

西宮市立病院  
健康講座

伊賀先生による指導。参加者は、小児科医としての経験や、子育ての心得などを話してくださいました。



支部設立30周年記念のつどい  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい



支部設立30周年記念ブルゾン  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい

支部設立30周年記念のつどい  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい  
西宮市・芦屋支部 支部設立30周年記念のつどい

支部設立30周年記念ブルゾン  
会員特別販売のお知らせ  
西宮市・芦屋支部では設立30周年を記念し、記念ブルゾンを作成いたしました。

世話人会だより  
西宮市・芦屋支部は10月28日に西宮市会館で世話人会を開催。6人が参加しました。

膝痛辛抱する時代ではない  
病診連携勉強会  
10月14日、西宮市立病院で病診連携勉強会を開催。

設立30周年記念いも掘り大会  
いも掘りで心と体リフレッシュ  
10月23日、西宮市・仲農園で設立30周年記念いも掘り大会を開催。

第27回漢方研究会  
日時 12月3日(土)17時~19時  
会場 西宮神社会館2階「福・寿の間」

第10回胸部X-P読影会  
日時 12月2日(金)20時~  
会場 西宮市立病院 胸部X-P読影会

第28回在宅医療研究会  
日時 11月26日(土)15時~17時半  
会場 西宮神社会館2階「福・寿の間」



立岩氏が事実を見極める  
西宮市・芦屋支部 支部設立40周年記念市民公開講演会

支部設立40周年記念市民公開講演会  
西宮市・芦屋支部は、10月9日(土)、西宮市立40周年記念市民公開講演会「混乱の時代を生きたためのフアクト」を開催。



医師・市民ら144人が参加し  
講演後は多くの質問が寄せられた

立岩氏が事実を見極める  
西宮市・芦屋支部 支部設立40周年記念市民公開講演会

立岩氏が事実を見極める  
西宮市・芦屋支部 支部設立40周年記念市民公開講演会

支部オンライン忘年会  
オンラインならでもの交流も  
西宮市・芦屋支部は、12月29日(木)にオンラインでの忘年会を開催。

追悼 大森公一先生を偲んで  
西宮市・芦屋支部 支部長 法貴 憲  
2022年10月28日、西宮市・芦屋支部前支部長・大森公一先生が亡くなりました。

世話人会だより  
西宮市・芦屋支部は12月23日(金)に西宮市会館で世話人会を開催。6人が参加しました。

健康情報 テレホンサービス  
0120-979-451 (24時間・通話料無料)  
2月のテーマ 小児のてんかん

支部ニュース第300号 支部設立30周年記念のつどいといも掘り大会。記念講演の講師は池谷祐二先生。記念ブルゾンの作成・販売も行った

支部ニュース第365号 支部設立40周年記念市民公開講演会。記念講演の講師は立岩陽一郎氏。2面には大森公一元支部長の追悼記事を掲載



# 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部 総会記念行事一覧

回	日程	テーマ	講師	肩書	会場	参加数
1	1981年 11月7日	バイオエシックスとは何か	岡村昭彦氏	フリージャーナリスト	西宮商工会館	56
2	1982年 11月13日	スポーツと心臓	松本越生先生	神鋼加古川病院副院長	西宮商工会館	41
3	1983年 11月19日	患者の深層心理 ～人間らしい医療を求めて	井上敏昭先生	六甲カウンセリング研究所	西宮市民会館	72
4	1984年 11月17日	まちがった食品常識	大塚滋先生	武庫川女子大教授	甲子園会館	67
5	1985年 11月9日	日常診療における調剤・投薬の注意点	水野巨恭先生	武庫川女子大教授	甲子園会館	33
6	1986年 11月15日	ホスピスと在宅ケア	河野博臣先生	河野医院院長	西宮市勤労会館	50
7	1987年 11月7日	これだけは知っておきたいB型肝炎	進士義剛先生	県立西宮病院副院長	サンアビリティーズにしのみや	64
8	1988年 11月12日	健康医学ファースティングの試み	笹田信吾先生	五色県民健康村健康道場長	西宮市勤労会館	115
9	1989年 11月18日	生と死をみつめて	ト部文磨先生	うらべ医院院長	西宮市民会館	71
10	1990年 11月24日	心と健康とストレス管理	筒井未春先生	東邦大学教授	西宮市勤労会館	109
11	1991年 11月16日	ペインクリニックにおける種々の痛みの治療	松本勲先生	埼玉医大教授	西宮市民会館	43
10周年	1991年 12月1日	ヴァイオリンと講演のつどい	C.W ニコル氏	小説家・探検家	芦屋・山村サロン	170
		ヴァイオリン演奏	松野迅氏	ヴァイオリニスト		
12	1992年 11月14日	映像で検証する地球汚染と日本の環境	中村悟郎氏	フォトジャーナリスト	芦屋市民センター	87
13	1993年 11月13日	中高年の健康と運動	小野三嗣先生	川崎医療福祉大学教授	西宮市勤労会館	48
14	1994年 11月26日	阪神学事始一街・人・文化一	河内厚郎氏	文芸・演劇評論家	西宮市民会館	85
		ヴァイオリン演奏	西川泰次先生	西川クリニック院長		
15	1995年 11月11日	阪神・淡路大震災と医療福祉街づくり	室崎益輝先生	神戸大学教授	若竹公民館	70
16	1996年 11月23日	精神を病む人々への看護学的視点	薄井担子先生	千葉大学看護学部教授	西宮商工会館	120
17	1997年 10月25日	若者理解のために	福岡猛志先生	日本福祉大学教授・副学長	西宮市勤労会館	47
18	1998年 11月21日	ダイオキシンなど環境汚染物質についての正しい知識―自然・生活・環境を守る―	宮田秀明先生	摂南大学薬学部教授	芦屋・山村サロン	68
		ヴァイオラ・ダ・ガンバ演奏	西村喜子先生	同志社女子大学非常勤講師		
19	1999年 9月4日	人と微生物とのよりよい共生―アトピーからO-157まで―	藤田紘一郎先生	東京医科歯科大学医学部教授	西宮市民会館	24
		「ストローワンダーランド」	神谷徹先生	大阪音楽大学講師		
20	2000年 8月26日	健康を脅かす身近な化学物質	北條祥子先生	尚絅女学院短期大学人間関係科教授	西宮フレンテホール	203
		文化行事「津軽三味線」	佐藤通弘氏	津軽三味線奏者		
21	2001年 9月8日	世界の食と生活習慣病―寝たきり、痴呆にならない知恵と実践―	家森幸男先生	WHO循環器疾患予防国際共同センター長、京都大学名誉教授	西宮プレラホール	200

回	日程	テーマ	講師	肩書	会場	参加数
22	2002年 8月24日	水と食べ物を科学する	左巻健男先生	京都工芸繊維大学教授	西宮フレンテホール	164
			稲山ますみ氏	東京大学教育学部付属中等教育学校		
23	2003年 7月5日	発酵(FT)が人類と地球を救う	小泉武夫先生	東京農業大学教授	西宮フレンテホール	152
24	2004年 5月8日	人生を楽しくする方程式	ピーター・フランクル氏	数学者・タレント	芦屋ルナホール	600
25	2005年 8月6日	国際宇宙ステーションの世紀～守ろう地球 めざそう宇宙	菊山紀彦先生	宇宙アカデミーさくやま代表	西宮勤労会館ホール	100
26	2006年 5月20日	日本語を歌・唄・謡う	中山一郎先生	大阪芸術大学教授	芦屋ルナホール	170
		―ことばを伝えるということ	うた・きむらみかさん ピアノ・小野綾子さん			
27	2007年 5月19日	親子で楽しむ春から夏の星座星の輪廻 星が生まれてから一生を終えるまでのお話	有賀哲夫氏	自然写真家	西宮フレンテホール	140
28	2008年 6月7日	大人の修行―ドイツ人住職が語る日本人の課題	ネルケ無方氏	曹洞宗安泰寺住職	西宮勤労会館ホール	195
29	2009年 7月4日	脳を楽しむ～記憶・意欲・睡眠をめぐる～	池谷裕二先生	東京大学大学院薬学系研究科准教授	西宮勤労会館ホール	440
30	2010年 7月10日	民族音楽の旅～ロビン・ロイドさんライブ&トーク～	ロビン・ロイド氏	詩人・ミュージシャン	西宮勤労会館ホール	205
31	2011年 7月23日	ウミガメを学んで人間を知ろう!	亀崎直樹氏	神戸市立須磨海浜水族園園長	西宮勤労会館ホール	120
30周年	2011年 10月22日	脳を知って 脳を活かす	池谷裕二先生	東京大学大学院薬学系研究科准教授	西宮神社会館	150
		ヴィオラ・ダ・ガンバ演奏	西村喜子先生	同志社女子大学非常勤講師		
	2011年 10月23日	いも掘り大会 (協会文化部共催)	-	-	仲農園	60
32	2012年 7月21日	ナターシャ・グジー コンサート	ナターシャ・グジー氏	歌手・バンドウーラ奏者	西宮勤労会館ホール	410
33	2013年 8月10日	「ミツバチの羽音と地球の回転」上映&トーク	鎌仲ひとみ氏	映画監督	西宮勤労会館ホール	200
34	2014年 7月19日	小出裕章氏が語る 子どもたちの未来と大人たちの責任	小出裕章先生	京都大学原子炉実験所助教	西宮勤労会館ホール	400
35	2015年 7月18日	100人の村 あなたもここに生きています	池田香代子氏	ドイツ文学翻訳家	西宮勤労会館ホール	173
36	2016年 7月23日	世界の食文化で分かった健康長寿の秘訣	家森幸男先生	武庫川女子大学国際健康開発研究所所長	西宮勤労会館ホール	215
37	2017年 7月22日	知られていないイスラムのこと暴力の連鎖と混迷はどうして生まれるのか	アブドゥルラッハマン・ギョルベアズ先生	サラハッディン(エルビル)大学言語学部教授	西宮勤労会館ホール	130
38	2018年 7月28日	安斎育郎のビビッときた話 うたがう心―科学の眼	安斎育郎先生	立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長	なでしこホール	63
39	2019年 7月20日	エッグサイティングな卵の研究卵の栄養・調理・健康機能	八田一先生	京都女子大学 家政学部食物栄養学科	なでしこホール	90
40周年	2022年 10月8日	混乱の時代を生きるためのファクトチェック	立岩陽一郎先生	NPOメディア「InFact」編集長、大阪芸大短期大学部客員教授	西宮勤労会館ホール	140

## 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部 年表

1981年	
1月	老人医療有料化と診療報酬問題をテーマに対話運動展開。
3月14日	理事会で診療報酬引き上げ中央行動の成功のため百万円カンパ運動決定。
3月16日	神戸市議会で桐島正義理事長が老人医療有料化反対の意見陳述。
4月	兵庫県で近藤病院贈収賄事件発生、支払基金審査委員への収賄問題に派生、県保険課、基金幹事長、国保連合会、県医師会へ申入れと懇談。
5月	6月点数改定を前に県下12カ所で新点数研究会開催。
6月8日	県知事・支払基金幹事長に「疑惑関係者の審査委員再任抗議書」手渡す。
6月30日	小田健保訴訟に対し神戸地裁が請求棄却判決（7月大阪高裁へ控訴）。
9月18日	神戸市議会で桐島理事長が老人保健法についての意見陳述。
10月	神戸市長選候補の宮崎辰雄氏を理事会が支持決定（当選）。
11月7日	西宮・芦屋支部設立（4番目）。設立総会は「バイオエシックスとは何か」をテーマにフリージャーナリストの岡村昭彦が講演し、医師・市民ら56人が参加した。
11月14日	老健法改悪反対運動推進と健康と医療について語り合う会（「語り合う会」）推進を理事会決定。

1982年	
2月13日	反核運動推進委員会設置を理事会決定、反核映画上映運動推進。
3月20日	老人医療無料制度を守る兵庫県民集会（250人参加）開催。
3月25日	県社保協が老人医療無料存続を訴えて対県交渉。
6月	勤務医ニュース発行。
6月	老人保健法反対要請ハガキ運動実施。
7月10日	加古川・高砂支部設立（5番目）。
7月25日	核戦争を防止する兵庫県医師の会結成。
9月	65歳以上の医療費無料継続を求める50万県民請願署名運動開始。
9月11日	理事会で老人医療無料制度存続要求の声明発表。
11月	優性保護法改定反対、合理的医業税制確立、申告納税制度の改悪反対各請願署名運動開始。
11月30日	優性保護法改悪反対を県会各会派に要請。
12月2日	小田健保訴訟証人調べで裁判長が裁判の終結を宣言。

1983年	
1月8日	理事会が老人保健法と診療報酬について声明発表。
1月	2月点数改定を前に新点数研究会開催。
2月	病院対策委員会設置（7月には病院・有床診療所対策委員会に発展解消）。
3月7日	支払基金・国保に老人保健法実施による審査について要望書提出。
5月27日	小田健保訴訟に対し大阪高裁が控訴棄却判決、協会は意見書提出し最高裁に上告。
6月26日	第15回総会開催。記念講演「癌発生機序研究の新しい展開」。
7月	厚生行政をただし国民医療改善を求める請願署名運動開始。
8月20日	医院経営研究会発足、第1回例会開催。
9月10日	健保改悪反対運動総合対策本部設置。
10月16日	神戸市非核宣言都市実行委が5,370人の意見広告を神戸新聞に掲載。
11月17日	地域医療研究会「保健事業計画の状況と開業医のかかわり方」開催。
11月19日	兵庫県医療危機突破総決起大会開催（41団体170人）。

1984年	
1月28日	理事会が「医療保険の大改悪に反対し撤回を求める」声明発表。

2月	「国民皆保険制度を崩壊させる医療保険の大改悪に反対する」請願署名運動実施。
4月21日	明石支部設立総会（6番目）。
5月27日	第1回病院職員研修会開催。
6月24日	第16回総会開催（設立15周年記念）。記念講演「医療における人間関係」。
6月	核戦争を防止する兵庫県医師の会代表として桐島理事長がIPPNW総会（核戦争防止国際医師会議ヘルシンキ）に参加。
11月10日	北播支部設立総会（7番目）。

1985年	
2月16日	レセプト処理システム学習会開催。
2月16日	第1回病院懇談会「中小病院はいま何をなすべきか」開催。
2月24日	第1回医師夫人の会開催（コスモスのつどい）。
3月	健保改悪反対運動推進対策本部設置、健保本人10割復活を要求して運動強化、街頭宣伝も展開。（写真）
3月	「健保」「核」2大署名運動推進委員会設置、署名運動展開。
4月18日	「語り合う会」への参加住民が1万人突破にあたって記者発表。
5月	「ヒロシマ・ナガサキアピール」支持賛同署名運動実施。
6月23日	第17回総会開催。記念講演「細胞工学と医学」。
10月	神戸市長選挙にあたって宮崎辰雄氏支援を理事会決定（当選）。
10月17日	戸嶋寛年逝去（元副理事長、兵庫保険医クラブ発起人）。
11月16日	病診連携実践経験交流会開催。
11月17日	第1回臨時（決算）総会を評議員会・共済制度委員会と同時開催。

1986年	
2月8日	老健法改悪反対を理事会声明し運動推進本部設置、老健法改悪反対署名運動と診療報酬改善要請ハガキ運動展開。
4月1日	健康情報テレホンサービス開設。
5月	歯科部会会員500人突破。
5月17日	北阪神支部設立（8番目）。
5月24日	姫路・西播支部設立総会（9番目）。
6月22日	第18回総会開催。記念講演「ATLウイルスの話」。
8月2日	健康情報テレホンサービスがテレホンサービスコンクール神戸大会生活情報部門で優秀賞受賞。
10月	県地域保健医療計画で県保健環境部と懇談。
10月	非核の政府を求める兵庫の会発足に賛同参加。
12月13日	第1回病院経営懇談会開催。

1987年	
2月7日	第1回病院メディカルスタッフ症例研究会開催。
2月12日	小田健保訴訟で最高裁が控訴棄却判決、敗訴確定。
3月14日	「大型間接税・マル優廃止反対」理事会声明発表。
4月	開業医宣言案を協会新聞に掲載し協会内外での討論展開。
4月26日	病院第1回新人職員研修会開催。
6月14日	但馬支部設立（10番目）。
6月21日	第19回総会開催。記念講演「動く遺伝子」。
6月	保団連が住宅環境調査実施、住宅環境調査に関しマスコミの現地取材、NHK「おはようジャーナル」に桐島正義理事長、小泉英雄副理事長が出演。
11月22日	保団連第2回医療研究集会を兵庫協会が主務地となって神戸で開催（680人参加）。

1988年	
2月	冊子「健康情報テレホンサービス原稿集」発行。
5月9日	参議院で国保について桐島理事長が意見陳述。
7月15日	桐島正義理事長が東京で出務中に急逝（桐島家、保団連、協会合同葬）、合志至誠理事長代行で緊急体制をしく。
7月	医師税制が不公平税制是正のスケープゴートにされ、消費税（大型間接税）導入の動きに反対運動盛り上がり各地で医師税制と消費税をテーマに研究会開く。
9月25日	故・桐島正義理事長追悼会。
10月	「語り合う会」参加者2万人突破。

1989年	
1月	消費税研究会各地で開催。
3月	消費税・4段階税制実務研究会（課税業者、非課税業者、一人法人、歯科対象別）開催。
4月	消費税廃止・リクルート疑惑解明請願署名運動実施。
5月	医科会員3,000人達成。
5月27日	北摂・丹波支部設立（11番目、県下全域に支部確立）。
6月10日	電話による医療相談実施（131件）。
6月17日	西播社会保障推進協議会結成総会開催。（写真）
6月24日	協会設立20周年記念総会前夜祭「講演と音楽の夕べ」、文化講演「はんなりほっこりー日本人のこぼと心」（寿岳章子氏）、「魅惑のステージ」（淡谷のり子・松野迅両氏）開催。
6月25日	協会設立20周年記念総会開催。記念講演「生体の機能にかかわる情報伝達の仕組みーホルモンの話」。シンポジウム「長寿社会の医療を考える」。合志至誠新理事長選出。シンボルマーク制定。懸賞作文入選作発表。
7月	国民医療を守る共同行動10万人署名運動実施。
7月16日	「桐島正義先生をしのぶ会」開催。

1990年	
3月	健康情報テレホンサービスの着信件数20万件突破。
5月	医療をよくする「診療報酬・国保・医療法」請願署名運動実施。
9月9日	国保問題学習交流会開催。
9月29日	「開業医の承継を考える集い」開催。
9月30日	診内研第300回「排尿障害の臨床ー頻尿・尿失禁を中心に」開催。
10月	診療報酬の抜本改善を求める医師署名運動実施。
10月7日	第1回日常診療経験交流会開催。特別講演「連休中の救急医療」。
10月13日	理事会声明「自衛隊の海外派兵に道を開く憲法改変の国連平和協力法を阻止しよう」発表。
11月10日	第1回環境公害対策部会開催。特別講演「地球環境問題と日本の責任」。

1991年	
4月6日	第1回地域医療を考える懇談会「在宅ケアを考える」開催。
6月16日	第23回総会開催。記念講演「ウイルスとがん」、文化講演「豊かさとはなにか」。
7月28日	全国保険医総決起大会開催。
9月	乳児医療への公費助成要求自治体署名運動実施。
9月	白内障・眼内レンズへの自治体助成請願運動実施。
9月17日	事務所移転（三宮フコク生命ビル）。
11月1日	兵庫保険医新聞1000号発行。
11月26日	西宮・友愛病院の開設許可取り消しを県が発表したが、同病院が廃止届を提出。するとこれを受理。協会は29日厚生省交渉、12月6日には県に廃止届受理の撤回を申入れ。
12月1日	西宮・芦屋支部設立10周年記念市民公開講演会を開催。「音楽と講演のつどい」をテーマにC.W ニコル氏とヴァイオリニストの松野迅氏を招き、医師・市民ら170人が参加した。

1992年	
1月22日	乳児医療への公費助成要求署名を県に提出。
2月22日	新春時局講演会「バブルの崩壊と社会保障」開催。
4月11日	但馬で移動理事会と第2回地域医療を考える懇談会「①過疎地医療の状況、②パソコンによる慢性疾患患者のフォロー、③地域医療活動交流会」開催。
4月22日	医薬品卸協同組合と製薬会社に契約書、建値制などで申入れ、懇談。
5月	冊子「健康情報テレホンサービス原稿集」第3集発行。
6月13日	理事会声明「PKO法案強行採決に抗議する」発表。
7月25日	シンポジウム「看護婦問題を考える」開催。
9月6日	第3回日常診療経験交流会開催。特別講演「顔面口腔領域におけるQOLを考慮すべき疾患について」。
10月24日	理事会声明「佐川疑惑の真相究明、関係議員の辞職を求める」発表。
12月14日	国保レセプト提出協力日問題で国保連合会と懇談。15日卸各社、21日県医師会・三星堂とも懇談。

1993年	
2月6日	新春のつどい「シルクロード2万5千キロを踏破して」「中村麻里子さんとともに」開催。
3月13日	淡路で移動理事会、第3回地域医療を考える懇談会「淡路島・保健医療カードシステム、他医療活動」「大鳴門橋記念館見学」開催。
3月18日	医療法改定・新点数研究会開催。
4月17日	時局講演会「内外の経済動向と社会保障」開催。
6月19日	時局講演会「保険財政と国家財政」開催。
7月11日	第1回在宅医療研究会「在宅リハビリの実践編」開催。
9月6日	支払基金と再審査請求時のレセプト添付問題で懇談。
9月11日	理事会特別討論「厚生省・日医のかかりつけ医構想を考える」開催。
9月18日	時局講演会「高齢化社会の財源ー21世紀の医療・年金をどう支えるか」開催。
11月20日	時局講演会「細川政権と診療報酬改善の展望」開催。
11月21日	「富山の保険医が個別指導を苦に自殺、抗議ハガキに協力を」保険医新聞特集号外発行。

1994年	
2月19日	新春時局講演会「新しい医療運動を」開催。
6月11日	理事会声明「羽田内閣はただちに国会を解散し信を問え」発表。
8月1日	ジョー・オダネル原爆写真展「グランド・ゼロ」・講演会「1945年8月の4日間」開催。（～5日）
8月5日	ビタミン給付制限問題で記者発表。
9月5日	入院給食の自治体助成を要求する共同行動実行委員会が県に申入れ。
9月17日	第9回保団連医療研究集会「これからの医療を考えるー①保健・医療・福祉の連携をめざして、②現代の生と死を考える」を神戸で開催。
10月25日	協会学習会「かかりつけ医政策と開業医の将来」開催。
11月13日	11・13 国民大集会開催。

1995年	
1月17日	阪神・淡路大震災発生。（午前5時46分）
1月18日	被災地会員訪問開始。
1月19日	散乱した事務所ビルに入り事務所機能回復へ着手。
1月20日	西宮・芦屋支部が災害対策本部設置、対策本部会議開催。
1月22日	保団連・兵庫の震災対策現地対策本部を西宮・広川内科クリニックに設け全国協会の支援活動受け入れ拠点となる。
1月22日	阪神・淡路大震災緊急対策会議、理事長談話「被災者の治療と健康管理に全力をあげよう」発表。
1月23日	神戸事務所・西宮事務所双方に事務局を配置する臨時体制をとる。

2月4日	理事会（西宮・広川内科クリニック）、激甚災害指定地域会員の被災状況調査実施、共産党国会議員団と対策について懇談。
2月25日	震災後初めて神戸事務所で理事会開催。
2月27日	協会事務局業務一元化復元。
3月4日	阪神・淡路大震災救援・復興県民会議結成総会開催。
3月8日	県医師会と震災対策で懇談、申入れ。
3月21日	協会・民医連などで阪神・淡路大震災健康被害調査委員会設置。
3月30日	復興支援を厚生大臣に申し入れ。
4月1日	阪神・淡路大震災対策臨時評議員会開催。
4月8日	政策研究会「復興対策の基本点と実現性」開催。
4月12日	県医師会と国庫補助、医療近代化施設整備事業融資条件の緩和問題等で懇談。
4月16日	第6回地域医療を考える懇談会「被災地の医療状況と今後の課題」開催。
4月22日	診内研「花粉症の最近の動向と治療」開催（震災後初）。
4月28日	日医と懇談し震災復興のための要望書提出。
5月	地域医療部が全半壊医療機関に実態アンケート調査実施。
6月17日	政策研究会「診療所から町づくりを考える」開催。
6月18日	第27回総会開催。記念講演「世界一の医療費抑制政策を見直す時期」、特別企画「災害医療のあり方」。
7月23日	震災対策で日医に懇談・申入れ。
8月9日	西宮・芦屋支部「芦屋ケアつき仮設住宅見学・検討会」開催。
9月15日	第5回日常診療経験交流会「震災における被災地医療」開催。記念講演「震災後の心のケアー震災下精神医療の経験から」。
10月6日	神戸市議会民生保健常任委員会で尾家神戸支部長が医療費震災免除措置延長要請請願について意見陳述
10月18日	尼崎支部が尼崎小田南仮設住宅自治会と懇談。
11月18日	第7回地域医療を考える懇談会（三木市）「北播地域の在宅医療・在宅ケアの活動と公的介護保険、大震災の被災地医療」開催。
11月26日	臨時総会、第48回評議員会、第18回共済制度委員会開催。記念講演「大震災と社会保障」開催。
11月28日	環境・公害対策学習会「震災後の大気汚染と廃棄物」開催。
12月9日	政策研究会「震災問題訪米調査報告と日本の災害救助法」開催。
12月	「48氏共同アピール」県・市へ申し入れ。

1996年	
1月14日	大震災メモリアルデー行事「阪神・淡路大震災と住宅・医療・福祉」全国交流会と被災地現地調査開催。
1月25日	被災地での確定申告研究会開催。
1月27日	反核医師の会と共催で「プルトニウム問題」学習会開催。
4月14日	第8回地域医療を考える懇談会「公的介護保険を考える」開催。
6月20日	政策研究会「新指導大綱は違法か」開催。
9月	新指導実施にあたり神戸、西宮、姫路で「新指導大綱研究会」開催。
9月8日	第6回日常診療経験交流会「今求められている医療情報とネットワーク」開催。記念講演「HIV感染症の臨床」「HIV感染者の現況と今後の診療体制ー開業医の立場から」、歯科記念講演「歯周治療の新しい保険システム」。
10月19日	第9回地域医療を考える懇談会（宝塚）「北阪神地域の在宅医療・在宅ケアの活動」開催。
12月	「126氏アピール」記者発表。

1997年	
1月	社保協「仮設住宅入居者の生活・健康実態調査」実施。
2月27日	医療保険改悪反対全国統一行動開催。
3月23日	3・23県民集会 被災者への公的支援等を求め署名行動開催。

4月20日	公的支援を求める住民投票実行委員会結成大会、住民投票開始。
6月2日	公的支援を求める住民投票運動決起集会開催。記者発表。
8月7日	審査対策部再発足、第1回部会開催。
8月23日	第1回老人デイ・ケア施設連絡会開催。
8月	改定健保法9月実施を前に「改定健保法研究会」開催（13回2,633人）。
8月30日	「たてなおそう神戸 医師・歯科医師の会」第1回世話人会開催。
9月4日	手話講座開講式。記念講演「耳の知識」。
10月18日	若手医師・歯科医師の会開催。
11月1日	第1回被災地・仮設住宅対策委員会開催。
11月22日	第12回保団連医療研究集会「いのちを守る一人権・医療・震災」を神戸で開催。
12月13日	「京都民医連中央病院不当減点復活訴訟」学習会開催。

1998年	
1月17日	大震災3周年メモリアル行事開催。シンポジウム「3年後の被災地はいまー被災者の生活再建と行政の責任」。
2月12日	第1回協会30年史編纂委員会開催。第1回協会30周年企画会議開催。
2月24日	週刊朝日の「不正請求」報道について朝日新聞神戸支局と懇談。
5月	「97年9月健保法改定前に戻せ」緊急院長署名運動実施。
6月	7月参議院選挙を前に保険医新聞で「選挙に行こう」キャンペーンはる。
6月18日	神戸支部が「神戸空港建設の是非を問う住民投票条例制定直接請求署名運動の会」に参加決定。
7月12日	参議院選挙で自民党惨敗し民主・共産両党が躍進。橋本首相はじめ、加藤幹事長ら党執行部が引責辞任。
7月23日	中級手話学習会開始。
7月25日	理事会で「私たちは早期の衆議院解散、総選挙を要求する」決議。
7月25日	理事会声明「診療報酬改定10月施行中止を要求する」発表。
8月20日	「さあ出発、住民投票へ、明日の神戸を考える市民の夕べ」開催。直接投票スタート。
9月25日	神戸空港建設の是非を問う住民投票を求める直接請求署名提出。署名数35万超し30万目標上回る。
9月29日	病院緊急説明会「診療報酬10月改定の内容と具体的対策」開催。
10月3日	3回の理事会討議を経て、兵庫県知事選に対して①「新しい県政をめざす医師・歯科医師の会」を協会内に設置し具体的な選挙運動を行う、②梶本修史氏を支持推薦する、③「革新兵庫県政をつくる会」に加盟することを決定。（貝原当選）
10月17日	第12回地域医療を考える懇談会「西宮・芦屋における診療連携を考える」開催。
10月28日	介護保険に関して県下自治体にアンケート調査実施。
11月18日	神戸市議会本会議で、陳情者の口頭陳述を行わないまま「住民投票条例案」を否決。
11月21日	県民セミナー「切れる生徒たちー犯罪を起こす少年の心理」（協会30周年プレ企画）開催。
12月19日	政策研究会「保険医定数制・定年制」（協会30周年プレ企画）開催。

1999年	
1月16日	阪神・淡路大震災4周年メモリアルデー（～18日）、「被災地の運動ーこれまで、これから」報告&討論、特別講演とパネルディスカッション「阪神・淡路大震災と被災者生活再建支援法」など（協会30周年プレ企画）開催。
2月20日	政策研究会「社会保障の経済効果」（協会30周年プレ企画）開催。
5月16日	シンポジウム「聴覚障害者と医療ーコミュニケーションの谷間を超えて」（協会30周年プレ企画）開催。
5月20日	患者負担増反対署名。75,000筆を持ち国会要請
6月3日	院内感染問題で県健康福祉部へ申し入れ。
6月19日	協会設立30周年記念総会前夜祭・市民公開シンポジウム「安心できる介護保障を」、記念パーティ「松野迅ヴァイオリンコンサート&ディナー」開催。

6月20日	協会設立30周年記念第31回総会開催。記念講演「アポトーシス（細胞死）と病気」、記念式典・祝賀会、「私たちの30年史」発刊。朝井榮新理事長を選出。
7月18日	救援・復興県民会議討論集会「被災4年半、生活再建・復興を問う」に参加。
9月6日	支払基金審査委員長と6年ぶりに懇談。
10月23日	理事会声明「県民医療を破壊する県行革案に反対しよう」。
10月31日	理事会学習会「報告と討論－協会活動の活性化をめざして－協会30年史から」開催。
11月5日	合志名誉理事長、須田元神戸大学長ら9氏が呼びかけ、市民アピール「神戸市政を市民の手に取り戻すため、話し合う場をつくりましょう」を記者発表。
11月21日	県社保協復興公営住宅入居者生活実態調査を実施。（～22日）
11月29日	国保連合会審査委員長と8年ぶりに懇談。
12月9日	インフルエンザワクチン不足事態に際し県業務課、卸協同組合に緊急申し入れ。

2000年	
1月	尼崎公害裁判で「完全勝利」判決。
1月15日	協会主催「大震災5周年のつどい」開催。「5周年被災地レポート」発刊。
1月16日	阪神・淡路大震災5周年メモリアル行事（～17日）実施。シンポジウム「5年間の国と自治体の復旧・復興施策を問う」等。
2月6日	介護保険対策のために地域医療部を中心にした介護保険対策委員会を設置。
4月	保団連近畿ブロックでアメリカ医療視察旅行を実施。
4月3日	神戸新聞に「ストップ！患者負担増」意見広告掲載（保団連は朝日新聞に掲載）。
6月	理事会声明「憲法蹂躪の『神の国』『国体』発言を撤回しないのなら森首相は退陣せよ」。
6月19日	レセプト点検民間委託問題で顧問弁護士と法的検討。
7月22日	各界連絡会のストップ県「行革」署名スタート集会に参加。
8月26日	西宮・芦屋支部第20回総会記念市民公開講演会を開催。「健康を脅かす身近な化学物質」をテーマに尚綱女学院短期大学人間関係科教授の北條祥子先生が講演し、医師・市民ら203人が参加した。
9月30日	協会学習会「今後の開業医の要求実現と協会の役割－協会と医師会の関係にも触れて」（岩崎正大阪協会顧問）開催。
9月	理事長声明「患者負担増の『健保法等改定案』の国会上程に強く抗議し、撤回・廃案を求める」。
10月	理事会声明「民主主義を破壊する参議院比例代表選挙への非拘束名簿方式導入に反対する」。
11月11日	県社保協主催の医療改悪阻止・白衣の街頭宣伝行動参加。
12月9日	政策研究会「低成長でも高齢化社会は支えられる」開催。

2001年	
1月13日	新しく設けられた「協会役員等の選出規定」にもとづき第1回選挙管理委員会開催。
1月17日	大震災6周年メモリアル行事実施。「被災地サミットin神戸」（有珠、三宅島、東海、鳥取、阪神の被災地報告）等。
2月10日	再審査請求を増やすとくみとして、11年ぶりのイエローカード運動の通報事例をもとに審査支部担当者会議開催。
2月12日	初めて勤務医のための税務研究会開催。
4月15日	初めて勤務医のための開業支援セミナー開催。
6月30日	緊急理事学習会「小泉流構造改革でどうなる日本経済」（山家悠紀夫神戸大学教授）開催。
7月28日	第717回理事会で、兵庫県知事選挙について特定候補を支持しないことを決定。
8月17日	合志名誉理事長を団長とする救援・復興県民会議代表が国連に「人権無視の救援施策」の是正を求める（～25日）。
10月13日	第721回理事会で、神戸支部幹事会の決定を受け「木村候補」を支持推薦することを決定。
10月14日	理事（役員）学習会「国民皆保険後40年を振り返り、小泉『医療改革』を考える」開催。
11月17日	「許すな！医療・社会保障改悪、いのちとくらしを守る2001年近畿決起集会」開催。

2002年	
1月17日	阪神・淡路大震災7周年メモリアル行事実施。
2月16日	保団連近畿ブロックアメリカ視察報告集出版記念会開催。
3月23日	医療改悪阻止県民集会開催。
4月13日	理事会声明「4月マイナス改定の全面見直しと緊急是正、及びレセプトへの『主傷病名、副傷病名』記載義務づけ撤回を求める」。
4月18日	「主傷病名記載義務づけ」通知撤回を求め、社会保険事務局、支払基金、国保連合会に緊急申し入れ。
4月27日	理事会声明「医療関係者をはじめとした多くの国民に戦争強要する有事法制に断固反対する」。
5月26日	反核医師の会が元アメリカ海兵隊員アレン・ネルソン氏を招いて「講演と交流のつどい」開催。
5月30日	阪神・淡路大震災救援・復興県民会議が国連社会権規約委員会に対して、日本政府の「人権無視救援施策」の是正を求めた結果、同委員会から日本政府、兵庫県に対し公的支援強化を勧告したことの「報告会」を開催。
8月31日	「安心・最善の医療をめざして近畿保険医決起集会」開催。
9月19日	健保・老健法改定研究会（医科15会場2,632人、歯科91人）開催。
10月23日	兵庫県に「高齢者インフルエンザ予防接種の改善を求める要望書」提出・懇談。
10月27日	理事学習会を協会学習会と名称変更し、「社会保障と診療報酬－我々のめざす医療制度を考える」開催。
12月19日	兵庫県社保協介護保険部会発足会。

2003年	
1月17日	阪神・淡路大震災8周年メモリアル行事実施。「報告＆シンポ－阪神・淡路大震災8年目の現実」等。
1月25日	第400回記念診療内容向上研究会「生活習慣病対策の実際と展望」（馬場茂明神戸大学名誉教授）開催。
2月1日	反核医師の会学習会「被爆者集団申請」開催。
2月12日	4野党が「健保3割負担凍結法案」を衆議院に提出（参議院は3月14日）。
3月15日	「患者負担増反対近畿決起集会」開催。
3月23日	「医療改悪反対街頭演説・大宣伝行動」実施。
9月9日	県行革連絡会が福祉医療改悪に反対し兵庫県に要求書提出。
9月15日	原爆症認定集団訴訟支援ネットワーク兵庫結成集会。
9月23日	協会学習会「特定療養費と混合診療」開催。
11月8日	痴呆性高齢者グループホーム施設見学会実施。
12月20日	「診療報酬マイナス改定実施阻止・患者負担軽減、国民医療を守る近畿保険医決起集会」開催。

2004年	
1月17日	阪神・淡路大震災9周年メモリアル行事実施。
3月9日	「高病原性鳥インフルエンザ」について県立環境科学研究センター・山岡感染症部長にインタビューし保険医新聞に掲載。
3月31日	参議院本会議で「被災者生活再建支援法改定案」可決し成立。
6月10日	神戸医療産業都市視察会実施。
7月24日	女性医師・歯科医師の会「学校現場の性教育、医療現場での十代の性」開催。
10月20日	台風23号が兵庫県に襲来、甚大な被害をもたらす。
10月23日	協会学習会「憲法を変えて日本はどこへ行くのか」（木下智史関西大学教授）開催。
12月11日	協会35周年記念ファミリーパーティー実施。

2005年	
1月15日	保団連・当協会「阪神・淡路大震災10周年のつどい」（～16日）開催。
1月15日	西宮・芦屋支部が「阪神・淡路大震災10年の集い」を旧名塩仮設住宅連絡協議会と共催で開催。特別講演は東京農業大学教授の小林武夫先生が務めた。
1月17日	阪神・淡路大震災10周年メモリアル集会開催。
1月30日	保団連10万会員達成のつどい開催。

2月26日	「社会保障改悪阻止近畿総決起集会」開催。
3月12日	審査・指導支部担当者会議「民間法人移行後の支払基金の現状と兵庫基金の審査状況」開催。
4月13日	医団連「混合診療反対、介護保険と障害者医療の改悪許すな決起集会」に参加。
4月29日	協会事務所を三宮フコク生命ビルから神戸フコク生命海岸通ビルに移転。
5月15日	第67回評議員会終了後、事務所移転披露会開催。
5月28日	復興県民会議・全国災対連共催「阪神・淡路大震災10年『迫りくる大地震、自然災害にどう備えるか』」(～29日)開催。
7月1日	県歯科医師会に「消費税増税反対と医療へのゼロ税率適用」の要望書で申し入れ・懇談。
7月19日	県医師会に「消費税増税反対と医療へのゼロ税率適用」の要望書で申し入れ・懇談。
7月30日	「九条の会・兵庫県医師の会」加藤周一講演会「私と憲法9条」開催。
8月13日	緊急特別研究会「アスベストと健康被害」開催。
10月2日	「九条の会・兵庫県医師の会」大原穰子講演「方言で読む憲法の心」と映画「日本国憲法」上映会開催
10月22日	医療改悪反対宣伝行動実施(11月、06年2月・4月にも実施)。
12月18日	保団連「歯科混合診療を考えるシンポジウム」開催。

<b>2006年</b>	
1月14日	新春政策研究会「目からウロコ憲法の話」(伊藤真氏)開催。
1月17日	阪神・淡路大震災11周年メモリアル行事実施。
1月19日	自主共済規制問題対策国会行動、シンポジウム「改定保険業法とこれからの共済」開催。
2月9日	「許すな医療改悪・増税国民集会」(1万4千人参加)開催。
5月13日	審査問題学習会「IT化によって審査はどう変わるかーレセプト請求オンライン化と画面審査の現況」開催。
6月11日	保団連「療養病床廃止・削減反対緊急決起集会」開催。
7月16日	「これでいいのか日本の医療・介護、見捨てるのか患者・国民 語り合おう討論決起集会」(大阪協会など5団体主催、保団連近畿ブロック共催)開催。
7月19日	革新県政をつくる会第26回総会で、憲法が輝く兵庫県政をつくる会(略称「憲法県政の会」)に名称変更。
9月18日	「ぶっとばせ格差社会兵庫県民集会」開催。
9月30日	「九条の会・兵庫県医師の会」香山リカ講演会「改憲はいまどきの常識？」開催。
10月28日	協会学習会「小泉・安倍構造改革の中の国民生活と社会保障ー小泉政権の5年間とポスト小泉の構造改革」(二宮厚美神戸大学教授)開催。

<b>2007年</b>	
1月17日	阪神・淡路大震災12周年メモリアル行事実施。
2月12日	「共済の今日と未来を考える兵庫懇話会」結成総会開催。
2月16日	神戸空港開港1年抗議行動(ストップ神戸空港の会、神戸再生フォーラム)実施。
2月25日	「医師確保・公立病院を守れ」但馬住民集会開催。
3月11日	「地域医療を守る近畿の医師・医療従事者のつどい」に参加。
5月13日	「九条の会・兵庫県医師の会」鶴見俊輔講演会「そう、9条で行こう」開催。
6月24日	「格差是正県民集会」に参加。
7月14日	審査・指導問題学習会「レセプトオンライン請求義務化問題と審査・指導の現状、保団連韓国視察の報告も交えて」開催。
10月18日	「医師・看護師増やせ、ストップ医療崩壊中央集会」に参加。
10月28日	「許すな憲法改悪・消費税増税、守れ！いのちとくらし・雇用国民大集会」に参加。
11月	「被災者生活再建支援法」改定法が国会で可決・成立。
11月17日	「ストップ医療崩壊、いのちを守れ近畿決起集会」開催。
11月23日	「共済を守る全国市民集会」に参加。
12月16日	「九条の会・兵庫県医師の会」映画「パッチギ！LOVE&PEACE」上映と井筒監督講演会開催。

<b>2008年</b>	
1月17日	阪神・淡路大震災13周年メモリアル行事実施。
3月23日	「誰がつくった『貧困』変えよう『格差社会』」県民集会に参加。
4月26日	尼崎支部「映画『シッコをみる会』」(これ以後2009年3月まで9支部1歯科部会18回)開催。
5月18日	第73回評議員会開催。特別講演「誰が日本の医療を殺すのかー医療崩壊の知られざる真実」(本田宏済生会栗橋病院副院長)。
6月11日	「怒っている会」主催の後期高齢者医療制度廃止国会包囲大行動に参加。
6月19日	「憲法県政の会」学習会「県民いじめの『行革』知事さようならー憲法どおりの兵庫をつくろう」開催。
6月22日	第40回総会開催。記念講演「脳と脳内伝達物質のかかわりー微量物質があなたの気分を変える」(生田哲元イリノイ工科大学助教授)。
9月10日	9条の心ネットワーク学習会「いま日本は戦時?!戦争加担をやめ自衛隊の即時撤退をー名古屋高裁イラク派兵違憲判決」に参加。
10月4日	女性医師・歯科医師のつどい「性差医療」開催。
10月11日	協会学習会「『保険医協会の歴史・役割・展望』私論」(平井正也大阪協会名誉理事長)開催。
10月19日	「ストップ医療・介護崩壊！増やせ社会保障集会」に参加。
10月26日	保団連「医科・歯科混合診療問題を考えるシンポジウム」に参加。
12月14日	「九条の会・兵庫県医師の会」映画「アメリカばんざい」上映と山室信一講演会「憲法9条の思想水脈」開催。

<b>2009年</b>	
1月17日	阪神・淡路大震災14周年メモリアル行事実施。
1月24日	協会新春講演会「借金800兆円にはカラクリがあるー日本が財政危機でないこれだけの理由」(菊池英博日本金融財政研究所所長)開催。
2月16日	ストップ神戸空港の会「開港3周年抗議集会」に参加。
3月14日	「守ろういのち！なくせ貧困近畿決起集会」開催。
3月20日	格差是正実行委員会相談会「1日派遣村」開催。
4月23日	大阪協会「レセプトオンライン請求義務化撤回訴訟」大阪地裁へ提訴。
6月	レセプトオンライン請求義務化で手書き医療機関542件にアンケート。「閉院を考えている」54%。
7月5日	兵庫県知事選挙で現職の井戸敏三氏が当選。協会は「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」が擁立した田中耕太郎氏を推薦。「憲法が輝く兵庫県政をつくる医師・歯科医師の会」の呼びかけに170人の医師・歯科医師が賛同表明。田中氏は492,140票(得票率31%)で善戦健闘。
8月30日	第45回衆議院議員選挙で自公政権が歴史的な大敗。民主党を中心とする政権が誕生。自民党は選挙前300議席から119議席へと181議席減、公明党は同31議席から21議席へと10議席減。自公で191議席の減。民主党は115議席から308議席へと193議席を増やし第1党。
9月9日	不当な「保険医指定取消処分」の取り消しを求めた細見裁判が大阪高裁で逆転敗訴。1審の神戸地裁では2008年4月22日に原告が勝訴していた。
9月16日	民主党・鳩山由紀夫内閣が発足。
10月21日	2006年新保険業法により新規募集ができなくなった休業保障制度について、亀井静香金融担当大臣と住江憲勇保団連会長が会談。亀井大臣は「休業保障制度は自主的で健全な共済であり、適用除外は当然」とし、担当局長に早急に適用除外の手続きをとるように厳命。休業保障制度再開へ前進。
10月22日	「社会保障費を増やして、国民のための医療・介護へ転換を！10・22中央集会」(日比谷野外音楽堂)に4千人が参加。
11月8日	「新しい未来へ！11・8国民大集会」(東京・代々木公園)に全国から3万5千人。 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会が結成。90人が参加。
11月25日	厚生労働省がオンライン請求義務化方針を撤回する改正省令を公布。協会・保団連の要求が実った。
12月1日	原爆症基金法が成立。正式名は「原爆症認定集団訴訟の原告に係る問題の解決のための基金に対する補助に関する法律案」で、訴訟原告への救済に道を開いたが、救済対象が一部に限られた。

2010年	
1月6日	協会が事務局をつとめた「市民のための市民病院を守る会」が、神戸市に中央市民病院の移転計画の一時凍結と見直しを求める請願署名5,608筆を提出。前年10月15日に提出していた8,150筆とあわせて13,758筆。
1月7日	ラジオ関西で「医療知ろう」コーナーを開始。マスメディアを使って医療内容や医療制度などについて市民に解説する初の試み。
1月16日	西宮・芦屋支部が「阪神・淡路大震災15年の集い」を開催。日本福祉大学の金持伸子先生、関西学院大学の室崎益輝先生、県災害医療センター顧問の鶴飼卓先生などが講演し、医師・市民ら170人が参加した。
4月	民主党政権下で初の診療報酬改定。政府発表は0.19%のプラス改定だが、後発品のある先発品の薬価引き下げを含めた全体改定率は0.03%で実質ゼロ改定となり、怒りと不満の声がうずまいた。
6月	兵庫県社会保障推進協議会神戸市協議会が、神戸市全区19会場で国保相談会を実施。相談件数は前年を100件以上上回る449件で、多数の市民が押し寄せた。
9月15日	受診抑制調査（7月実施）結果を発表。「経済的理由による治療中断・中止」を37%の会員が経験しているなど受診抑制実態を訴えた。
10月2日	神戸市医師会が「誰のための医療？－医療ツーリズムを問う」を開催し、混合診療解禁や株式会社による病院経営解禁に警鐘をならした。市民ら210人が参加。
11月8日	兵庫県が福祉医療制度の改悪などを盛り込んだ「第2次新行革プラン」を発表。乳幼児医療費助成事業の所得制限を見直し6万人が対象外になるとした。
11月12日	「休業保障制度」の継続運営につながる保険業法再改正法案が衆院・参院ともに全会一致で可決・成立し、6年越しの運動が実った。
12月21日	兵庫県が県立尼崎病院と塚口病院を統合する「統合再編基本計画」を発表。8万筆を超える署名運動により、跡地への医療機関誘致などを盛り込んだ。

2011年	
1月14日	兵庫県が福祉医療制度改悪について修正案を発表。乳幼児医療費助成事業の所得制限強化を1年先延ばしにする一方、子ども医療費助成を小学6年生まで拡大。
1月16日	兵庫県医師会が緊急県民フォーラム「金持ち歓迎の医療って何？－医療ツーリズムの本質を問う」を開催。400人が参加。
2月17日	協会、西宮・芦屋支部編の著書『阪神・淡路大震災の経験と記憶を語り継ぐ被災地での生活と医療と看護～避けられる死をなくすために～』を発行。
3月11日	東日本大震災で死者9,301人、行方不明者13,786人（当時）。津波被害と原発爆発など未曾有の複合災害となった。協会はただちに対策本部を設置し緊急支援を開始。
3月27日	「東日本大震災支援、地域経済・雇用・社会保障を守れ3・27兵庫県民集会」に2,500人。
4月	協会の「健康情報テレホンサービス」が50万件突破。
5月15日	九条の会兵庫県医師の会市民講演会でペシャワール会現地代表の中村哲医師が講演。
6月	兵庫県が作成した「兵庫県地域医療再生計画（案）」で、県立子ども病院をポートアイランド2期地に移転する計画が判明。
8月	県立子ども病院のポートアイランド移転問題で会員アンケートを実施。「反対」「どちらかといえば反対」45%。「賛成」「どちらかといえば賛成」22%。小児科は6割が反対。
9月22日	東日本大震災での「医療施設等災害復旧費補助金」の対象に休日歯科診療所を追加。協会・保団連が政策医療対象に追加すべきとの指摘を厚労省が認めた。
10月22日	「いのちまもる10・20国民集会」に5,500人。東日本大震災の復旧・復興と社会保障の充実を求めた。
10月22日	西宮・芦屋支部設立30周年記念市民公開講演会を開催。「脳を知って脳を活かす」をテーマに東京大学大学院薬学系研究科講師の池谷裕二先生が講演し、医師・市民ら150人が参加した。
10月30日	「皆保険50周年」「被災地医療」テーマに第20回日常診療経験交流会を開催。236人が参加。
12月12日	「県立子ども病院のポーアイ移転計画を中止し拡充を求める」請願を兵庫県議会に提出。県議会・健康福祉常任委員会で不採択。
12月20日	朝日放送ニュース番組「キャスト」で県立子ども病院移転問題が10分間放映され、加藤擁一副理事長がインタビュー出演した。

2012年	
1月31日	厚労省が、東日本大震災被災者に対する医療費窓口負担免除措置を9月30日まで延期すると通知。
2月16日	兵庫県が県立子ども病院のポートアイランドへの移転計画を正式に発表。
3月3日	「ストップ！社会保障と税の一体改悪」3・3近畿総決起集会に1,000人。大阪・御堂筋をパレード。
4月12日	「消費税大増税ストップ！4・12国民集会」に5,000人。
5月13日	兵庫県民の医療と福祉を守る会が「放射能汚染と医療」テーマにフォーラム。川島龍一県医師会長、小出裕章京都大学原子炉実験所助教、郷地秀夫協会副理事長が鼎談。
6月24日	兵庫県医師会が定時代議員会で、子ども病院のポーアイ移転、TPP断固反対など決議。
7月1日	兵庫県が乳幼児等福祉医療制度の所得制限に「世帯合算」を導入。
8月7日	神戸地裁が、尼崎アスベスト裁判で周辺住民の健康被害に対する企業責任を初めて認定する画期的判決。
8月10日	社会保障制度改革推進法など関連8法案が成立。社会保障を「自助、共助及び公助」などとした。
8月24日	IPPNW世界大会が広島国際会議場で開会。
9月	県立子ども病院ポーアイ移転計画の撤回を求める署名運動を開始。
9月9日	金融庁の予備審査通過（7月30日付け）により、保団連臨時大会で休業保障制度の募集再開方針を決定。
9月28日	「県立子ども病院のポートアイランド移転を撤回させ、周産期医療の拡充を求める会」（子ども病院連絡会）を結成。
10月17日	「いのち・生活・安全まもる10・17国民集会」に4,000人。
10月29日	子ども病院連絡会が、県病院局に署名第1次分31,566筆を提出。
11月24日	子ども病院連絡会がシンポジウム「県立子ども病院ポーアイ移転でいいの？」を県医師会館で開催し150人が参加。川島県医師会長が挨拶。
12月12日	「県立子ども病院のポートアイランド移転の撤回を求める請願」が県議会健康福祉常任委員会で審議。自民、民主、公明の与党会派が反対し不採択。
12月16日	第46回衆議院議員選挙で自民党が118議席から294議席へと176議席を増やして第1党に。民主党は230議席から57議席へと173議席を減らし惨敗。

2013年	
3月1日	休業保障制度が7年ぶりに募集を再開。
3月21日	子ども病院連絡会が、県病院局に移転反対署名第2次分16,278筆を提出。※署名はその後、第3次4,787筆（7月9日）、第4次1,756筆（2014年7月15日）を提出し計54,387筆に。
4月11日	「消費税大増税中止を求める国民集会」に5,000人が参加。
6月13日	尼崎大気汚染公害訴訟が和解。提訴から25年、和解協議14年47回にわたり、国が大型車規制をすすめる画期的成果。
7月21日	兵庫県知事選挙で現職の井戸敏三氏が当選。協会は「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」が擁立した田中耕太郎氏を推薦。田中氏は627,874票（得票率27%）で善戦健闘。
7月21日	同日に行われた参議院議員選挙は、自民党が65議席で大勝、民主党は17議席で大敗し、自公与党は衆参両院で過半数となり「ねじれ」が解消された。
8月6日	社会保障制度改革国民会議が、同報告書を取りまとめ。
9月27日	「消費税大増税ストップ!!国民集会」に5,000人。
11月17日	協会評議員会で元自民党幹事長・野中広務氏が特別講演。
12月17日	兵庫県が第3次行革プランを県議会に提案。老人医療費助成は対象者を4割削減、母子家庭は6割削減する案。

2014年	
2月15日	「いのち奪う暴走政治にストップを！2・15近畿総決起集会」に1,150人。
2月22日	九条の会兵庫県医師の会市民講演会で沖縄国際大学大学院教授・前泊博盛氏が講演。
2月28日	県議会で協会が提出した福祉医療削減の撤回を求める請願が審議。県当局は所得制限を緩和するなどの修正案を提示。与党の自民、民主、公明は当局の修正を是として請願は不採択。
3月5日	診療報酬改定が告示。消費税増税分1.36%を除くと実質マイナス改定。
3月6日	尼崎アスベスト訴訟で、大阪高裁が神戸地裁に続いてクボタの責任を認め損害賠償を命じる判決。

4月1日	消費税8%増税実施。
4月6日	「安倍暴走政治にストップ4・6兵庫県民集会」に800人。
4月24日	「輝け！いのち4・24ヒューマンチェーン」に5,000人。
5月15日	参議院内閣委員会で、健康・医療戦略推進法案、独立行政法人日本医療研究開発機構法案に関して、武村義人副理事長が参考人として陳述。医療営利化の問題点を指摘。協会から国会への参考人派遣は故・桐島理事長に次いで2人目。
5月30日	関西電力神戸支店前行動が100回目。500人が参加。
7月15日	県立こども病院移転問題でこども病院連絡会が患者・家族アンケート。結果を県に提出し対応を要請。
8月20日	広島で豪雨による土石流災害発生。
10月11日	診療内容向上研究会が通算500回。
10月23日	「いのちまもる・憲法いかす 10・23国民集会」に3,200人。

2015年	
1月17日	阪神・淡路大震災から20年。西宮・芦屋支部が「阪神・淡路大震災20年の集い 阪神淡路大震災－東日本大震災－原発事故」を開催。京都大学原子炉実験所助教の小出裕章先生、映画監督の鎌仲ひとみ氏が特別講演を行い、医師・市民ら340人が参加した。
2月11日	福島第一原発事故による県内避難者に健康診断を実施。15家族40人が受診。
2月17日	尼崎アスベスト訴訟で最高裁が原告・被告双方の上告を棄却し、クボタの責任を認めた高裁判決が確定。
3月18日	非核「神戸方式」決議40周年のつどいに253人が参加。
5月27日	患者負担増計画を盛り込んだ医療保険制度改革関連法が成立。与党の自公に加え、維新の党等が賛成した。
5月30日	TPPをテーマに、前日本医師会会長・原中勝征先生が、「TPP交渉差止・違憲訴訟の会」代表として協会政策研究会で講演。
6月17日	協会、西宮・芦屋支部編の著書『巨大災害と医療・社会保障を考える～阪神・淡路大震災、東日本大震災、津波、原発震災の経験から～』を発行。
6月18日	兵庫協会・京都協会合同で近畿厚生局と6年ぶりに懇談。同局医療課長らは弁護士帯同と録音は認めているとの対応を明らかにした。
7月16日	安倍内閣が集团的自衛権を容認する安全保障関連法案を衆院で強行可決。
8月21日	兵庫県が国の「地域医療構想策定ガイドライン」にもとづく2025年に必要な病床数を推計、最大2,600床が過剰と試算。
9月6日	九条の会兵庫県医師の会市民講演会で東京外国語大学大学院教授の伊勢崎賢治氏が講演。
9月19日	参議院で安全保障関連法案が可決・成立。
10月22日	「憲法いかし、いのちまもる10・22国民集会」に3,500人。

2016年	
2月14日	九条の会兵庫県医師の会市民講演会で慶應義塾大学名誉教授の小林節氏が講演。
3月10日	協会は「借上げ復興住宅の入居継続要件に関する意見書」を県に提出。健康・法律相談会で行った参加者アンケート結果に基づくもの。
3月22日	厚労省が個別指導実施で改善方針を通知。
4月	「2015年受診実態調査」結果を公表。半数の会員が経済的理由による治療中断を経験。
4月14日	熊本で震度7の強い地震。死者49人、関連死19人に。
5月3日	「戦争させない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会」に11,000人。
6月末	兵庫県が「地域医療構想案」を発表。2025年に662床が過剰で、1万床以上の機能転換が必要などとした。
7月10日	第24回参議院議員選挙。選挙権年齢が18歳に引き下げられてから初の国政選挙。自民は6議席増、民進15議席減。野党統一候補は32の1人区のうち11選挙区で勝利した。
10月20日	「憲法・いのち・社会保障まもる国民集会」に3,000人。
10月27日	日本政府が国連総会で「核兵器禁止条約」交渉開始決議に反対を表明。
11月12日	安倍内閣がTPP承認・関連法案を衆議院で強行採決。
12月14日	兵庫県が行革について「最終2カ年行財政構造改革推進方策（第1次案）」を県議会に提出。老人医療費助成事業を廃止し、新制度に移行するとした。

2017年	
1月19日	兵庫県に老人医療費助成事業廃止案の撤回を求める緊急会員ファックス署名459筆を提出。
2月10日	「共済の今日と未来を考える兵庫懇話会」が結成10周年総会。元農林水産大臣・山田正彦氏が講演。
3月6日	消費税問題で日本医師会・今村副会長、健保連・白川副会長らと相次いで懇談し、ゼロ税率実現を要請。
3月10日	県社保協神戸市協議会が、神戸市に国保改善を求める署名22,739筆を提出。
3月22日	歯科新規個別指導での録音拒否と指導官の暴言に対し、近畿厚生局兵庫事務所を訪問し抗議書を提出。
3月24日	兵庫県議会に提出していた「老人医療費助成事業の継続を求める請願」が不採択。自民、公明、ひょうご県民連合（民進）が不採択、維新の会は継続、共産が採択を主張。
7月2日	兵庫県知事選挙で現職の井戸敏三氏が当選、5選を果たした。協会は「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」が擁立した津川知久氏を推薦。津川氏は148,961票（得票率8.08%）。
7月7日	核兵器禁止条約が国連総会で採択。
10月6日	ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）がノーベル平和賞受賞。

2018年	
6月29日	働き方改革関連法が成立。
7月9日	6月28日からの西日本豪雨災害に対して会員訪問を実施。58医療機関で一部損壊、浸水。
7月18日	医師少数区域での勤務経験がなければ地域医療支援病院の管理者になれない、都道府県知事が臨床研修病院ごとの研修医の定員を定めるなどの医療法・医師法改正案が成立。
7月22日	協会の市民公開講演会で、元自民党幹事長の古賀誠氏が「憲法9条は世界遺産」を講演。
8月8日	「小児病床足りない」4割など、協会神戸支部が実施した小児科会員アンケートが神戸新聞、毎日新聞、しんぶん赤旗で掲載。
10月11日	「憲法・いのち・社会保障まもる10・11国民集会」に3,700人。
10月26日	兵庫県議会で「歯科保健医療の一層の充実を求める請願」が全会一致で採択。県議会での同趣旨の意見書採択は初めて。県下市町議会で41市町中25市町で採択。
12月27日	尼崎市による生活保護指定医療機関に対する「個別指導」について、市当局と懇談。返還ありきの指導改善を要請。

2019年	
1月11日	医師の働き方改革について厚生労働省は、3次救急医療機関の時間外上限を年1,860時間などと提案。
3月24日	沖縄で辺野古新基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票が実施。「反対」が最多で43万票、7割を占めた。協会は支援表明し募金をよびかけ、役員派遣を行った。

2020年	
1月18日	西宮・芦屋支部が「阪神・淡路大震災25年の集い」を開催。兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科科長の室崎益輝先生、福島県南相馬市・ほりメンタルクリニック院長の堀有伸先生、元京都大学原子炉実験所助教の小出裕章先生など7名が講演・報告し、医師・市民ら200人が参加した。
2月	クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」でクラスターが発生。2週間の船内隔離で700人超の陽性者が発生し、13人が死亡した。
2月	75歳以上の窓口負担2倍化などに反対する「ストップ！負担増」署名がスタート。
4月	新型コロナウイルスが感染拡大。協会は例年4月に行っている診療報酬改定研究会を中止し解説動画を作成した。
4月16日	新型コロナ感染拡大を受け、初となる緊急事態宣言が発令された。
7月18日	西宮・芦屋支部第40回支部総会を開催。新型コロナの影響で市民公開講演会の開催は延期したが、22年10月にジャーナリストの立岩陽一郎さんを講師に支部40周年記念市民公開講演会「混乱を生きるためのファクトチェック」を開催した。
8月11日	協会、西宮・芦屋支部編の著書『東日本大震災・原発震災10年、そのあとに～医療・福祉・生活者の視点からの提言～』を発行。
8月29日	西宮・芦屋支部が第1回新型コロナ感染症研究会を「Zoom」によるリモートミーティングで開催。
11月	大阪「都構想」が狙われ、大阪市廃止・特別区設置の住民投票が行われた。協会も支援し、反対多数となり否決された。



12月	小林化工の製造するジェネリック医薬品の水虫薬に睡眠薬が混入する事故が起き、2人の死者が出る事態となった。
-----	------------------------------------------------------

2021年	
1月14日	新型コロナ感染拡大を受け2回目となる緊急事態宣言が発令。
1月	受診抑制が深刻化し、西山理事長がテレビに出演し医療提供体制の強化を訴えた。協会は医療費抑制策の転換を求めるパンフレットを作成した。
2月	医療従事者などを対象にコロナワクチンの臨時接種がスタート。
4月	新型コロナ感染拡大を受け4月5日兵庫県に県で初めてとなる「まん延防止重点措置」発令、同月25日からは3回目の「緊急事態宣言」が発令された。
6月4日	75歳以上の窓口負担を2倍化する法案が成立。協会は22年の施行阻止に向け要請行動に取り組んだ。
7月23日	東京オリンピックが開幕。
7月	兵庫県知事選挙が実施され、協会は金田峰生氏と政策協定を結び支持推薦を行った。
10月	神戸市長選挙が実施され、協会は岡崎史典氏と政策協定を結び支持推薦を行った。

## 写真で振り返る西宮・芦屋支部

これまでの支部の様々なとりくみ、支部会員の先生が参加した協会行事などを、写真で振り返ります。



1990年2月15日 症例研究会（西宮渡辺病院）



1990年10月14日 支部初のバスツアー  
（奈良県・白毫寺）



1990年11月29日 症例研究会  
（西宮協立脳神経外科病院）



1991年6月16日 協会第23回総会に  
出席した支部会員



1991年7月28日 7・28全国保険医総決起大会



1991年11月16日 第11回支部総会 松本勲先生  
「ペインクリニックにおける種々の痛みの治療」



1991年12月1日 音楽と講演のつどい  
講師 C.W ニコル氏



1994年11月13日 消費税廃止11・13国民大集会



1995年1月22日 広川内科クリニックで  
阪神・淡路大震災直後の協会理事会開催



震災対策本部の看護ボランティアさんと  
協会役員（広川内科クリニック）



1995年4月28日 阪神・淡路大震災後の  
世話人会で、復興の課題についてつづき研  
二県会議員と懇談



1995年11月5日 農民連が主催した  
収穫祭での被災者健康相談



1996年2月8日 保団連中央行動  
「住専より被災者に公的保障を」と  
野坂官房長官に要請



1996年1月14日 名塩仮設住宅での  
中国民族音楽交流会



1997年10月5日 名塩仮設住宅ペイントフェスタ in 関西



1999年3月28日 西宮名塩仮設住宅解散式



1997年2月27日 医療保険改悪反対  
全国統一行動で宮本一三議員に要請



1997年3月23日 被災者への  
公的保障等を求め署名行動



1998年4月11日 社会保障を守る春の街頭宣伝



2000年2月27日 介護保険をよくする  
西宮市民の会結成集会



2000年4月8日 夙川で支部お花見会



1998年12月3日 診療報酬10月改定撤回などを  
求めて国会要請 (左・藤木洋子議員)



1999年5月20日 患者負担増反対署名  
75,000筆を持ち藤木洋子議員に要請



2000年11月11日 患者負担増ストップ街頭宣伝



2002年4月14日 4・14保険医総決起  
集会の街頭宣伝 (東京・有楽町)



1999年6月3日 保団連中央行動で医療改悪  
反対を小池晃・藤木洋子両議員に要請



1999年11月21~22日 復興公営住宅  
入居者生活実態調査



2003年3月8日 新規開業医交流会



2005年1月15日 震災10年・旧名塩仮設と  
ボランティア交流の集い



2005年2月26日 社会保障改悪阻止  
近畿総決起集会 (大阪)

2008年6月7日 第28回支部総会  
ネルケ無方氏  
「大人の修行」



2012年12月23日 仮設の若手県立高田病院前  
にて。右2人目は石木幹人院長 (当時)



2012年7月21日  
第32回支部総会  
「ナターシャ・グジー  
コンサート」



2010年1月16日  
阪神・淡路大震災15年の集い  
金持伸子先生、室崎益輝先生、鶴飼卓先生、  
中村洋一先生など、多数の方々にご講演いた  
だいた。ソプラノ歌手の長谷川真弓さん、ピ  
アニストの榊原契保さん、二胡奏者の劉揚さ  
んのコラボで演奏。



2011年10月22日  
支部設立30周年  
記念のつどい  
池谷裕二先生「脳を知  
って脳を活かす」とヴィオ  
ラ・ダ・ガンバ演奏 西村  
喜子先生



2013年9月15日 環境ウォーキング  
武庫川上流の生き物にふれる

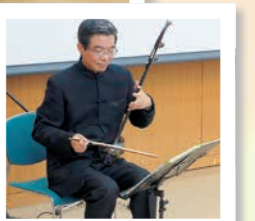


2015年9月22日 福島県南相馬市の大町病院で  
猪又義男院長(手前右)、藤原珠世看護部長(同左)  
と懇談



2015年1月17日  
阪神・淡路大震災20年の集い

小出裕章先生、鎌仲ひとみ氏による特別講演  
・対談、猪又義光先生、藤原珠世氏による講  
演、劉揚氏による二胡演奏と、石木幹人先生、  
井上博之先生、鶴飼卓先生、大竹進先生、金  
持伸子先生、川島実先生、中村洋一先生、松  
本純先生、行本清香氏によるパネルディスカ  
ッションなどが行われた。





2016年5月7日 熊本県保険医協会で熊本地震による医療機関の被災状況などを聞き取り



2016年5月8日 熊本市中央区役所で吉良直子先生（右3人目）と避難所の現状と課題について懇談



2017年4月1日 第6回東日本大震災被災地交流／物産・物品展  
広川内科クリニックなどで計15回開催（2023年時点）

2020年1月18日  
阪神・淡路大震災25年の集い  
小出裕章先生、室崎益輝先生、堀有伸先生の講演と、上田進久先生、丹戸郁江氏、ディヌーシャ・ランプクピティア先生からの報告が行われた。



## 役員一覧

氏名	支部役員	協会・保団連役員
加藤 勲	世話人 (1972.9~1981.10) 副支部長 (1981.11~1988.11)	理事 (1969.6~1975.5) 理事 (1977.6~1983.5) 監事 (1938.6~1985.5) 参与 (1985.6~1993.1)
瀬尾 貫二	世話人 (1972.9)	
西川 泰司	世話人 (1972.9)	
橋野 昇一	世話人 (1972.9)	
橋本 行男	世話人 (1972.9~2007.5)	評議員 (1983.11~1997.5)
三宅 慎治	世話人 (1972.9~1980.5)	
御幡 益司	世話人 (1972.9~1985.10) 支部長 (1985.11~1989.10) 世話人 (1989.11~1993.11) 顧問 (1993.11~2013.1)	理事 (1969.6~1973.5) 理事 (1975.6~1985.5) 評議員 (1985.6~1993.9) 顧問 (1993.10~)
森下 敬司	世話人 (1972.9~1999.10) 監査役 (1999.11~2004.4) 相談役 (2004.5~)	理事 (1969.6~1989.5) 組織部長 (~89.5) 副理事長 (1989.6~1999.5) 保団連幹事 (1992.1~1997.12) 保団連代議員 (~1998.1~1999.12) 顧問 (1999.6~)
湯本 忠俊	世話人 (1972.9~1978.8)	
伊賀 郁雄	世話人 (1973.5~1981.10) 支部長 (1981.11~1985.10) 世話人 (1985.11~1993.10) 顧問 (1993.11~2000.5)	評議員 (1983.11~)
小松原昭三	世話人 (1973.5~1989.10)	
浅井 賢	世話人 (1974.3~1998.10)	理事 (1983.6~1989.5)
大森 公一	世話人 (1974.3~1989.10) 支部長 (1989.11~2013.7) 相談役 (2013.8~2022.10)	評議員 (1975.11~1991.5) 文化部長 (1976.6~99.5) 理事 (1991.6~2019.6)
片山 正治	世話人 (1974.3~1983.10)	
木塚 宏	世話人 (1974.3~1981.10)	
瀬戸桂太郎	世話人 (1981.11~1985.10)	理事 (1975.6~1977.5)
谷本 透	世話人 (1974.3~1981.10)	
西林 茂祐	世話人 (1974.3~1981.10)	理事 (1975.6~1979.10) 評議員 (1979.11~1991.7)
藤原秀次郎	世話人 (1974.3~1981.10)	
磯橋 保	世話人 (1975.1~1981.10)	
三浦 三郎	世話人 (1975.1~1981.10)	
山内 敏弘	世話人 (1975.1~1981.10)	
佐治 正隆	世話人 (1976.12~) 顧問 (1993.11~2008.3)	評議員 (1983.11~)
園田 喬	世話人 (1977.10~1989.10) 副支部長 (1989.11~1993.10) 世話人 (1993.11~2004.5)	理事 (1979.6~1989.5)

氏名	支部役員	協会・保団連役員
小泉 英雄	世話人 (1978.6~1983.10)	理事 (1977.6~1985.5) 副理事長 (1985.6~1999.5) 政策部長 (1979.6~1986.5) 保団連常任幹事 (1986.1~1997.12) 保団連参与 (1998.1~2003.12) 顧問 (1999.6~2003.12)
幸原 久	世話人 (1978.6~1981.10) 副支部長 (1981.11~1999.10) 監査役 (1999.11~2004.4) 相談役 (2004.5~)	理事 (1969.6~2000.5) 新聞部長 (1973.6~99.5) 審査対委員長 (1989.6~1991.5) 副議長 (2000.6~2003.5) 監事 (2003.6~2017.5) 顧問 (2017.6~) 保団連幹事 (1980.1~91.12)
斉藤 久雄	世話人 (1978.6~1985.10)	
三島淳三郎	世話人 (1978.6~1981.10)	
石井 只正	世話人 (1979.5~1983.10)	
永井 崇夫	世話人 (1979.5~1981.10)	
中村 彰	世話人 (1979.5~1981.10)	評議員 (1983.11~)
寺内 嘉一	世話人 (1979.5~1985.10)	
岡野 昌弘	世話人 (1979.5~1985.10)	
奥野 達雄	世話人 (1978.6~1981.10)	
柴田 始宏	世話人 (1978.6~1998.10)	評議員 (1981.11~1985.5) 理事 (1985.6~1995.5)
一宮 義弘	世話人 (1981.11~2000.7)	評議員 (1983.11~)
伊藤 泰二	世話人 (1981.11~1988.10)	
大楠 晴美	世話人 (1981.11~2000.7)	
大田黒義郎	世話人 (1981.11~1996.10)	理事 (1983.6~1995.5)
片山 正治	世話人 (1981.11~1982.10)	
友沢 久雄	世話人 (1981.11~1997.10)	評議員 (1983.11~)
森野 義明	世話人 (1981.11~2001.8)	
井上 晃一	世話人 (1982.11~1985.10)	
法貴 憲	世話人 (1982.11~1996.10) 副支部長 (1996.11~2013.5) 支部長 (2013.7~)	評議員 (1983.7~1985.5) 理事 (1985.6~)
上條 勝常	世話人 (1982.11~1994.10) 世話人 (2004.5~2013.7)	評議員 (1982.11~2013.7)
稲川 勝義	世話人 (1983.11~1987.12) 副支部長 (1988.1~1993.10) 世話人 (1997.11~1998.10)	理事 (1990.6~1993.05) 評議員 (1993.6~1997.5)
吉田 元嗣	世話人 (1983.11~2000.7)	
土井 恭平	世話人 (1985.11~1987.10)	
山内 治郎	世話人 (1985.11~1994.10)	理事 (1985.6~1989.5)
松岡 弘	世話人 (1985.11~1994.10)	評議員 (1985.11~1993.10)
宮川 光生	世話人 (1985.11~1987.10)	

氏名	支部役員	協会・保団連役員
池田 清	世話人 (1987.11~1994.10)	理事 (1989.6~1991.6) 評議員 (1991.7~1997.6)
井床 淑子	世話人 (1987.11~2009.7)	予備評議員 (2002.7~2013.7)
岡野 佳子	世話人 (1987.11~1998.10)	
川野 悦司	世話人 (1989.11~)	評議員 (1994.11~2018.6) 予備評議員 (2018.7~)
林田 英隆	世話人 (1989.11~1998.10) 副支部長 (1998.11~)	評議員 (1989.9~1991.5) 理事 (1991.6~1997.5) 副理事長 (1997.6~2007.5) 総務部長 (1999.6~2001.5) 庶務部長 (1999.6~2001.5) 地域医療部長 (2003.6~2015.5) 理事 (2007.6~2015.5) 顧問 (2015.6~)
広川 恵一	世話人 (1989.11~1998.10) 副支部長 (1998.11~)	評議員 (1985.9~1989.5) 理事 (1989.6~1999.5) 研究部長 (1995.6~1999.5) 副理事長 (1999.6~2005.5) 審査対策部長 (2000.6~2001.5) 保団連理事 (2002.1~2005.12) 理事 (2005.6~2015.5) 顧問 (2015.6~)
古川 裕	世話人 (1989.11~1993.10)	
蟹江 純一	世話人 (1991.11~1992.10) 副支部長 (1992.11~1996.10) 世話人 (1996.11~2007.6)	理事 (1993.6~1997.5)
浅井 伸	世話人 (1991.11~2001.8)	評議員 (1991.7~2001.8)
中田 正基	世話人 (1991.11~1992.10) 副支部長 (1992.11~1998.10) 世話人 (1998.10~2019.7)	評議員 (1991.7~1993.5) 理事 (1993.6~1997.5) 評議員 (1997.7~2003.7) 予備評議員 (2013.8~2015.5)
南堂 公平	世話人 (1991.11~1994.10)	
西本 洋二	世話人 (1991.11~1994.10)	
中坪 信也	世話人 (1991.11~2000.10) 副支部長 (2000.11~2009.7)	理事 (1993.6~2007.5) 評議員 (2007.7~2011.6)
多田 梢	世話人 (1991.11~)	評議員 (1993.10~1995.5) 理事 (1995.6~2001.5) 新聞部長 (1999.6~2005.5) 融資部長 (1999.6~2001.5) 副理事長 (2001.6~)
北井 明	世話人 (1991.11~1998.10) 副支部長 (1998.11~2021.10) 相談役 (2021.11~)	理事 (1995.6~2021.5) 参与 (2021.6~)
大江与喜子	世話人 (1993.11~2015.5)	評議員 (1994.6~2008.5)
大西 正孝	世話人 (1993.11~2013.7)	評議員 (1994.6~2011.6) 予備評議員 (2011.7~2013.7)



氏名	支部役員	協会・保団連役員
谷 二三生	世話人 (1995.11~1998.10) 副支部長 (1998.11~2000.10) 世話人 (2000.10~2002.8)	理事 (1997.6~1999.5)
鄭 漢龍	世話人 (1995.11~2013.8)	理事 (1995.6~2003.5) 評議員 (2003.7~2013.8)
新澤 章二	世話人 (1995.11~1996.10)	
結城 清之	世話人 (1995.11~2011.6)	
加藤 隆久	世話人 (1997.11~1998.10) 副支部長 (1998.11~)	評議員 (1995.9~1997.5) 理事 (1997.6~) 文化部長 (1999.6~)
中嶋 淳一	世話人 (1997.11~2002.8)	評議員 (1997.8~2003.7)
森 博雄	世話人 (1997.12~)	評議員 (1997.8~2007.6) 予備評議員 (2017.7~)
高田 耕二	世話人 (1996.11~2008.7)	
堅田 均	世話人 (1998.11~2000.10) 副支部長 (2000.11~2004.5) 相談役 (2004.6~)	理事 (1999.6~2005.5) 研究部長 (1999.6~2005.5) 評議員 (2005.7~2009.6)
坂尾 福光	世話人 (1998.11~2000.10)	
近重 民雄	世話人 (1998.11~2004.5) 地区移動	
前田 信証	世話人 (1998.11~)	予備評議員 (2013.8~)
森野 義明	世話人 (1998.11~2000.7)	
天津 治子	世話人 (2001.11~2002.8)	
北垣 幸央	世話人 (1999.11~)	評議員 (2009.7~2019.6) 予備評議員 (2019.7~)
佐々木健陽	世話人 (1999.11~)	
陣 鋼民	世話人 (2001.11~2013.8)	評議員 (2002.8~2003.6) 予備評議員 (2003.7~2013.8)
勝呂 芳正	世話人 (2001.11~2011.10)	評議員 (2002.8~2003.6) 予備評議員 (2003.7~2011.6)
須山 徹	世話人 (2001.11~2009.7)	
谷田百合子	世話人 (1999.11~2011.10)	評議員 (2002.8~2008.7)
西川 公子	世話人 (1999.11~2002.9)	
浜野 博次	世話人 (1999.11~2011.7)	予備評議員 (2002.8~2003.6) 評議員 (2003.7~2007.6)
広本 秀治	世話人 (1999.11~2019.6)	予備評議員 (2001.9~2003.6) 評議員 (2003.7~2019.6)
法西 浩	世話人 (1999.11~2015.6) 相談役 (2015.7~)	評議員 (2001.9~2015.5)
正田 宏明	世話人 (1999.11~2000.6)	予備評議員 (2001.9~2003.6)
横山 裕志	世話人 (2000.8~2010.6)	予備評議員 (2001.9~2003.6)
伊賀 幹二	世話人 (2002.8~2020.6) 副支部長 (2020.7~)	理事 (2007.6~)
土山 雅人	世話人 (2002.8~)	理事 (2003.6~2017.6) 評議員 (2017.7~)

氏名	支部役員	協会・保団連役員
三浦 一樹	世話人 (2002.8~)	評議員 (2003.7~2005.6) 理事 (2005.6~2007.5) 予備評議員 (2013.8~)
岩下 敬正	世話人 (2003.7~)	評議員 (2003.6~2005.5) 理事 (2005.6~2009.5) 評議員 (2009.6~2015.5) 予備評議員 (2015.6~)
川崎 史寛	世話人 (2004.5~)	評議員 (2007.7~2015.5) 予備評議員 (2015.6~)
杉原 伸夫	世話人 (2004.5~2011.7)	予備評議員 (2003.7~2011.6)
吉本 理恵	世話人 (2004.5~2011.6)	
宮崎 睦雄	世話人 (2006.5~)	予備評議員 (2007.7~2013.7) 評議員 (2013.8~)
望月 純	世話人 (2006.5~2011.6)	評議員 (2007.7~2011.6)
藤井健一郎	世話人 (2006.5~2014.11)	評議員 (2007.7~2014.11)
玉置 晃司	世話人 (2009.7~2011.6)	予備評議員 (2009.7~2011.6)
山陰 圭一	世話人 (2009.7~2013.7)	
宮崎 義彦	世話人 (2009.7~2022.12)	理事 (2009.6~2011.5) 副理事長 (2011.6~2015.5) 理事 (2015.6~2017.05) 監事 (2017.6~2021.5) 顧問 (2021.6~2022.12)
安岡真奈美	世話人 (2011.7~)	予備評議員 (2019.7~)
藤森永二郎	世話人 (2011.7~2012.4)	
大森公之助	世話人 (2011.7~2013.7)	評議員 (2011.7~2013.7)
村上 博	世話人 (2013.8~2020.6) 副支部長 (2020.7~)	評議員 (2013.8~2017.5) 理事 (2017.6~2023.6)
藤森 隆史	世話人 (2013.8~)	評議員 (2007.6~)
谷端 美香	世話人 (2013.8~2019.6)	評議員 (2013.7~2017.5)
上田 進久	世話人 (2016.7~)	評議員 (2017.7~)
林 功	世話人 (2016.7~)	評議員 (2017.7~)
半田 伸夫	世話人 (2019.7~2020.06) 副支部長 (2020.7~)	理事 (2023.07~)
坂尾 将幸	世話人 (2019.7~)	評議員 (2019.7~)
加藤 茂芳		評議員 (2000.6~)
林 昭栄		予備評議員 (2001.6~)
村上 敏		評議員 (2001.6~2005.5)
山崎 良昭		評議員 (2001.6~2003.5)
山本 好彦		評議員 (2001.6~2003.5) 理事 (2003.6~2005.5)
村上 豪一		予備評議員 (2005.6~2007.5)
中村 元生		予備評議員 (2001.6~2005.5)
小田 泰史		評議員 (2015.8~2021.7) 予備評議員 (2021.8~)
加藤 昌亮		評議員 (2021.8~)

## 担当事務局

年度	担当事務局
1976	高山 忠徳・浦上 立志
1977	岡本 光男
1978	岡本 光男・宮田 孝司
1979	岡本 光男・角屋 洋光
1980	岡本 光男・角屋 洋光
1981	岡本 光男・角屋 洋光
1982	岡本 光男・角屋 洋光
1983	岡本 光男・角屋 洋光
1984	岡本 光男・角屋 洋光
1985	角屋 洋光・金原 恵子
1986	金原 恵子・伊藤 正尚
1987	金原 恵子・石本 紳二
1988	石本 紳二・柳原ゆき子
1989	石本 紳二・柳原ゆき子
1990	石本 紳二・柳原ゆき子
1991	柳原ゆき子・石本 紳二
1992	柳原ゆき子・石本 紳二
1993	石本 紳二・高山 忠徳
1994	石本 紳二・高山 忠徳
1995	高山 忠徳・畑中暁来雄
1996	高山 忠徳・畑中暁来雄
1997	高山 忠徳・畑中暁来雄・長澤 明彦
1998	平野 学・畑中暁来雄・長澤 明彦
1999	平野 学・佐野登志子・畑中暁来雄

年度	担当事務局
2000	都甲 克彦・長澤 明彦・佐野登志子
2001	石本 紳二・吉永 大輔
2002	石本 紳二・吉永 大輔
2003	石本 紳二・吉永 大輔
2004	石本 紳二・小西 正咲
2005	石本 紳二・伊藤 正尚・平田 雄大
2006	石本 紳二・伊藤 正尚・平田 雄大
2007	岡林 信一・伊藤 正尚・横山 哲朗
2008	岡林 信一・伊藤 正尚・横山 哲朗
2009	岡林 信一・伊藤 正尚・山田 友道
2010	岡林 信一・伊藤 正尚・山田 友道
2011	岡林 信一・伊藤 正尚・山田 友道
2012	岡林 信一・伊藤 正尚・山田 友道
2013	岡林 信一・伊藤 正尚・山田 友道
2014	岡林 信一・伊藤 正尚・山田 友道
2015	岡林 信一・伊藤 正尚・山田 友道
2016	岡林 信一・山田 友道・納富 章宏
2017	岡林 信一・山田 友道・冲野奈穂子
2018	岡林 信一・山田 友道・冲野奈穂子
2019	境 正俊・湯浅 史帆
2020	山田 友道・難波登志子・柳原ゆき子
2021	山田 友道・難波登志子・伊地知浩平・柳原ゆき子

## 兵庫県保険医協会

### 西宮・芦屋支部40周年記念誌 40年の歩み

表紙書 森下 敬司 先生

表紙絵 半田 伸夫 先生 春の神呪寺風景 (西宮・甲山大師)

編・著 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部世話人会

発行所 兵庫県保険医協会

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階

TEL 078-393-1801 FAX 078-393-1802

発行日 2023年10月1日

印刷所 (株)関西共同印刷所

大阪市北区大淀中3-15-5 TEL 06-6453-2564(代)